

法令全書

告示

○外務省告示第一號

韓國元山港ニ於テハ兵庫縣下神戸地方ヨリ入港スル船舶ニ對シテ明治三十二年十二月九日ヨリ傳染病浸入豫防假規則ヲ施行シ又同國神戶山港ニ於テハ神戸港ヲ獲シ又ハ同港經由入港スル船舶ニ對シ同月十八日ヨリ檢疫ヲ實施スル旨其筋ノ通牒ニ接シタル趣右兩地駐在帝國領事ヨリ報告アリ

明治三十三年一月六日

外務大臣子爵青木周藏

○外務省告示第二號

韓國鎮南浦ニ於テハ神戸港ヲ獲シ又ハ同港ヲ經由シ入港スル船舶貨物乗客及乗組員ニ對シ明治三十二年十二月七日ヨリ檢疫ヲ施行スル旨其筋ノ通牒ニ接シタル趣在内地帝國領事館事務代理ヨリ報告アリ

明治三十三年一月十日

外務大臣子爵青木周藏

○内務省告示第一號

明治二十一年九月内務省告示第十一號夜間檢疫信號第一項中赤色球燈二箇ヲ綠色球燈一箇赤色球燈一箇ト改ム

明治三十三年一月十日

内務大臣侯爵西鄉從道

○内務省告示第二號

一、まんぢんせ、一集、一册、東京市日本橋區馬喰町二丁目十四番地湖島龜吉發行
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十三年一月十日

内務大臣侯爵西鄉從道

明治三十三年一月 告示 外務省第一號 第二號 内務省第一號 第二號

ナ27-11

4

5.28

地登記簿、建物登記簿、船舶登記簿、商業登記簿、法人登記簿、營利ヲ目的トスル法人登記簿、夫婦財産契約登記簿、舊公證簿、共同人名簿、圖面登記受附帳、登記見出帳、其他ノ書類焼失シタリ
 同出張所ニ備ヘアリシ登記簿又ハ舊公證簿ニ登記若クハ公證ヲ受ケタル者又ハ同出張所ニ對シ登記ニ關スル通知若クハ囑託ヲ爲シタル官廳若クハ公署ハ本年六月十五日マテニ登記回復ノ申請ヲ爲シ又ハ通知若クハ囑託ヲ爲スヘシ但左ニ掲ケル登記簿ハ焼失セサルニ因リ其登記簿ニ登記シタル事項ニ付テハ申請又ハ囑託ヲ爲スコトヲ要セス
 前項ニ定メタル期日マテニ不動産又ハ船舶ニ關スル登記ノ回復ヲ申請シ又ハ囑託スルトキハ登記シタル權利ハ仍ホ前登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘシ
 商業登記又ハ法人登記ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ前登記ノ年月日ヲ記載シ前登記ノ公告ヲ掲ケタル官報若クハ新聞紙、前登記簿ノ謄本若クハ抄本、登記濟證又ハ登記書類ノ受取證(登附法ニ從ヒ登記ヲ受ケタル出合ニ於テハ)ヲ添附スヘシ
(登附法ニ從ヒ登記ヲ受ケタル出合ニ於テハ)夫夫婦財産契約登記ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ前登記ノ年月日ヲ記載シ前登記簿ノ謄本若クハ抄本、登記濟證又ハ以前ニ登記ヲ受ケタルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

明治三十三年一月二十七日
 焼失セサル登記簿
 一 南足立郡伊興村舊土地登記簿 (第一册乃至第二十三册) 二十三册
 一 同郡梅島村大字小右衛門新田舊土地登記簿 (第一册乃至第四册) 四册
 一 同郡同村大字梅田舊土地登記簿 (第一册乃至第六册) 六册
 一 同郡同村大字栗原舊土地登記簿 (第二册乃至第八册) 七册
 一 同郡同村大字島根舊土地登記簿 (第一册乃至第七册) 七册
 一 同郡江北村大字鹿濱舊土地登記簿 (第一册乃至第二十四册) 二十四册
 司法大臣清浦奎吾

明治三十三年一月二十七日
 焼失セサル登記簿
 一 同郡同村大字堀ノ内舊土地登記簿 (第一册乃至第八册) 八册
 一 同郡同村大字沼田舊土地登記簿 (第一册乃至第八册) 八册
 一 同郡同村大字小臺舊土地登記簿 (第一册乃至第六册) 六册
 一 同郡同村大字加々血沼舊土地登記簿 (第一册乃至第五册) 五册
 一 同郡同村大字高野舊土地登記簿 (第一册乃至第三册) 三册
 一 同郡同村大字鹿濱新田舊土地登記簿 (第一册) 一册
 司法大臣清浦奎吾

明治三十三年一月二十七日
 東京地方裁判所管内東京區裁判所千住出張所本年一月十七日火災ニ罹リ確定日附簿焼失シタルニ附キ同出張所ニ於テ確定日附ヲ附シタル私署證書ヲ所持スル者ハ本年五月三十一日マテニ其證書ヲ同出張所ニ提出スヘシ
 司法大臣清浦奎吾

明治三十三年一月二十七日
 東京地方裁判所管内東京區裁判所千住出張所本年一月十七日火災ニ罹リ同出張所ニ備ヘアリシ印鑑簿焼失シタルニ附キ同出張所ニ印鑑ヲ提出シタル者ハ更ニ印鑑ヲ提出スヘシ
 司法大臣清浦奎吾

明治三十三年一月二十七日
 東京地方裁判所管内東京區裁判所千住出張所本年一月十七日火災ニ罹リ同出張所ニ備ヘアリシ特許登記簿、意匠登記簿及ヒ商標登記簿焼失シタリ
 司法大臣清浦奎吾

明治三十三年一月二十七日
 文部省告示第一號
 實業學校教員養成規程第四條ニ依リ明治三十三年度ニ於テ工業教員養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員

明治三十三年一月 告示 司法省第五號 第六號 第七號
 文部省第一號

數ヲ四十名ト定ム

明治三十三年一月九日

文部大臣伯爵樺山資紀

○文部省告示第二號

熊本縣天草郡富岡町字三四町ニ設置セル同縣立警報信號標ヲ昨明治三十二年十二月十六日同町字新富^{即チ東經百三十三度二分ニ移轉シタル旨報告セリ}北緯三十二度三十一分ニ移轉シタル旨報告セリ

文部大臣伯爵樺山資紀

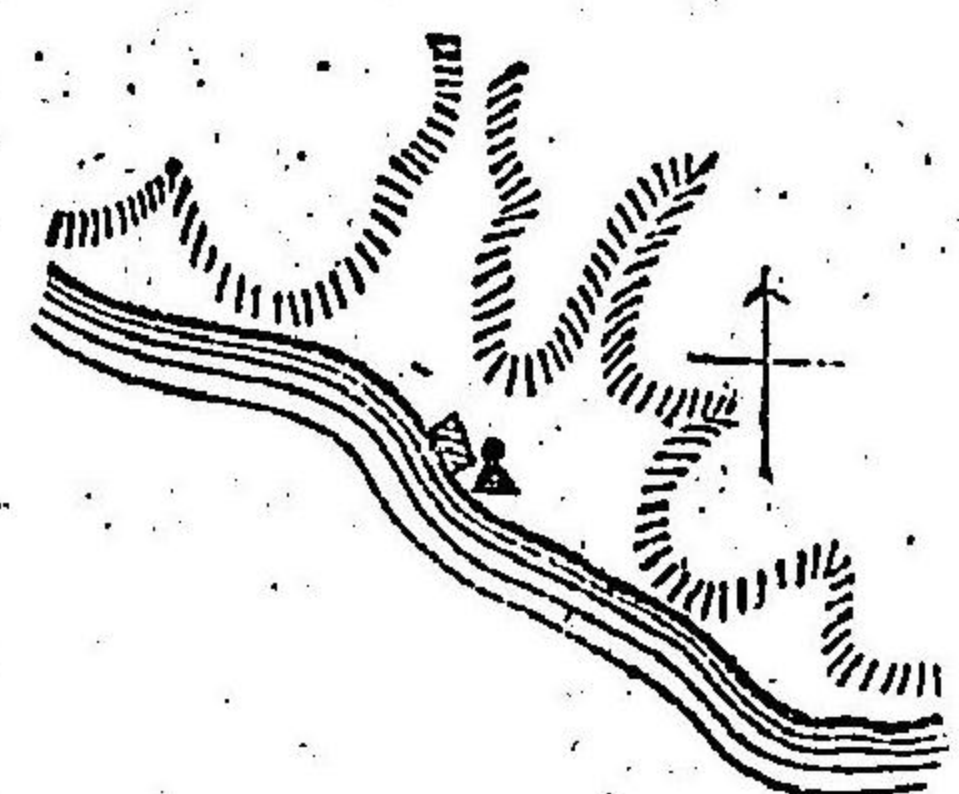
○文部省告示第三號

北海道廳長官ハ同廳管下日高國浦河郡浦河村^{即チ東經百四十二度四十六分十八秒北ニ警報信號標ヲ設置シ本年二月一日ヨリ實施ノ旨報告セリ}

文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年一月十三日

○文部省告示第四號



岡山縣農學校

右ハ文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス

明治三十三年一月十三日

文部大臣伯爵樺山資紀

○文部省告示第五號

長野縣小縣郡上田町ニ設置セル長野縣長野中學校上田支校ヲ長野縣上田中學校トシ同縣下伊那郡飯田町ニ設置セル同縣松本中學校飯田支校ヲ長野縣飯田中學校トシ孰レモ明治三十三年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年一月十三日

○文部省告示第六號

巖手縣二戸郡福岡町ニ福岡中學校及同縣上閉伊郡遠野町ニ遠野中學校ヲ設置シ孰レモ明治三十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年一月十五日

○文部省告示第七號

師範學校中學校高等女學校教員檢定本試験日時割左ノ通相定ム受験者ハ各其試験開始ノ前日マテニ文部省ニ出頭シテ指揮ヲ受クヘシ

文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年一月二十二日

○文部省告示第八號

明治三十三年一月十三日

學科	課目	時數	時限
倫理	筆記	三時間	午前九時ヨリ午十二時マテ
算術	筆記	五時間	午前九時ヨリ午十二時マテ
代數	筆記	五時間	午後一時ヨリ同三時マテ
幾何	筆記	五時間	午後一時ヨリ同三時マテ
算術代數幾何	筆記	五時間	午後一時ヨリ同三時マテ

二月二十四日	國語	新著色寫案	二時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ同三時マテ
二月二十六日	兵式體操	口授	四時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ 午前八時ヨリ 午後一時ヨリ
二月二十七日	地誌	口筆	四時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ
二月二十七日	兵式體操	口筆	四時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ
二月二十七日	唱歌	口筆	四時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ
二月二十八日	習字	指示	三時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ
二月二十八日	毛筆及用器	指示	三時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ
二月二十八日	毛筆及用器	指示	三時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ
二月二十八日	漢文	教授法	三時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ
二月二十八日	漢文	教授法	三時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ

三月一日	英語	書取譯法	三時	午前九時ヨリ
三月一日	數學(幾何)	設問	一三時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ
三月一日	動物	設問	一三時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ
三月一日	農業	設問	四時	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ
三月二日	數學(算術)	設問	三時	午前九時ヨリ
三月二日	英語	口授	三時	午前八時ヨリ
三月二日	植木	設問	三時	午前九時ヨリ 午後十二時三十分マテ

○文部省告示第八號
長崎縣南松浦郡福江村ニ設置ノ郡立五島中學校ヲ縣立ニ變更シ長崎縣五島中學校ト改稱シ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治三十三年一月二十四日
文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第九號
山口縣知事ハ同縣大津郡仙崎村ニ於テ同村字後原十四度三十一度十三分北緯三ニ警報信號標ヲ設置スルコトヲ許可シ本年二月十五日ヨリ實施ノ旨報告セリ
明治三十三年一月二十五日
文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第十號

愛媛縣温泉郡朝美村ニ私立北豫中學校ヲ設置シ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年一月二十五日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第十一號

右ハ徵兵令第十三條及文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス

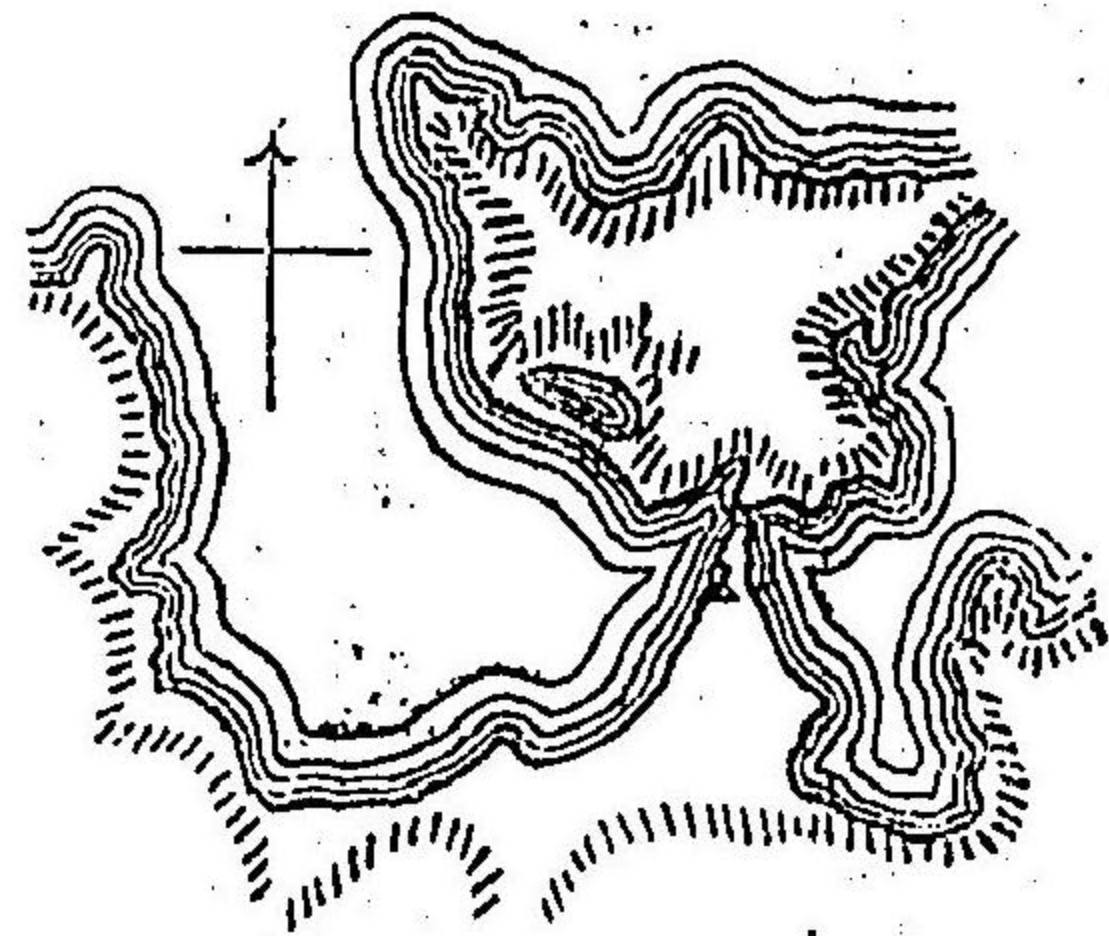
明治三十三年一月二十五日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第十二號

東京府私立中學郁文館 東京府私立日本中學校
東京府私立明治議會中學校 東京府私立錦城中學校

静岡縣静岡市立静岡商業學校



右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治三十三年一月二十六日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第十三號

右ハ徵兵令第十三條及文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス

明治三十三年一月二十七日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第十四號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治三十三年一月二十九日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第十五號

實業學校教員養成規程第四條ニ依リ明治三十三年度ニ於テ學資ヲ補給スヘキ農科大學學生生徒及
農業教員養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數左ノ通り相定ム

明治三十三年一月三十一日

文部大臣伯耆樺山資紀

一農科大學學生生徒

七名

一農業教員養成所ニ募集スヘキ生徒

凡三十名

○文部省告示第十六號

明治二十二年文部省告示第七號ニ左ノ但書ヲ追加ス

明治三十三年一月三十一日

文部大臣伯耆樺山資紀

但認定ノ效力ハ別科生ニ及ハス

東京府私立麻布中學校 東京府私立正則中學校

青森縣立青森縣農學校

京都府私立眞宗京都中學

〔參照〕

明治二十二年五月文部省告示第七號ハ宮城縣立宮城農學校ヲ徵兵令ニ依リ認定ノ件ナリ

○農商務省告示第一號

福島種馬所ノ事務自今福島縣下西白河郡西鄉村福島種馬所ニ於テ之ヲ取扱フ

明治三十三年一月十二日

農商務大臣曾禰荒助

○農商務省告示第二號

札幌鐵山監督署本月十五日ヨリ札幌區北六條西五町目三番地へ移轉ス

明治三十三年一月十二日

農商務大臣曾禰荒助

○農商務省告示第三號

明治三十年農商務省告示第四號獸疫豫防心得中左ノ通改正ス

明治三十三年一月十五日

農商務大臣曾禰荒助

第十二項ニ左ノ事項ヲ加フ

假性皮疽ノ場合ニ於テ鼻粘膜ニ潰瘍又ハ結節ヲ生シタルトキ、結節及潰瘍全身ニ蔓延シ又ハ陰部ニ波及シタルトキ、結節深在シ治術ヲ施シ能ハサルトキ若ハ病症頑固ニシテ劇シキ腐爛皮膚ヲ發シタルトキハ該患馬ヲ撲殺スルコト

第三十五項ヲ左ノ如ク改ム

消毒方法ハ左ノ四種トス

- 一 燒却 燒却ニ適スルモノハ牛疫炭疽等ニ罹リテ斃死セル獸類ノ屍體、肥糞敷葉、毛布、飼槽水、槽其ノ他甚シク病毒ニ汚染シタル物品ニシテ消毒後再ヒ用ニ供スル目的ナキモノ
- 二 蒸汽消毒 蒸汽消毒ニ適スルモノハ被服、毛布、器具等ニシテ一時間以上攝氏百度以上ノ濕熱

ニ觸レシムヘン但シ革具類ニハ之ヲ避クルヲ要ス

三 煮沸消毒 煮沸消毒ニ適スルモノハ被服、毛布ノ類ニシテ沸騰後一時間以上煮沸スヘン

四 藥物消毒 藥物消毒ニ供スル藥劑並其ノ用法ハ左ノ如シ

一 生石灰末 生石灰ニ少量ノ水ヲ加ヘ粉末トナシタルモノ但シ生石灰末ハ少量ノ水ヲ加ヘ粉末トナシタルモノモノヲ選ム

生石灰末ハ用ニ臨ミテ之ヲ製シ厩舎糞尿溜屍體等ノ消毒ニ用フ

石灰乳(十倍) 水 九分

石灰乳ハ用ニ臨ミテ之ヲ製シ一分ノ生石灰ニ九分ノ水ヲ徐々ニ加ヘ攪拌スヘシ其用量ハ生石灰末ノ五倍トス

普通石灰ヲ生石灰末石灰乳ニ代用スル場合ニハ倍量ヲ用フヘシ

石灰乳ハ厩舎ノ隔壁、隔木、欄柵、床板其ノ他病毒ニ汚染セル場所ノ消毒ニ用フ

一格魯兒石灰水(二十倍) 水 九十五分

一格魯兒石灰水ノ應用並用量ハ石灰乳ニ同シ但シ用ニ臨ミテ製スヘシ

一 石灰酸水(二十倍) 結晶石灰酸五分 水 九十四分

石灰酸水ヲ製スルニハ石灰酸五分ニ凡水一分ヲ加ヘ攪拌又ハ振盪シツツ徐々ニ定量ノ水ヲ注キ後鹽酸一分ヲ加フヘシ温湯ヲ用フレハ其ノ溶解殊ニ速カナリトス但シ使用ノ際ニハ毎回振盪スルヲ要ス

石灰酸水ハ屍體、金屬、木製ノ器具器械、革具類ノ消毒ニ供ス

稀釋石灰酸水 結晶石灰酸三分 水 九十六分

稀釋石灰酸水ニテ洗滌シタル後更ニ清水ヲ以テ洗淨スヘシ

手足等ノ消毒ニ供ス但シ石灰酸水ニテ洗滌シタル後更ニ清水ヲ以テ洗淨スヘシ

組製石灰酸

屍體、排泄物、糞尿溜等ノ消毒ニ供ス

一昇汞水(千倍) 昇汞一分鹽酸十分
昇汞水ヲ製スルニハ昇汞ヲ定量ノ水ニ溶解シ後鹽酸ヲ加フヘシ
昇汞水ハ猛毒ニシテ無臭ナルカ爲メ危險ヲ來シ易シ故ニ貯藏使用ノ際十分ニ注意ヲ加
フルヲ要ス但シ金屬製ノ器ニ貯藏スヘカラス
昇汞水ハ陶器(石器)水製器具ノ消毒ニ供ス
一 格魯兒瓦斯 格魯兒石灰一分ニ粗製硫酸又ハ鹽
酸二分ヲ注キ瓦斯ヲ發生セシム
厩舎日光射入ノ惡シキ室内等ノ 蒸煙ニ供ス但シ窓戶ヲ密閉シテ蒸煙シ一兩日ノ後窓戶ヲ
放開シ風ヲ通スヘシ
一 熱瀉汁 粗製加里又ハ曹達一分水二十分若ハ新
厩舎器具等ノ洗滌消毒ニ供ス

第三十六項中狂犬病ノ次ニ左ノ事項ヲ加フ
十一 假性皮膚疽

(病性) 假性皮膚疽ハ一ニ馬ノ分芽癩病ト名ク地方性皮膚病ニシテ一種ノ分芽癩ニ原因ス其ノ症候病的變態等ハ略々眞性皮
疽ニ同シ
(原因) 本病ノ傳染源ハ一種ノ分芽癩菌トシテカホミヒエスバハニシテ病的組織及病的産物ニ現在シ又膿漿中ニ遊離シ或ハ膿球
中ニ存ス而シテ本病ノ傳染性兼膿性傳染病ニシテ傳染ノ本源ハ土地ニ存ス其ノ傳染ノ媒介物ハ土壤、厩舎、器具、鞍馬
具、狗、豚、鹿、皮膚寄生蟲等ニシテ馬ヨリ馬ニ直接傳染スルハ稀ク稀ナルカ如シ
潜伏期ハ未ダ詳ナラス
(症候) 本病ハ低濕地地方ニ多ク乾燥ノ地ニ少ナク多雨ノ年洪水ノ後ニ多シ又暑期ヨリモ寒冷ノ候ニ類發スルモノニ
シテ皮膚ニ球腫、膿瘍及潰瘍ヲ發スルヲ主トス其ノ病源ハ淋巴管ニ沿フテ近部ノ皮膚及皮下織ニ遊移シ劇症ニ在テハ鼻
粘膜ニ波及スルコトアリ患部ハ一定セズ全身ニ發スルコトアリ或ハ各部ニ限局シテ發ス就中前胸、肩、腋窩、胸腹壁、背、胸腹
ノ下面等ニ類發ス又膿、頸側、包皮、陰頭、陰囊等ニ發シ顔面ニ於テハ鼻、頬、頰及鼻翼ニ發ス
球腫ハ初メ豆大乃至核實大ニシテ硬ク發生後四五日ヲ經レハ軟化シテ膿瘍ニ變シ其ノ面ニ落屑脱毛アリ膿瘍ハ速ニ破潰シ
テ膿ヲ滲ス膿ノ狀ハ患部ノ體質ニ依テ一檢ナラス或ハ濃稠ニシテ乳皮ノ如ク或ハ稀薄ノ膿漿ヨリ成リ黃白色ノ凝塊ヲ混シ

間、血液ヲ雜フ瘡底及瘡縁ヨリ帶赤黃色ノ肉芽ヲ發生シ帶赤黃色ノ膿汁ヲ排ス重症ニ在テハ肉芽ハ皮肉面ニ隆起シ鼻肉狀ヲ
呈ス此ノ如キ潰瘍ハ四肢ノ下部ニ多ク數多發症スルハ其ノ觀察モ菌芽ノ皮膚ニ亂生スルカ如シ其ノ甚シキニ至テハ鼻皮脚
ヲ生ス
鼻腔其ノ他呼吸道ノ粘膜變態ハ概シテ皮膚疽ニ併發シ吸入作用ニ由テ傳染シ又ハ顔面ノ皮膚ヨリ逆搬延ヲナス原發ノ純性
鼻疽ハ極メテ稀ナリ鼻腔ノ病患ハ概シテ兩側ニ發シ急性ノ閉塞性ノ閉塞潰瘍ヲ稀ニシテ瘡底ヨリ肉芽ヲ發生ス其狀皮膚ノ潰瘍ニ同
シ輕症ノ假性鼻疽ニ於テハ鼻淵ナキモ重症ニ於テハ粘液膿性血液若ハ敗膿狀ノ滲液アリ呼吸ハ往々臭氣ヲ帶ヒ鼻腔
狹窄スレハ呼吸困難トナリ鼻腔管ヲ放シ
類巴林巴腺ノ腫脹ハ稀ニシテ鼻腔ニ變態アルモ腺腫ハ必スシモ之ニ伴ハス假性鼻疽ノ劇症ニ在テハ兩側ノ腺腫大スルモ輕
症ハ之ヲ缺ク其ノ腺腫ハ稀ク硬キモ自在ニ移動シ得ヘク眞性皮膚疽ニ於ケルカ如ク硬結シテ結節狀ヲ呈セス鼻丸等ニ及
ホス病的作用ハ先ツ陰囊若ハ包皮ヨリ始マリ搔癢的作用ニ由テ固有免疫、毒丸、創毒及精系ニ遊移シ莖膜ノ二葉ヲシテ癢著
セシム局處ノ皮膚變態ナクシテ鼻丸ニ原發スルハ稀ナリ又眞性鼻疽ハ肺ニ類發スルモ假性皮膚疽ハ肺ヲ侵スハ稀ナリ
假性皮膚疽尙ホ一小部ニ限局スレハ全身遠隔ノ狀ナク患部ハ快活ニシテ食慾善良毛髮候ヲ呈セス病勢増進スルモ尙ホ能ク
使役ニ堪フ既ニ鼻腔ニ發生シ或ハ非常に蔓延スレハ營養不良トナリ瀉瀉、惡液ニ陥リ遂ニ鬚ル重症ニ於テハ食慾稍減シ消
精熱ヲ發スルコトアリ
(經過及豫後) 經過ハ甚タ緩慢ニシテ數月ノ久シキニ滿ル眞ノ急性症ハナキモ皮膚若ハ呼吸器粘膜ノ大部ニ蔓延スレハ
較々急性ノ癩ヲ呈ス本病ハ増進シテ底止スル所ナキ故ニ自然ニ放置スレハ遂ニ鬚ル然レトモ皮膚ノ一小部ニ限局セル
重症ハ手術ニ類テ全治ス則チ限局ノ輕症ナレハ豫後善良ナルモ全身ヲ侵サレ鼻腔等ニ病變アルモノ已ニ惡液質鼻皮膚ニ陷
ルモノハ豫後不長ナリ

○農商務省告示第四號
森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
陸奥國弘前市大字西茂森町五十五番 合併ノ二部園有保安林
面積二町三段十歩ノ内
一面積一町一段七畝六歩
明治三十三年一月十七日 農商務大臣曾禰荒助

○農商務省告示第五號
來千九百一一年英國ニ於テ開設スルグラスゴー市萬國博覽會出品人心得左ノ如シ
申請者弘前市長 長尾 義雄

但政府ニ於テハ參同セス

農商務大臣曾禰荒助

明治三十三年一月二十日

英國グラスゴー市萬國博覽會出品人心得

- 第一條 來千九百一一年英國グラスゴー市ニ於テ女皇陛下ノ保護ノ下ニ萬國博覽會ヲ開設ス
- 第二條 本會ノ開設ハ五月上旬ヨリ向フ凡ソ六箇月間トス
- 第三條 本會出品ノ重ナルモノハ別記出品區類別(但出品全體ヲ網羅シ)ノ定ムル所ニ依ル
- 第四條 本會ハ出品其他ニ對シテ褒賞ヲ授與セス
- 第五條 借地料ハ「出品及地所委員」カ特ニ定メタル場合ヲ除クノ外一平方「フット」ニ付三志トシ其金額ハ五磅ヲ最少限度トナス
- 出品人ハ普通ノ通路以外ニ出品物ノ周圍ニ空地ヲ殘サントスルトキハ其空地ニ對スル借地料ヲ拂フヲ要ス
- 出品人ニシテ壁面ノミヲ使用セント欲スルモノハ出品申込ノ際其旨ヲ申出ツヘシ然ルトキハ其使用料等其他ノ條件ヲ指定スヘシ
- 地面ハ「出品及地所委員」ノ特ニ定ムル條件ニ依リ借受クルコトヲ得但此場合ニ於テ其願出ノ際豫メ設計ヲ示シ且ツ其使用ノ止ミタルトキ借受人ニ於テ地面ノ損傷ヲ修覆スルノ義務アルモノトス
- 借地料ノ二割五分ハ出品申込ノ同時ニ納付シ殘金ハ地所割付ノ通知ヲ受ケタルトキ納付スヘキモノトス但前納金ハ最少額五磅ヨリ少額ナルヲ得ス
- 借地料全額ノ上ニアラサレハ出品ノ陳列ヲ爲スコトヲ得ス
- 開會七日前迄ニ出品物ヲ陳列セサルトキハ其地所ハ他ヘ割付シ且ツ納付済ノ借地料等ハ沒收スルモノトス

出品物ノ運搬、交付、陳列、据付及取除ニ要スル費用並ニ總テノ附屬品、遮斷物、臺箱等ノ設備ニ要スル費用ハ出品人ノ負擔トス又出品人又ハ其代理人ハ出品物ノ運搬、授受、荷解、据付並ニ博覽會閉場ノ際ニ於ケル出品物取除等ヲ監理スヘシ

出品人ニシテ本則ニ違反スルトキハ事務局ニ於テ出品人ノ費用ヲ以テ必要ト認ムル設備ヲ爲スコトヲ得

出品物盜難若クハ其他ノ事故ニ依リ紛失又ハ破損スルモ事務局ハ其責ニ任セス

第六條 事務局ハ機械館ノ出品人ニ對シテ無料ニテ主軸ニ依テ蒸氣及其他ノ原動力ヲ供給ス但同館出品人ハ特別ノ規程ニ服從スヘシ

出品人ニ於テ原動力ヲ要スルトキハ機械部用ノ特別出品申込書式ニ依リ其事由ヲ申出ツヘシ但本文ノ申込書用紙ハ本人ノ申出ニヨリ事務委員長ヨリ交付セラルヘシ

出品人ニ於テ反軸、調車、綱索管及取付等ヲ要スルトキハ自費ヲ以テ之ヲ設備スヘシ

第七條 地所及原動力ニ關スル申込書用紙ハグラスゴー市セント、グザンセント、ブレース三十二番事務委員長エッチ、エー、ヘンドレー氏ニ於テ交付スヘシ其交付ヲ受ケタル用紙ハ千九百年六月一日マテニ必要ノ記入ヲ爲シテ差出スヘシ

前項申込ニ對シ「出品及地所委員」ノ決定ハ六月一日以後可成速カニ通知スヘシ


第八條 出品物ノ性質ハ地所申込書中ニ充分ニ詳記スルヲ要ス該申込書中何等詳記ナキ物品ハ「出品及地所委員」ノ特許アルモノヲ除ク外出品ヲ許サス

第九條 事務局ハ理由ヲ明示セスシテ出品ヲ拒絕スルコトヲ得


第十條 各國政府ノ任命ニ係ル該國並ニ殖民地委員又ハ商業代理人ハ本會事務委員長ト通信往復スルコトヲ得

事務局ハ必要ト認ムル都テノ報告類及圖面等ヲ前記委員又ハ商業代理人ニ供提スヘシ

第十一條 委員又ハ代理人ノ選任ナキ國ノ出品出願者ハ直接ニ事務委員長ニ申出ツヘシ
第十二條 事務局ハ出品物ノ博覽會會場迄ノ往復ノ運賃割引ヲ各種ノ汽車、汽船會社及運送業者
ヘ交渉シ決定ノ上出品人ヘ通告スヘシ

第十三條 出品荷箱ニハ其兩面ニ  印ヲ明記シ出品人ノ住處氏名及場所割付番號ヲモ記載ス
ヘシ

但此目的ニ使用スル貼紙ハ事務局ヨリ出品人ヘ交付ス

第十四條 外國ヨリ輸送スル荷箱ニハ其兩面ニ  印ヲ明記シ且ツ出品人氏名、荷物發
送地ノ國名及場所割付番號ヲモ記載スヘシ

Glasgow Foreign

第十五條 飾箱、臺箱、臺及遮斷物等ノ高さハ特別ノ許可ヲ受クルニアラサレハ左ノ制限ヲ超ユル
コトヲ得ス

飾箱及遮斷物

床上八フット限

臺箱

床上ニフット六、インチ限

臺

床上ニフット限

但機械部ニ在テハ遮斷物ハ欄干ノ高さヲ超ユルコトヲ得ス

第十六條 出品人ハ事務委員長ノ承認ヲ經テ割付ラレタル地所ノ範圍内ニ於テ登ノ回リニ柵ヲ設
ケ及天井ヲ構フルコトヲ得

運轉スル機械ノ出品ニハ必ス柵ヲ設クヘキモノトス
本條ノ柵ハ地所割付ノ際事務局ヨリ指示スヘキ條件ニ從ヒ一様ニ設備スヘキモノトス

第十七條 地板ハ事務委員長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ之ヲ改造シ若クハ除去スルコトヲ得ス
前項地板ノ改造又ハ除去ニ因リ要スルニ費用ハ總テ出品人ノ負擔トス

第十八條 出品人ハ如何ナル物品ヲ問ハス左ノ障害ヲ生スル方法ニ於テ之ヲ設置シ又ハ据置キ若
ハ陳列スルコトヲ得ス

一 光線ヲ遮斷スルコト

一 割付地所以外ニ凸出スルコト

一 見透ヲ妨クルコト

一 他ノ出品人ヘ損害又ハ不便ヲ與フルコト

第十九條 裝飾ヲ一定スル爲メ出品人ハ事務委員長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ隨意ニ旗章、國旗
其他ノ裝飾品等ヲ掲グルコトヲ得ス

第二十條 蓋箱及遮斷物ノ蓋物ハ事務局ニ於テ其品質ヲ選定シ出品人ヲシテ會場内ニ於テ之ヲ購求セシム
ルヲ要シ光線ヲ遮斷セサル様指示スヘシ

看板ハ黒色トシ金字ヲ以テ書スヘキモノトス

機械館ニ於ケル看板ニ關シテハ地所割付ノ通知ト同時ニ特ニ明示スル所アルヘシ

第二十一條 出品ニ關スル總テノ引札及印刷物等ニシテ臺若クハ箱ノ内若クハ上ニ置クモノ又ハ
廣ク之ヲ配布セントスルモノニ付テハ「出品及地所委員」ノ許可ヲ受クヘシ

「出品及地所委員」ハ何時ニテモ前項ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第二十二條 荷箱到着シタルトキハ出品人又ハ其代理人ハ直ニ之ヲ荷解ヲ爲シ其空箱ハ他ニ搬出
スヘシ

空箱ハ出品人ノ負擔ニ於テ直ニ之ヲ會場外ニ搬出スルヲ要シ事務局ハ之ニ關シ何等ノ責任ヲ負
スヘシ

ハズ
 出品人ニシテ此規程ニ違背スルノ行爲アルトキハ事務局ハ出品人ノ費用ヲ以テ諸般ノ設備ヲ爲
 スコトヲ得
 事務局ハ一定ノ賃金ヲ以テ空箱ノ庫納ヲ業トスル請負人ヲ定メ其詳細ノ事項ヲ出品人へ通知ス
 ヘ
 第二十三條 出品人ハ總テ必要ナル看守人ヲ附シ開會中臺及出品物ヲ清潔ニシ且ツ整理セシムル
 ヲ要ス
 總テ臺ノ蓋物ハ午前十時ヨリ午後九時マテ取除ケ置クモノトス
 事務局ハ本會規則ニ違反スル者ニ對シ罰金ヲ科シ及不當ノ行爲アリト認メタル看守人ノ解備ヲ
 命スルコトヲ得
 第二十四條 出品人ハ事務局ノ許可ヲ得ルニアラサレハ自己ニ割付ケラレタル場所ノ一部分ヲ他
 人ニ讓與シ若クハ許可ヲ得タル出品物以外ノ物品ヲ陳列スルコトヲ得ス
 第二十五條 總テノ出品ハ出品申込書ニ記載シタル一個人又ハ商店ノ名義ヲ以テ爲スヘシ
 第二十六條 出品人ハ來觀人ニ對シ自己ノ出品ヲ説明シ且ツ廣告ノ爲メニ出品物ノ賣價ヲ表示ス
 ルヲ得ヘシト雖出品及地所委員ヨリ特別ノ認可狀ヲ得ルニアラサレハ購買スル出品物ヲ直ニ
 場外ニ搬出セシムルコトヲ得ス
 會開場内ニ於テ出品購買ノ注文ヲ爲シ得ヘシト雖現品ノ授受ハ會場外ノ本店ニ於テ爲スヘシ
 但博覽會會場内ニ於テ製造シタル物品ノ賣買ハ特定ナル所ノ規則ニ依ルヘシ
 第二十七條 出品物又ハ其附屬品ハ事務局ノ許可ヲ得ルニアラサレハ博覽會開場前ニ於テ場外ニ
 搬出スルヲ得ス
 閉場後十五日以内ニ搬出セサル出品物ハ所有主ノ負擔ト危險トニ於テ之ヲ納庫スルモノトス

閉場後三箇月ヲ經ルモ尙搬出セサル出品物ハ之ヲ雜賣ニ付シ其賣上代金ハ之ガ爲メニ要シタル
 費用ノ辨償ニ充ツルモノトス
 第二十八條 事務局ニハ特別ノ許可アル場合ヲ除クノ外千九百年十一月以前及同年四月十五日以
 後ニ於テ出品物ヲ受理セス
 但發動器汽罐若クハ其他特別ノ造營ヲ要スル出品物ヲ裝置スルハ此限ニアラス
 第二十九條 事務局ハ出品人カ火若クハ瓦斯ヲ使用スル場合ニ就テハ事務局ニ於テ特別ノ注意ヲ
 取ルハ勿論必要ノ場合ニ於テハ特別ノ規則ヲ設ケ又責任アル役員ヲシテ之ヲ監理セシムヘシ
 出品人ハ出品物ニ對シ自ラ保險ヲ附スルヲ要ス
 第三十條 爆發物其他事務局ニ於テ危險ナリト認ムル物品ハ其出品ヲ許サス
 前項ノ場合ニ於テ其模型ヲ出陳スルハ妨ナシ
 第三十一條 酒精、油、腐蝕性物品等其他總テ他ノ物品ヲ腐敗シ若クハ公衆ニ對シ煩累ヲ與フルノ虞
 アル物品ハ堅牢ニシテ適當ナル容器ニ入レタルモノニアラサレハ出品スルコトヲ得ス
 第三十二條 事務局ハ總テノ出品ヲ試驗スルノ權利ヲ有ス
 博覽會開會中出品セラレタル機械、器具又ハ物品ノ爲メニ來觀人又ハ其他ノ人民へ危害ヲ與ヘ
 タル場合ニ於テハ該事件ノ起リタル當該物品ノ出品人ニ於テ責任ヲ負フヘキモノトス
 前項ノ場合ニ於テ其危害ニ關シ事務局ニ對シ何等ノ請求ヲ爲ス者アルトキハ出品人ハ自ラ之ヲ
 辨償シ該事件ニ付キ事務局ヲシテ損害ヲ蒙ラシムヘカラサルモノトス
 第三十三條 出品物ノ寫生、寫眞又ハ圖引等ハ出品人及事務局ノ許可ヲ受クルニアラサレハ之ヲ
 爲スコトヲ得ス
 第三十四條 博覽會通券ハ出品人及之ニ附從スル看守人中相當ト認ムル員數ヲ限リ之ヲ交付ス
 前項ノ通券ヲ發行シタル宛名人ニアラスシテ該通券ヲ使用スル者アルトキハ直ニ取上クルモノ

トス

第二十五條 事務局ハ事務局カ適當ニ告示シタル規則ニ依リ出品目錄ヲ編輯シ及之ヲ印刷スルノ權利ヲ專有ス

第二十六條 事務局ハ本會ニ關スル規則ヲ修正加除シ又ハ特別ノ場合ニ或ル規程ノ適用ヲ免レシムルコトヲ得

第二十七條 出品人ハ總テ本會規則ヲ遵守スルハ勿論事務局ニ於テ時々告示スル他ノ規則ニモ服從スヘキモノトス

第二十八條 出品人ハ本會規則ニ服從セサルモノアルトキハ事務局ハ其出品ヲ除去スルノ權利ヲ有ス

第二十九條 出品人又ハ其他ノ人民ノ所有ニ屬スル出品物又財產ニシテ紛失又ハ損傷シタルトキハ其事由ノ如何ニ拘ハラズ事務局ハ一切其責ニ任セス

(別記)

出品區類別

第一類 粗生品(農産物及礦産物)

第二類 工業意匠及工藝品

第三類 機械、原動機、電氣及勞力省略裝置

第四類 鐵道汽機及陸上運搬

第五類 造船術

第六類 點火及暖房裝置

第七類 科學、科學器械、教育及音樂

第八類 遊戲及遊藝裝置

附 婦人部
美術、蘇格蘭歷史、及人類學(以上參考品)

○農商務省告示第六號
森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治三十三年一月二十五日

農商務大臣曾禰荒助

美濃國羽島郡八劍村大字下印查地内 字堂前千六百八十五番ノ二御料林 一面積六畝十二步	申請者	八劍村長代理助後葛谷勝次郎
字同千六百八十六番ノ一御料林 一面積一段六畝二十步	同	同
字同千六百八十六番ノ二御料林 一面積一段三畝五步	同	同
同國海津郡城山村大字庭田地内 字奥谷千二十八番ノ二 一面積二畝十九步	所有者	城山村大字庭内
字同千五十三番ノ二 一面積一町九畝八步	同	同
同國同郡石津村大字太田地内 字杉生平三百七十九番ノ二 一面積七畝七步	申請者	石津村大字太田 石津村長前田真彌
字同三百八十二番ノ一ノ一 一面積八畝二畝二十七步	同	同
字同三百八十二番ノ一ノ三 一面積五畝四畝十五步	同	同
字同三百八十六番 一面積三畝一畝二十步	同	同
字木戸二千八百八十七番 一面積一町二畝十三步	同	同
同國養老郡日吉村大字橋爪地内 字岡山二百十四番ノ一 一面積十六町一段九畝二十八步	所有者	日吉村大字橋爪 北根中房西組

一面積一段一畝十四步	同	泉村大字久尻次合組
字同千五百五十二番ノ五	同	同
一面積一段八畝九步	同	同
字田ノ平千六百六十四番ノ五	同	同
一面積三段九畝十一歩	同	同
字長山千七百十三番ノ三	同	同
一面積五歩	同	同
字新田千八百四十五番ノ五	同	同村大字久尻土合組
一面積一畝二十九歩	同	同村大字久尻次合組
飛騨國大野郡清見村大字收ヶ洞地内	所有者	清見村大字收ヶ洞
字土保木四千三百十六番	同	同
面積三十二町歩ノ内	同	同
一面積一町七段一畝十三歩	同	同
字島蒲田四千三百二十九番	同	同
面積六段七畝二十歩ノ内	同	同
一面積二段三畝八歩	同	同
同國益田郡高根村大字小日和田地内	同	高根村大字小日和田
字屋敷ヶ洞十三番	同	同
一面積二十町歩	同	同
字青木洞三十二番	同	同
一面積二十町歩	同	同
字城屋敷三十九番	同	同
一面積八十町歩	同	同
字小日和田平四十三番	同	同
一面積一町三段歩	同	同
字袖ヶ洞四十二番	同	同

一面積二十八町歩	同	同
字小日和田平四十九番	同	同
一面積二十三町七段歩	同	同
字同四十八番	同	同
一面積十町歩	同	同
字野首澤五十六番	同	高根村大字小日和田
一面積十六町歩	同	同
字野首澤五十九番	同	同
一面積六町歩	同	同
字岩ノ久保七十二番	同	同
一面積二町歩	同	同
字上小坂七十五番	同	同
一面積八十町歩	同	同
字水上澤七十四番	同	同
一面積百六十町歩	同	同
字森ノ越平七十八番	同	同
一面積三十八町歩	同	同
字同八十三番	同	同
一面積六町歩	同	同
字同八十二番	同	同
一面積一町歩	同	同
飛騨國益田郡高根村大字日和田地内	同	高根村大字日和田
字牧ノ平三番	同	同
一面積八町歩	同	同
字同五番	同	同
一面積十二町八段歩	同	同
字道ノ洞四百九十六番	同	同
一面積七町二段歩	同	同

一面積十町一段歩
 字同三百五十番
 一面積十二町歩
 字同三百五十一番
 一面積十町五段歩
 字同三百五十五番
 一面積十町歩
 字本谷三百六十番
 一面積十三町五段歩
 飛騨國益田郡高根村大字大古井地内
 字マケ洞四百十四番
 一面積四十町五段歩
 字東ヶ谷四百十七番
 一面積九町二段歩
 字森ノ高四百十八番
 一面積五町五段歩
 字同四百十九番
 一面積八段二畝歩
 字大洞四百二十六番
 一面積二十八町五段歩
 字西ノ平四百二十八番
 一面積十六町四段二畝歩
 字同四百三十番
 一面積二段二畝二十九歩
 字同四百三十一番
 一面積一段歩
 同國同郡同村大字上ヶ洞地内
 字草水ヶ平三百十三番

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同村大字大古井

一面積八十八町四段歩
 字横平山三百十四番
 一面積七町二段五畝歩
 字瓜平三百十七番
 一面積三十四町歩
 字洞谷三百十八番
 一面積三十一町歩
 字井ノ口三百二十一番
 一面積六町八段歩
 字二本木四百三十番
 一面積十七町歩
 同國同郡同村大字阿多野郷地内
 字大長谷五百番ノ一
 一面積九十五町歩
 字同五百番ノ二
 一面積三十町歩
 字丁子口十九番
 一面積八畝歩
 字松ノ水平四百十四番
 一面積一段一畝六歩
 字同五百三番
 一面積一段八畝二十歩
 字寺ヶ澤五百二十七番
 一面積二十五町歩
 字牧ノ澤五百三十番
 一面積二百四十町歩
 字同五百六十四番
 一面積五畝十歩

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同村大字阿多野郷

字同五百九十二番	同	同
一面積二百九十九町四段九畝十步	同	同
字同ナナナ番六百二十一番	同	同
一面積三段歩	同	同
字北前平七百六十八番	同	同
一面積三段歩	同	同
字クミガ島百十二番	同	同
一面積十町七段歩	同	同
美濃國土岐郡餘戶村大字釜戸地内	同	同
字六田二千五百四十七番ノ五	同	同
一面積六畝二十歩	同	同
字向田四千四百三十番ノ二	同	同
一面積十四歩	同	同
字鹽淵四千四百五十三番ノ四	同	同
一面積五段四畝二十四歩	同	同
字同四千四百五十三番ノ五	同	同
一面積一畝十七歩	同	同
字桑原四千五百二十二番ノ七	同	同
一面積一畝三歩	同	同
字大羽根四千六百七十八番ノ二	同	同
一面積三畝十三歩	同	同
字同四千六百九十二番ノ七	同	同
一面積二十八歩	同	同
飛騨國大野郡大八賀村大字鹽屋地内	同	同

字塩谷千三十八番ノ一	同	同
一面積七畝歩	同	同
字同千三十八番ノ二	同	同
一面積一段一畝十歩	同	同
字同千三十八番ノ三	同	同
一面積四段五畝二十五歩	同	同
字同千三十九番	同	同
一面積六町十五歩	同	同
字同千四十番ノ一	同	同
一面積八畝歩	同	同
字同千四十番ノ二	同	同
一面積六畝十四歩	同	同
字同千四十番ノ三	同	同
一面積一段一畝八歩	同	同
字同千四十番ノ四	同	同
一面積三町四段五畝二十二歩	同	同
字同千四十番ノ五	同	同
一面積一町歩	同	同
字同千四十番ノ六	同	同
一面積四段歩	同	同
字同千四十番ノ七	同	同
一面積一町一段八畝十二歩	同	同
字同千四十番ノ八	同	同
一面積一町六段八畝二十六歩	同	同
字同千四十番ノ九	同	同
一面積六段歩	同	同
飛騨國大野郡大八賀村大字大島地内	同	同
字穴曾十七番	同	同
一面積九町一段四畝三歩	同	同

○農商務省告示第七號
水産講習所傳習規則左ノ通定ム

明治三十三年一月二十六日

農商務大臣曾禰荒助

水産講習所傳習規則

- 第一條 本所ハ水産ニ關スル學理及技術ノ傳習ヲ爲ス
- 第二條 本所ニ本科及現業科ヲ置ク
- 第三條 本科ノ修業年限ハ三箇年トシ學理及技術ヲ併習セシメ現業科ノ修業年限ハ一箇年以内トシ専ラ技術ヲ習得セシム
- 第四條 本科ノ卒業生ニシテ尙深ク學理及技術ヲ攻究セント欲スル者ノ爲メニ研究科ヲ置キ其修業年限ヲ三箇年以内トス
- 第五條 本科ハ漁撈製造養殖ノ三科ニ分チ其科ヲ專修セシム
- 第六條 本科ノ學科課程ハ左ノ如シ
 - 一、漁撈科 漁具ノ構成漁船ノ構造漁撈ノ方法其他漁撈ニ必要ナル學科ヲ授ケ尙製造及養殖ノ大要ヲ授ク
 - 二、製造科 水産物ノ製造及製鹽法其他製造ニ必要ナル學科ヲ授ケ尙漁撈及養殖ノ大要ヲ授ク
 - 三、養殖科 淡水水産動物ノ養殖及其蕃殖保護法其他養殖ニ必要ナル學科ヲ授ケ尙漁撈及製造ノ大要ヲ授ク
- 第七條 現業科ノ課程ハ漁撈製造養殖ノ三科ニ分チ各其範圍内ニ於テ種目ヲ限リ之ヲ授ク但其種目ハ水産講習所長之ヲ定ム
- 第八條 本所ハ授業科ヲ徵收セス
- 第九條 學年ハ九月十一日ニ始マリ翌年七月十日ニ終ル

第十條 休業日左ノ如シ

一日曜日

一 大祭祝日

一 冬季休業 自十二月二十五日 至一月七日

一 夏季休業 自七月十一日 至九月十日

但實習ハ休業中ト雖時宜ニヨリ施行スルコトアルヘシ

第十一條 生徒ノ募集ハ本科ハ毎年六月研究科ハ九月現業科ハ四月十月ノ二期トス

第十二條 本科生及現業科生入學ノ人員ハ募集ノ際之ヲ定メ研究科生ハ教授上ノ都合ニ依リ之ヲ許否ス

第十三條 入學志願者ハ左ノ資格ヲ有スルモノタルヘシ

一 本科ニ於テハ年齢十七年以上ニシテ中學校卒業者ハ之ニ相當スル學力ヲ有シ品行方正身體強健ニシテ在學中家事ノ係累ナキモノ

二 現業科ニ於テハ年齢二十年以上三十五年以下ニシテ二箇年以上水産ノ業ニ従事シタル者若クハ其ノ子弟ニシテ品行方正身體強健在學中家事ノ係累ナキ者

第十四條 本科生及現業科生ノ進級及卒業ハ學科及技術ノ試業ヲ施シテ之ヲ決シ本科ニハ卒業證書ヲ現業科ニハ修業證書ヲ授與ス研究科生ハ研究ヲ完了シタルトキハ其專攻ニ係ル證明書ヲ授與ス

第十五條 本科ノ生徒中學術優等品行方正ニシテ生徒ノ模範トナルヘキモノハ特待生トシ學費ヲ補給スルコトアルヘシ

第十六條 本所ノ規則告示其他命令ニ違反シ若ハ風儀ヲ紊ス等ノ行爲アル者ハ其情狀ニヨリ戒飭ヲ加ヘ又ハ停學或ハ放所ヲ命ス

第十七條 學業不進若ハ品行不良ニシテ成業ノ見込ナキ者ハ除名ス
第十八條 本規則施行ニ關スル規程ハ水産講習所長之ヲ定ム

附則

第十九條 本規則ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行シ明治三十一年一月一告示第二號水産講習所傳習
生規程ハ本規則施行ノ日ヨリ廢止ス

○農商務省告示第八號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ通保安林ニ編入ス

明治三十三年一月二十六日

農商務大臣曾禰荒助

上野國勢多郡東村大字澤入村字小嶽千三百八番山林
一面積四百二町九段一畝二十一歩

所有者

小平 十郎平

同國同郡同村大字同字大嶽千三百九番山林
一面積四百二十三町二段四畝二十五歩

同

外人
外六十五名

同國同郡同村大字同字陰加賀澤千二百九十五番山林
一面積三百七十一町二段三歩

同

松島 熊五郎

同國同郡同村大字同字桃名條千二百九十六番山林
一面積五百七十七町七段二畝九歩

同

同 人

同國同郡同村大字同字入奥小屋千三百十二番山林
一面積百七十四町五段五畝十六歩

同

小平 十郎平

同國同郡同村大字同字尾澤入千三百十四番山林
一面積三百六十一町二段二十八歩

同

松島 熊五郎

同國同郡同村大字同字同千三百十三番山林
一面積十七町五段四畝十歩

同

高瀬 由三郎

同國同郡同村大字同字同千三百十五番山林
一面積三十八町二段二畝二十五歩

同

磯生 由三郎

同國同郡同村大字同字榎澤入千三百四十三番山林
一面積二百七十三町四段一畝十歩

同

小平 十郎平

同國同郡同村大字同字塔之澤千三百九十七番山林
一面積三百十八町七段一畝二十九歩

同

同 外人
外六十五名

同國同郡同村大字同字西山千三百九十九番山林
一面積二百二十七町五段五畝十七歩

同

同 人

同國同郡同村大字同字峠千三百四十番山林
一面積三町七段八畝十七歩

同

同 上

同國同郡同村大字同字峠向千三百三十九番山林
面積八十一町八段二畝二十五歩ノ内

同

同 上

同國同郡同村大字同字名越澤八百七十七番山林
一面積一町二畝十八歩

同

松島 熊五郎

同國同郡同村大字同字小畑八百九十四番山林
面積六段三畝五歩ノ内

同

同 人

一面積二段十一歩

明治三十三年一月 告示 農商務省第八號

四五

同國同郡同村大字同字境澤千二百八十一番山林 面積十九町二段四畝二十六歩ノ内 面積二町二段五畝三歩	同	小平 十郎平 <small>外六十三番</small>
同國同郡同村大字同字曾仁田千四十番固有荒地 面積三畝六歩	同	松島 熊五郎
同國同郡同村大字同字穴之久保千五十四番山林 面積二段三畝四歩	同	同 人
同國同郡同村大字同字同千五十二番山林 面積一段二畝五歩	同	小平 十郎平 <small>外六十三番</small>
同國同郡同村大字同字山梨子千六十二番山林 面積一段一畝十二歩	同	同 上
同國同郡同村大字同字同千五十八番山林 面積一段八畝四歩	同	高草木 周八
同國同郡同村大字同字尾澤千七十八番山林 面積七町五段一畝五歩ノ内 面積七町九畝二十一歩	同	松島 熊五郎
同國同郡同村大字同字同千七十九番山林 面積二町二段六歩	同	同 人
同國同郡同村大字同字白井平千八十番山林 面積五町二段四畝八歩	同	同 人

同國同郡同村大字同字東宮五十六番山林
面積一町二段一畝十歩

同

小平 十郎平
外六十三番

○農商務省告示第九號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治三十三年一月二十六日

農商務大臣曾禰荒助

上野國勢多郡黒保根村大字窪洞村字曲久保千七百三十番ノ一保安林
面積一町六畝二十七歩ノ内
面積一畝十歩

所有者
申請者

橋本 元三郎
同 人

同國群馬郡古巻村大字八木原村字左衛門島千三百五十二番固有保安林
面積一段八畝十八歩

○逓信省告示第一號

本月十一日ヨリ御來屋、砂川、鷺泊、杵形、香深ノ各郵便局ヲ三等郵便電信局トシ左ノ通改稱ス

明治三十三年一月八日

逓信大臣子爵芳川顯正

國郡名	舊稱	改稱
伯爵國西伯郡	御來屋郵便局	御來屋郵便電信局
石狩國空知郡	砂川郵便局	砂川郵便電信局
北見國利尻郡	鷺泊郵便局	鷺泊郵便電信局

國郡名	舊稱	改稱
北見國利尻郡	杵形郵便局	杵形郵便電信局
北見國利尻郡	香深郵便局	香深郵便電信局

○逓信省告示第二號

本月十一日ヨリ石狩國空知郡幌内鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左項ニ依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス
但萬國電信條約ニ據リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治三十三年一月九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一 遞信取扱時限

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ
午前七時ヨリ午後十時マテ

一 電報直配達區域

取扱所ヨリ十八町以内

○ 遞信省告示第三號

本月十日限リ石狩國空知郡幌内太鐵道停車場電信取扱所ニ於ケル公衆電報ノ取扱ヲ廢止ス

明治三十三年一月九日

遞信大臣子爵芳川顯正

○ 遞信省告示第四號

本月十六日ヨリ攝津國大阪市大阪南久寶寺町郵便受取所ヲ同國同市南區日本橋筋四町目ニ移轉大
阪日本橋筋郵便受取所ト改稱ノ上郵便爲替郵便貯金事務ヲ開始ス

明治三十三年一月九日

遞信大臣子爵芳川顯正

○ 遞信省告示第五號

本月十一日ヨリ武藏國豐多摩郡新宿^{シマダ}武藏國南足立郡北千住^{キヤクシマ}武藏國荏原郡目黒^{メグロ}釧路國釧路郡宇多
津ノ各鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左項ニ依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス
但萬國電信條約ニ據リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治三十三年一月九日

遞信大臣子爵芳川顯正

一 新宿取扱所

通信取扱時限 午前七時ヨリ午後九時マテ

但著信電報ハ留置ト爲スモノニ限リ之ヲ取扱フ

一 北千住取扱所

通信取扱時限

午前七時ヨリ午後八時マテ

一 目黒取扱所

通信取扱時限

午前七時ヨリ午後八時マテ

一 電報直配達區域

五町以内

一 電報別使配達

之ヲ取扱フ

一 宇多津取扱所

通信取扱時限

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月一日ヨリ翌

年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

電報直配達區域

宇多津町一圓

電報別使配達

宇多津町一圓ニ宛タルモノニ限リ之ヲ取扱フ

○ 遞信省告示第六號

本月十一日ヨリ安藝國山縣郡戸谷郵便局ヲ二等郵便電信局トシ戸谷郵便電信局ト改稱ス

○ 遞信省告示第七號

本月十六日ヨリ武藏國入間郡入間川鐵道停車場電信取扱所ニ於ケル通信取扱時限ヲ左ノ通改定ス

一 通信取扱時限

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後八時マテ十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ

午前七時ヨリ午後八時マテ

○逓信省告示第八號

本月十六日ヨリ丹波國天田郡上佐々木郵便局ヲ丹後國與謝郡雲原村ニ移轉シ雲原郵便局ト改稱ス

明治三十三年一月十日

○逓信省告示第九號

島根縣下出雲國八束郡千酌村大字千酌浦沖ニ設置ノ水底電線浮標修繕中假浮標ヲ設置ス

明治三十三年一月十一日

○逓信省告示第十號

明治三十三年一月十一日 逓信省告示第三百四十一號中オレンジ自由國トランスヴァル喜望峯ノ下ニセント、エレナヲ追加ス

明治三十三年一月十一日

○逓信省告示第十一號

本月十六日ヨリ東根、金山、刈和野、淺舞ノ各郵便局ヲ三等郵便電信局トシ左ノ通改稱ス

明治三十三年一月十一日

○逓信省告示第十二號

本月十六日ヨリ磐城國相馬郡鹿島、磐城國雙葉郡久ノ濱、陸奥國二戸郡中山ノ各鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左項ニ依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス

○逓信省告示第十三號

但萬國電信條約ニ據リ取扱ヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治三十三年一月十一日

逓信大臣子爵芳川顯正

羽前國北村山郡 東根郵便局	改稱	國郡名	羽後國仙北郡 刈和野郵便局	改稱
羽前國最上郡 金山郵便局	改稱	國郡名	陸奥國二戸郡 中山郵便局	改稱
東根郵便電信局	改稱	國郡名	淺舞郵便局	改稱
金山郵便電信局	改稱	國郡名	淺舞郵便電信局	改稱
羽後國仙北郡 刈和野郵便局	改稱	國郡名	淺舞郵便電信局	改稱
羽後國平鹿郡 淺舞郵便局	改稱	國郡名	淺舞郵便電信局	改稱

一 逓信取扱時限

鹿島及久ノ濱取扱所ハ午前八時ヨリ午後六時マテ

中山取扱所ハ午前七時ヨリ午後七時マテ

一各取扱所ニ於テ其取扱所ヨリ六町以内ニ宛タル電報ハ直配達ヲ爲ス

一各取扱所ニ於テ別使配達ヲ取扱フ

○逓信省告示第十四號

本月二十一日ヨリ周防國都濃郡下松郵便局ヲ三等郵便電信局トシ下松郵便電信局ト改稱ス

明治三十三年一月十七日

○逓信省告示第十五號

本月二十一日ヨリ相模國鎌倉郡鎌倉郵便電信局ヲ同國同郡鎌倉町大字小町ニ移轉ス

明治三十三年一月十九日

○逓信省告示第十六號

來二月一日ヨリ石狩國上川郡蘭留郵便受取所ニ於テ郵便、小包郵便、郵便爲替及郵便貯金事務ヲ開始ス

明治三十三年一月十九日

○逓信省告示第十七號

南亞米利加ゾネネジューラ國ヘ宛ツル電報ハ外交上ニ關スルモノヲ除クノ外同國政府ノ検査ニ附セラレ且其傳送上誤謬遲延不達ノ責ニ任セス又隱語電報ハ隱語集ヲ提出スルニアラサレハ受付ケラレサル旨萬國電信總局ヨリ通報シ來レリ

明治三十三年一月二十日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第十七號

本月二十六日ヨリ伊豫國東宇和郡野村郵便局ヲ三等郵便電信局トシ野村郵便電信局ト改稱ス
明治三十三年一月二十三日 逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第十八號

本月二十六日ヨリ攝津國大阪府湊町攝津國大阪府難波肥前國西彼杵郡長崎肥前國東彼杵郡川棚ノ各鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左項ニ依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス
但萬國電信條約ニ據リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス
明治三十三年一月二十三日 逓信大臣子爵芳川顯正

一湊町及難波取扱所

通信取扱時限

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

但著信電報ハ留置ト爲スモノニ限リ之ヲ取扱フ

一長崎取扱所

通信取扱時限

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

電報直配達區域

長崎市ノ内

竹ノ久保郷

浦上山里村一圓

舟津郷

里郷

中馬込

元馬込

電報別使配達區域

長崎市ノ内

竹ノ久保郷

浦上山里村一圓

舟津郷

里郷

中馬込

元馬込

一川棚取扱所

通信取扱時限

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後六時マテ十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後六時マテ

電報直配達區域

川棚村ノ内

百津 中組ノ内

川棚宿 白石ノ内

平島

電報別使配達區域

川棚村一圓(但木場ヲ除ク)

下波佐見村ノ内

竹邊田 平瀬

○逓信省告示第十九號

自今郵便局ニ於テ郵便爲替貯金管理所及同支所ヨリ發スル貯金登記濟通知書及貯金通帳調査濟通達書等ニハ郵便物引受日付印ヲ捺捺セス
明治三十三年一月二十三日 逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第二十號

明治三十三年十一月二十一日ニ逓信省告示第三百四十一號中「オレンジ自由國」トランスヴァル、喜望峯、セント、エ「レナ」ノ下ニ「アツセン」ヲ七字ヲ追加ス
明治三十三年一月二十三日 逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第二十一號

萬國郵便條約施行細則第四條聯合各國貨幣比例表中埃地利洪島利「ボスニー、ヘルゼゴヴナ」及
パラグエーノ部左ノ通改正ス

明治三十三年一月二十二日

逓信大臣子爵芳川顯正

埃地利洪島利 二十五ドニエー、ド、クロンヌ 十ドニエー、ド、クロンヌ 五ドニエー、ド、クロンヌ
ボスニー、ヘルゼゴヴナ 二十五ドニエー、ド、クロンヌ 十ドニエー、ド、クロンヌ 五ドニエー、ド、クロンヌ
パラグエー 二十センチタヴキド、ペンパビエー 八センチタヴキド、ペンパビエー 四センチタヴキド、ペンパビエー

○逓信省告示第二十二號

宮城縣下陸前國金華山燈臺ニ設置セル霧笛ハ機械ヲ改造ノ爲メ來二月一日ヨリ右工事中霧笛ノ吹
鳴ヲ停止ス

明治三十三年一月二十四日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第二十三號

北海道日高國幌泉郡襟裳崎燈臺ニ設置セル霧笛機械ヲ改造シ來二月十五日以後其吹鳴時間ヲ左ノ
通改定ス

明治三十三年一月二十四日

逓信大臣子爵芳川顯正

一該霧笛ハ一分時毎ニ之ヲ吹鳴ス其吹鳴時間ハ七秒ナリ

○逓信省告示第二十四號

船舶検査法ニ依リ海事局ノ検査ヲ受クヘキ船舶ノ検査執行地左ノ通追加ス

長崎海事局
筑後國大牟田

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第二十五號

本月三十一日限り左記三等郵便電信局及郵便局ヲ廢ス

明治三十三年一月二十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

北見國宗谷郡 稚内郵便電信局 位 局 名
陸奥國弘前市 弘前郵便電信局 位 局 名
羽前國米澤市 米澤郵便電信局 位 局 名

筑前國遠賀郡 若松郵便電信局 位 局 名
豐前國企救郡 小倉郵便局 位 局 名

○逓信省告示第二十六號

來二月一日ヨリ左記二等郵便電信局ヲ設置ス

明治三十三年一月二十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

北見國宗谷郡 稚内郵便電信局 局 名
陸奥國弘前市 弘前郵便電信局 局 名

羽前國米澤市 米澤郵便電信局 局 名
筑前國遠賀郡 若松郵便電信局 局 名

○逓信省告示第二十七號

來二月一日ヨリ豐前國企救郡小倉二等電信局ヲ二等郵便電信局ト改定シ小倉郵便電信局ト稱ス

明治三十三年一月二十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第二十八號

來二月十五日限り山城國紀伊郡伏見三等郵便局ヲ廢ス

明治三十三年一月二十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第二十九號

來二月十六日ヨリ山城國紀伊郡伏見二等電信局ヲ郵便電信支局ニ改定シ京都郵便電信局伏見支局
ト稱ス

明治三十三年一月二十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十三年一月 告示 遞信省第三十號

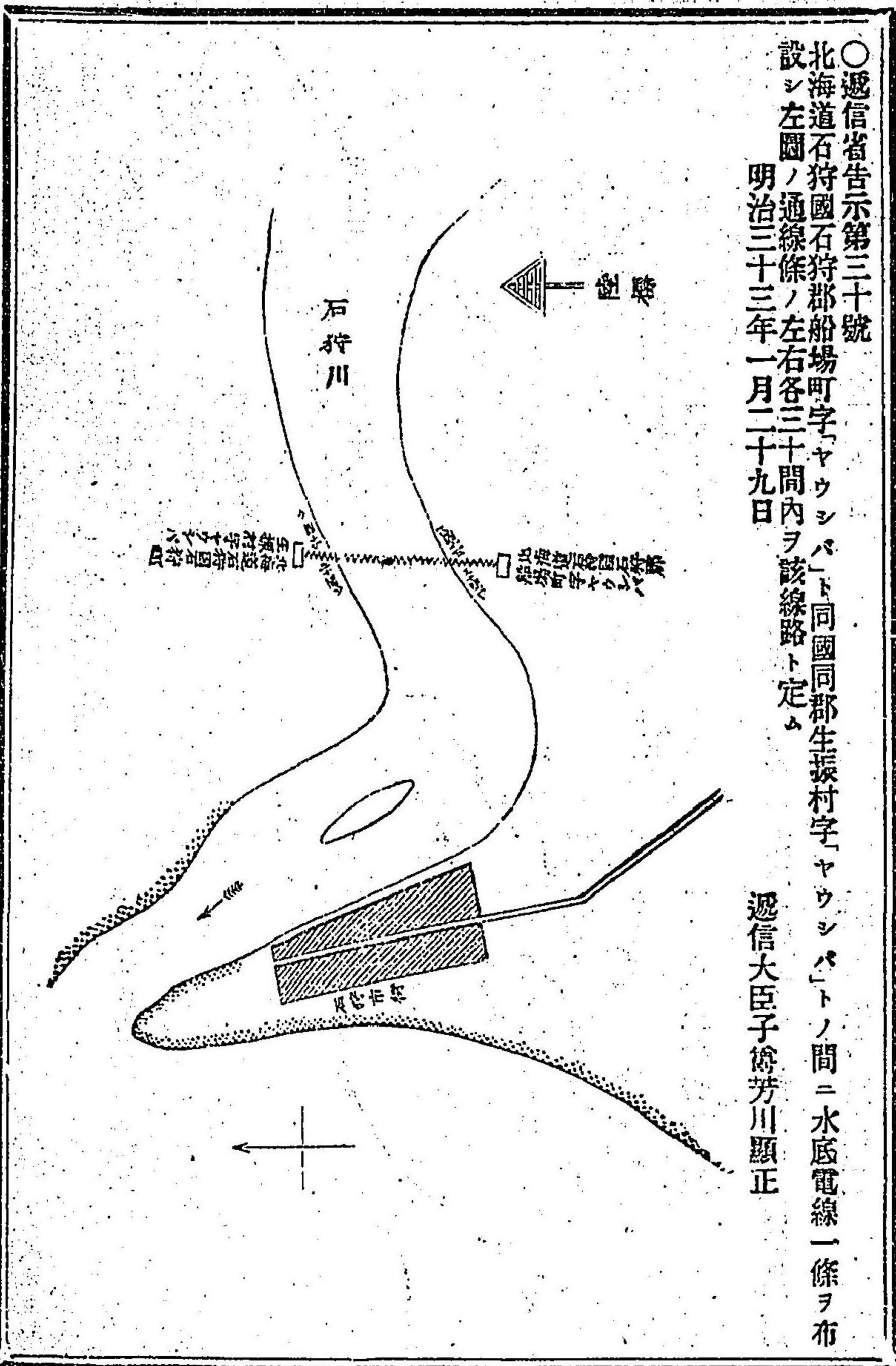
○遞信省告示第三十號

北海道石狩國石狩郡船場町字ヤウシバト同國同郡生振村字ヤウシバトノ間ニ水底電線一條ヲ布設シ左圖ノ通線條ノ左右各三十間内ヲ該線路ト定ム

明治三十三年一月二十九日

遞信大臣子爵芳川顯正

五六

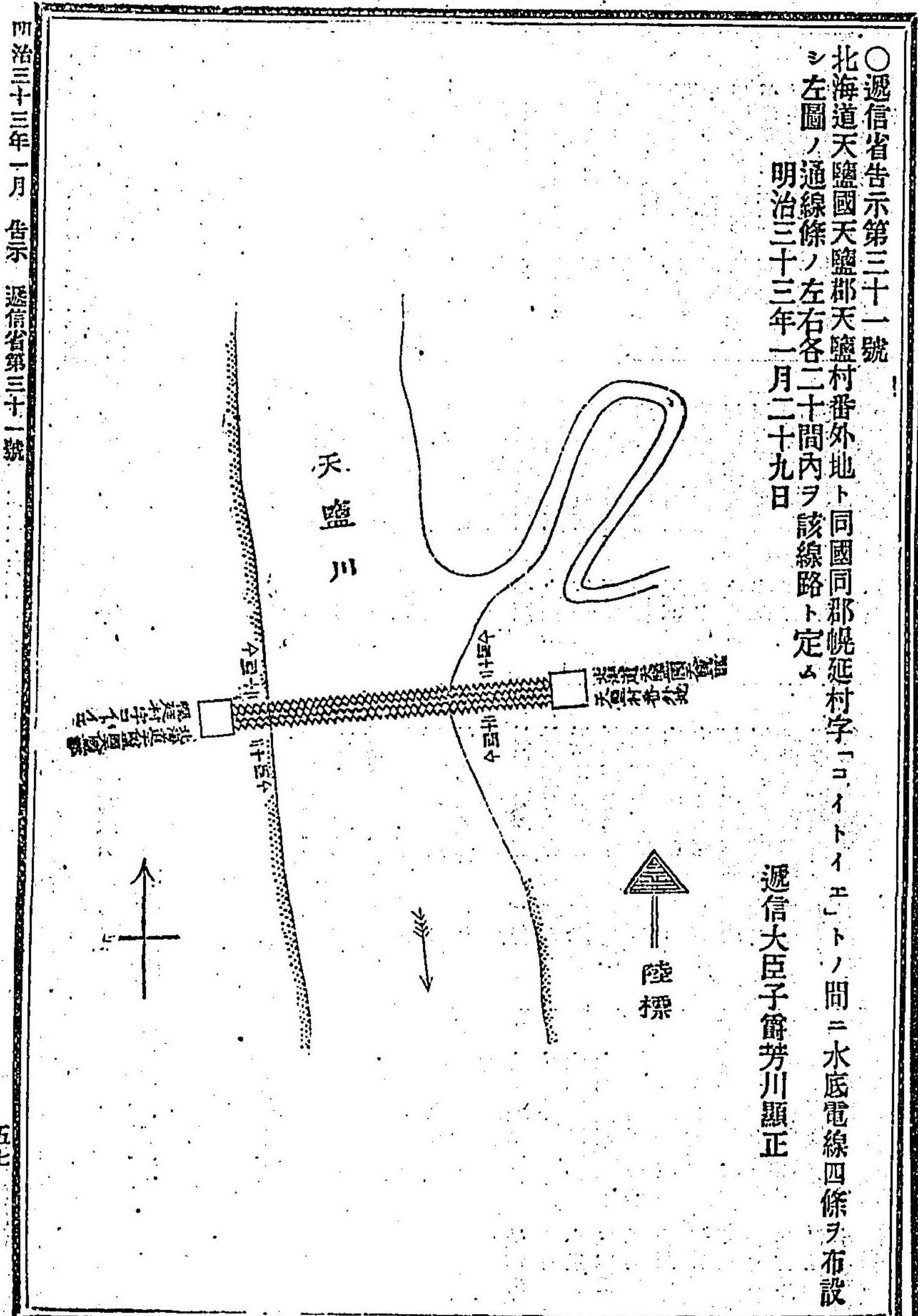


○遞信省告示第三十一號

北海道天鹽國天鹽郡天鹽村番外地ト同國同郡幌延村字コイトイエトノ間ニ水底電線四條ヲ布設シ左圖ノ通線條ノ左右各二十間内ヲ該線路ト定ム

明治三十三年一月二十九日

遞信大臣子爵芳川顯正



明治三十三年一月 告示 遞信省第三十一號

五七

攝津國大阪市	大阪夫婦	攝津國大阪市	大阪新橋	紀伊國海草郡	紀三井寺	陸奥國津輕郡	全別
攝津國大阪市	大阪梅田	攝津國大阪市	大阪新町	紀伊國東牟婁郡	天滿	陸奥國北津輕郡	勝元
攝津國大阪市	大阪本田	攝津國大阪市	大阪京町	紀伊國那賀郡	名手	陸奥國青森市	青森新町
攝津國大阪市	大阪越後	攝津國大阪市	大阪天滿	大和國吉野郡	吉野山	陸奥國青森市	町
攝津國大阪市	大阪阿波	攝津國大阪市	大阪慶屋	大和國奈良市	奈良今小	陸奥國下北郡	易國間
攝津國大阪市	大阪富田	攝津國大阪市	大阪土佐	大和國奈良市	奈良元興	陸奥國西津輕郡	舞戶
攝津國大阪市	大阪上本	攝津國大阪市	大阪北津	和泉國津上郡	寺町	陸奥國中野郡	尾去澤
攝津國大阪市	大阪上福	攝津國大阪市	大阪大崎	和泉國堺市	堺新在家	陸奥國鹿角郡	不老倉
攝津國大阪市	大阪上福	攝津國大阪市	大阪大崎	和泉國堺市	堺新在家	陸奥國中野郡	山中
攝津國大阪市	大阪上福	攝津國大阪市	大阪大崎	和泉國堺市	堺新在家	陸奥國中野郡	山中
攝津國大阪市	大阪上福	攝津國大阪市	大阪大崎	和泉國堺市	堺新在家	陸奥國中野郡	山中
攝津國大阪市	大阪上福	攝津國大阪市	大阪大崎	和泉國堺市	堺新在家	陸奥國中野郡	山中

○遞信省告示第三十五號

來二月一日ヨリ筑前國筑紫郡片總郵便局ヲ同國同郡岩戸村大字別所ニ移轉シ岩戸郵便局ト改稱ス

○遞信省告示第三十六號

來二月一日ヨリ隅田、間大、口大野ノ各郵便局ヲ三等郵便電信局トシ左ノ通改稱ス

武藏國南葛飾郡	隅田郵便局	改稱	隅田郵便電信局
丹後國丹波郡	間大郵便局	改稱	間大郵便電信局
丹後國中郡	口大野郵便局	改稱	口大野郵便電信局

○遞信省告示第三十七號

來二月一日ヨリ左ノ上記二等郵便電信局ニ於テ郵便爲替郵便貯金及小包郵便事務ヲ開始シ下記三等郵便電信局及郵便局ノ郵便爲替郵便貯金及小包郵便事務ヲ繼續取扱ハシム

位	區	新設二等局名	廢止三等局名	位	區	新設二等局名	廢止三等局名
北見國宗谷郡	稚内郵便電信局	稚内郵便電信局	稚内郵便電信局	筑前國遠賀郡	若松郵便電信局	若松郵便電信局	若松郵便電信局
陸奥國弘前市	弘前郵便電信局	弘前郵便電信局	弘前郵便電信局	筑前國金敷郡	小倉郵便電信局	小倉郵便電信局	小倉郵便電信局
羽前國米澤市	米澤郵便電信局	米澤郵便電信局	米澤郵便電信局				

○遞信省告示第三十八號

來二月十六日ヨリ山城國京都郵便電信局伏見支局ニ於テ郵便爲替郵便貯金及小包郵便事務ヲ開始シ同國紀伊郡伏見郵便局ノ郵便爲替郵便貯金及小包郵便事務ヲ繼續取扱ハシム

○遞信省告示第三十九號

島根縣下出雲國八束郡千酌村大字千酌浦沖ニ設置ノ水底電線浮標修繕竣工ニ依リ舊ニ設置シタル假浮標ヲ撤去シ本位置ニ復ス

○遞信省告示第四十號

南亞弗利加トランスヴァールニ宛ル私用電報ハ停止セラレタル旨萬國電信總局ヨリ通報シ來レ

○遞信省告示第四十一號

明治三十三年一月三十一日 遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第四十二號

明治三十三年一月三十一日 遞信大臣子爵芳川顯正

明治三十三年二月 告示 遞信省第三十七號 第三十八號 第三十九號 第四十號 第四十一號

ノタメ假燈點火ノ旨告示セシ處本燈竿復舊工事竣成ニ付來二月一日ヨリ點火ス
但構造燈火ノ高サ及光達距離等ハ渾テ從前ノ通りニシテ假燈ハ同日撤去ス

明治三十三年一月三十一日

遞信大臣子爵芳川顯正

○臺灣總督府告示第一號(官報一月二十三日)

明治三十三年二月一日ヨリ臺南縣臺南大西門通內宮後街ハ郵便受取所ヲ設置シ臺南大西門郵便受取所ト稱シ共事務ヲ取扱ハシム

明治三十三年一月十二日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第二號(官報一月二十三日)

明治三十三年一月十五日ヨリ基隆停車場ニ於テ乘客送迎者ノ爲入場切手ヲ發賣シ切手一枚ニ付料金五錢ト定ム但該切手ハ停車場ノ都合ニヨリ發賣ヲ停止シ又ハ枚數ヲ制限スルコトアルヘシ

明治三十三年一月十二日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第三號(官報一月二十三日)

臺北縣淡水港南門洲假浮標ハ明治三十三年一月九日本位置ヨリ約半涅南ノ方ハ流轉セリ但復舊工事落成ノ上ハ更ニ告示スヘシ

明治三十三年一月十二日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○宮内省告示第一號

本年一月二十七日邦憲王殿下ノ妃好子殿下分嬪王子降誕恆慮ト名ケラル

明治三十三年二月五日

宮内大臣子爵田中光顯

○宮内省告示第二號

今十一日 皇太子嘉仁親王殿下從一位勳一等公爵九條道孝第四女節子ト結婚ヲ約セララル

明治三十三年二月十一日

宮内大臣子爵田中光顯

○外務省告示第三號

隨領印度總督ニ於テハ明治三十二年十一月二十三日以降大阪ヲ、同月二十日以降長崎港ヲ以テ「ベスト」感染地ト認メ右兩地發航ノ船舶ニ對シ檢疫ヲ施行シ左記諸品ハ其輸入ヲ禁止スル旨本邦駐節和蘭國辦理公使ヨリ通牒アリ

古袋、刷毛、毛髮、蘇サ、ル皮、藏藏シ又ハ砒石ヲ施シタルモノヲ含ム

明治三十三年二月三日

外務大臣子爵青木周藏

○外務省告示第四號

明治二十九年八月四日締結ノ日佛通商航海條約第二十二條ノ規定ニ從ヒ本月七日附公文ヲ以テ本邦駐節佛國特命全權公使ヨリ佛國殖民地サンピエール及ミクロン島マルチニク島ガドルーブ島ギマンヌ及佛領印度ニ前記條約ノ條項ヲ適用スヘキ旨通知アリ

明治三十三年二月十四日

外務大臣子爵青木周藏

○外務省告示第五號

韓國釜山港ニ於テハ神戸、大阪ヨリ來ル船舶ニ對シ本月十二日限り檢疫ヲ廢止シ又同國仁川港ニ於テハ神戸ヲ發シ又ハ同地經由來航スル船舶ニ對シ同日ヨリ檢疫ヲ廢止スヘキ旨右兩地駐在帝國

明治三十三年二月 告示 外務省第六號 內務省第十一號 第十二號

領事へ其筋ヨリ通知アリタリ

明治三十三年二月十五日

○外務省告示第六號

韓國水浦港ニ於テハ神戸港ヨリ入港スル船舶ニ對シ本月十三日後檢疫ヲ廢止シ又同國群山港ニ於テハ神戸港ヲ發シ又ハ同港經由入港スル船舶ニ對シ本月十五日後檢疫ヲ廢止シタル旨右兩地駐在帝國領事へ其筋ヨリ通牒アリタリ

明治三十三年二月二十八日

外務大臣子爵青木周藏

○內務省告示第十一號

明治三十二年七月告示第七十八號同八月告示第九十號第九十四號同十一月告示第一百十四號ヲ以テ指定シタル廳府縣臨時檢疫部中左ノ廳府縣臨時檢疫部ハ本月十日限り閉鎖セシム

明治三十三年二月三日

內務大臣侯爵西鄉從道

- | | | | | | | |
|------|-----|------|-----|------|-----|-----|
| 北海道廳 | 京都府 | 埼玉縣 | 群馬縣 | 千葉縣 | 茨城縣 | 栃木縣 |
| 奈良縣 | 三重縣 | 愛知縣 | 靜岡縣 | 山梨縣 | 滋賀縣 | 岐阜縣 |
| 長野縣 | 福井縣 | 石川縣 | 富山縣 | 鳥取縣 | 島根縣 | 岡山縣 |
| 廣島縣 | 山口縣 | 和歌山縣 | 德島縣 | 香川縣 | 愛媛縣 | 高知縣 |
| 大分縣 | 佐賀縣 | 熊本縣 | 宮崎縣 | 鹿兒島縣 | 沖繩縣 | |

○內務省告示第十二號

明治三十二年法律第十九號海港檢疫法第一條並同年內務省令第三十四號海港檢疫法施行規則第一條ニ依リ明治三十三年二月十一日ヨリ左ノ諸港ニ於テ臨時海港檢疫ヲ施行ス

北海道 函館港

小樽港

室蘭港

靜岡縣

清水港

佐賀縣

唐津港

小樽港、室蘭港ニ來航スル船舶ニシテ消毒ヲ要スルモノハ函館ニ清水港ニ來航スル船舶ニシテ消毒ヲ要スルモノハ神奈川縣下、長濱ニ唐津港ニ來航スル船舶ニシテ消毒ヲ要スルモノハ長崎縣下、女神又ハ山口縣下、彦島ニ當該吏員ニ於テ回航セシムルコトアルヘシ

明治三十三年二月六日

內務大臣侯爵西鄉從道

○內務省告示第十三號

一ラツペケペンポンシ 一枚 廣島縣廣島市本塚町七十五番屋敷中村利三郎發行

明治三十三年二月十六日

內務大臣侯爵西鄉從道

○內務省告示第十四號

明治三十一年內務省告示第二十二號中吉田郡ノ下、松岡村トアルヲ下志比村ニ改ム

明治三十三年二月二十一日

內務大臣侯爵西鄉從道

〔參照〕

明治三十一年三月十日內務省告示第二十二號ハ九頭龍川筋左岸福井縣吉田郡松岡村右岸同縣坂井郡鳴鹿村以下海ニ至ル迄河川法施行ノ件ナリ

○大藏省告示第二號

第三回 一軍事公債證書額面五拾圓券 一枚 二十八年發行 波號 一六五八七番

但明治三十二年六月渡以降利札附屬 右福井縣足羽郡東郷村脇二ヶ區四十三號二十三番地松村新作所有ノ處明治三十二年四月十六日

明治三十三年二月 告示 內務省第十三號 第十四號 大藏省第二號

燒失

一同上

二十九年發行

陸號

六三九一一番

一枚

但明治二十二年六月渡以降利札附屬

右宮城縣刈田郡白石町白石百六番地柴山覺藏所有ノ處明治二十二年五月十四日燒失

右消滅ノ趣ヲ以テ代證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ代證書ヲ交付セリ但消滅シタル證書ハ無効トス

明治三十三年二月七日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第三號

本年三月一日名古屋本金庫所屬尾鷲支金庫ヲ北牟婁郡尾鷲町大字尾鷲南浦ヘ移ス

明治三十三年二月十九日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第四號

第二回發行

一記名軍事公債證書額面五拾圓券

一枚

但明治二十九年六月渡以降利札附屬

右山梨縣北巨摩郡朝神村二百九十二番戸入野健造所有ノ處明治三十年十二月三日火災ノ爲メ消滅セシ趣ヲ以テ代證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ之ヲ交付セリ但消滅シタル證書ハ無効トス

明治三十三年三月二十八日

大藏大臣伯耆松方正義

○陸軍省告示第一號

第一補充兵教育召集時期及日數ニ關スル件左ノ通定ス

明治三十三年二月九日

陸軍大臣子爵桂 太郎

一 歩兵

三月一日ヨリ九十日間

但シ警備隊ニ在テハ七月一日ヨリ九十日間

二 野戰砲兵及工兵 四月一日ヨリ九十日間

三 島嶼在籍ノ者ニシテ前二項ノ時期ニ召集シ難キ者アルトキハ師團長適宜之レヲ變更スルコトヲ得

四 歩兵野戰砲兵及工兵ノ外ハ營分ノ内教育召集ヲ施行セス

○司法省告示第八號

大分地方裁判所管内豆田區裁判所廳舎改築工事中豊後國日田郡豆田町大字南豆田字二本松ヘ假移轉ノ處工事落成ニ付本年一月八日同郡豆田町二番地新廳舎ヘ移轉セリ

明治三十三年二月六日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第九號

高知地方裁判所管内安藝區裁判所廳舎改築中ノ處工事落成ニ付本年二月六日土佐國安藝郡安藝町西濱字次良左衛門町北側ノ新廳舎ニ移轉ス

明治三十三年二月六日

司法大臣清浦奎吾

○文部省告示第十七號

山形縣中學校ヲ山形縣山形中學校ト同縣米澤中學與讓館ヲ山形縣米澤中學校ト孰レモ本年四月ヨリ改稱ノ件認可セリ

明治三十三年二月二日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第十八號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス但認定ノ效力ハ別科ニ及ハス
香川縣三豐郡立粟島航海學校
文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年二月二日

○文部省告示第十九號

東京府中學校ヲ東京府第一中學校ト東京府高等女學校ヲ東京府第一高等女學校ト孰レモ本年四月ヨリ改稱ノ件認可セリ

明治三十三年二月六日

○文部省告示第二十號

右ハ徵兵令第十三條及文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス但認定ノ效力ハ別科生及復習生ニ及ハス
京都府京都市立京都市染織學校
前項ノ認定ハ明治三十二年四月以後入學シタル生徒ニ限リ效力ヲ有スルモノトス
文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年二月六日

○文部省告示第二十一號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス但認定ノ效力ハ速成科生及撰科生ニ及ハス
香川縣立香川縣工藝學校
文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年二月六日

○文部省告示第二十二號

岐阜縣稻葉郡加納町ニ縣立農學校設置ノ件認可セリ
文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年二月六日

○文部省告示第二十三號

藝ニ認可シタル大阪府女子師範學校ハ本年四月一日ヨリ開校ス
文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年二月七日

○文部省告示第二十四號

明治三十年文部省告示第四號中本科ノ二字ヲ削除ス
文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年二月七日

〔參照〕

明治三十年四月文部省告示第四號ハ三重縣三重郡四日市町立四日市商業學校本科ヲ徵兵令ニ依リ認定ノ件ナリ

○文部省告示第二十五號

和歌山縣日高郡由良村大字里ニ設置セル縣立警報信號標ハ修繕中揚卸ヲ中止シタルカ更ニ本年一月二十日ヨリ實施ノ旨報告セリ
文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年二月十二日

○文部省告示第二十六號

岡山縣高等女學校ヲ假ニ同縣岡山市磨屋町ニ設置シ開校ノ件認可セリ
文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年二月十二日

○文部省告示第二十七號

廣島縣豐田郡忠海町ニ設置セル郡立豐田中學校ヲ縣立ニ變更シ廣島縣第四中學校ト改稱シ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
文部大臣伯爵樺山資紀

明治三十三年二月十三日

○文部省告示第二十八號

群馬縣吾妻郡立吾妻農學校
文部大臣伯爵樺山資紀

右ハ徵兵令第十三條及文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス

明治三十三年三月十四日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第二十九號

山口縣山口中學校徳山分校及同岩國分校ヲ廢止シ更ニ同縣都濃郡徳山村ニ山口縣徳山中學校及同縣玖珂郡横山村ニ山口縣岩國中學校ヲ設置シ孰レモ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年二月十四日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第二十號

巽ニ設置ヲ認可シタル新潟縣女子師範學校ハ當分ノ内同縣第一師範學校女子部ヲ假用シ本年四月ヨリ授業ヲ開始ス

明治三十三年二月十五日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十一號

舞ニ鹿兒島縣肝屬郡鹿屋村ニ設置ヲ認可セル鹿兒島縣第五中學校ヲ廢止シ同所ニ同縣農學校ヲ移轉ノ件認可セリ

明治三十三年二月十六日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十二號

山形縣北村山郡立農學校ヲ縣立ニ變更シ組織ヲ改メテ甲種農學校トシ山形縣農學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十三號

香川縣高松市ニ市立高松商業學校設置ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十四號

東京府私立順天求合社中學校ヲ本年三月ヨリ私立順天中學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十一日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十五號

東京府東京市京橋區ニ東京府第一中學校分校ヲ設置シ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十一日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十六號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス但此認定ハ明治三十三年二月以後入學シタル生徒ニ限リ效力ヲ有スルモノトス

明治三十三年二月二十三日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十七號

兵庫縣第二師範學校ヲ同縣飾磨郡城北村ノ内伊傳居村ニ設置ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十三日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十八號

新潟縣高等女學校ヲ同縣新潟市ニ設置ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十三日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十九號

熊本縣八代郡八代町ニ熊本縣第一中學校ヲ設置シ本年四月ヨリ開校ノ件竝ニ從來諸學校通則第一條ニ依リ設置セル熊本縣中學濟々費ヲ分テ二トシ其飽託郡黒髮村ニ置クモノヲ熊本縣中學第一濟費トシ之ニ同天章分費ヲ屬セシメ其熊本本市ニ在ルモノヲ同第二濟々費トシ之ニ同城北分費ヲ屬

明治三十三年二月 告示 文部省第三十四號 第三十五號 第三十六號 第三十七號 第三十八號 第三十九號

セシメ孰レモ本年四月ヨリ開校シ同城南分賢ハ本年三月限り廢止ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十三日
○文部省告示第四十號

文部大臣伯耆樺山資紀

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治三十三年二月二十四日
○文部省告示第四十一號

文部大臣伯耆樺山資紀

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治三十三年二月二十六日
○文部省告示第四十二號

東京府私立京華中學校

宮城縣仙臺市北一番町ニ私立東北中學校ヲ設置シ本年五月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十六日
○文部省告示第四十三號

文部大臣伯耆樺山資紀

京都府京都市下京區堀川通頓藥師東入ニ府立京都簡易商業學校ヲ設置シ明治三十三年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十七日
○文部省告示第四十四號

文部大臣伯耆樺山資紀

愛知縣海東郡津島町ニ愛知縣第三中學校ヲ設置シ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十七日
○文部省告示第四十五號

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第四十五號
宮崎縣豐後學校ヲ本年三月限り廢止シ明治三十三年四月ヨリ宮崎縣豐後學校ヲ宮崎郡赤江村ニ設置ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十七日
○文部省告示第四十六號

文部大臣伯耆樺山資紀

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治三十三年二月二十七日
○文部省告示第四十七號

東京府私立真宗東京中學

畿ニ認可シタル東京府東京市赤坂區青山北町ニ設置ノ師範學校ハ東京府師範學校ト稱シ同府同市小石川區竹早町ニ設置ノ師範學校ハ東京府女子師範學校ト稱ス

明治三十三年二月二十七日
○文部省告示第四十八號

文部大臣伯耆樺山資紀

東京府第二高等女學校ヲ東京府女子師範學校ニ併設ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十七日
○文部省告示第四十九號

文部大臣伯耆樺山資紀

長崎縣南高來郡島原村ニ長崎縣島原中學校ヲ設置シ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年二月二十七日
○農商務省告示第十號

農商務大臣曾禰荒助

森林法第十六條ニ依リ左記ノ通保安林ニ編入ス

明治三十三年二月二日
○農商務省告示第十號

農商務大臣曾禰荒助

明治三十三年二月 告示 農商務省第十二號

大和國奈良市大字雜司學堂山第四百八十六番ノ一山林
一面積一町四段二十九步

同國同市大字同字同第四百八十六番ノ二ノ一山林
一面積三畝十一步

同國同市大字同字同第四百九十八番山林
一面積一町四段二十三步

同國同市大字高畑字御所馬場第九十六番ノ十一ノ一山林
面積三町一段七畝十一歩ノ内
一面積一町三段三畝二十六歩

同國同市大字同字山ノ上第千四百四十三番ノ二山林
一面積五段二畝二十四歩

○農商務省告示第十一號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治三十三年二月二日

大和國宇陀郡政始村大字小和田字石ノ下第百二十五番國有保安林
一面積六段二畝歩

同國同郡伊那佐村大字山路字宿屋第四百九十一番國有保安林
一面積一段七畝十二歩

同國同郡宇太村大字泉田字中西第百六十六番國有保安林
一面積一段四畝二十歩

所有者 泉 清助
申請者 奈良 縣

所有者 芝川又右衛門
申請者 同上

所有者 同上
申請者 同上

所有者 土井 卯兵衛
申請者 奈良 縣

所有者 前田 榮次郎
申請者 奈良 縣

農商務大臣曾禰荒助

伊那佐村長代理 徳松 三郎
助役 柳澤 五郎

申請者 伊那 一造

○農商務省告示第十二號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治三十三年二月八日

近江國栗太郡栗山村大字小野字山畑二百四十六番
一面積三畝六畝二十二歩

同國甲賀郡岩根村大字正福寺字丁子四百十五番
一面積三畝七歩

同國野洲郡三上村大字北學字地京二百八十一番ノ一
一面積二十四歩

同國栗太郡栗山村大字小野字畑ヶ山二百五十六番
一面積四段三畝歩

同國同郡同村同大字字山畑二百五十五番
一面積四畝十六歩

同國愛知郡西押立村大字北菩提寺字赤羽根野國有保安林
面積三町二段六畝九歩ノ内
一面積一畝十七歩七合五分

同國甲賀郡岩根村大字岩根字跡ヶ谷三千九百六十七番
一面積十六歩

同國同郡同村大字正福寺字野神四百四十六番
一面積六畝二十七歩

同國同郡同村大字菩提寺字北山平地三百三十一番
面積三町一段一畝歩ノ内
一面積一段歩

同國同郡同村大字同字北山千四百十番ノ一
面積四町一段三畝二歩ノ内
一面積二段歩

農商務大臣曾禰荒助

所有者 奥村 寅吉

同 望月 市松

同 坂口 小四郎

同 奥村 寅吉

同 谷口 安吉

同 望月 梅吉

同 大字菩提寺

明治三十三年二月 告示 農商務省第十二號

同國同郡岩根村大字菩提寺字北山千四百九十一番ノ一
面積一町一段一畝六步ノ内
面積五段歩
同國同郡岩根村大字野路字小野山二千四十二番ノ一
面積八畝十四歩
同國同郡志津村大字葛島字小細谷八十九番
面積一段五畝二十七歩
同國同郡同村同大字同字八十八番
面積六畝歩
同國同郡同村同大字同字九十番
面積一段一畝九歩
同國同郡同村同大字大江字古地田千九百九十六番
面積一畝六歩
同國同郡同村同大字南大荒字長尾千八百三十七番
面積八畝八歩
同國同郡同村同大字月輪字小松原七百八十三番ノ一
面積六畝十五歩
同國同郡同村同大字南大荒字月ノ輪千五百十六番
面積二畝十五歩
同國同郡同村同大字月輪字中島百五十九番
面積五畝十歩
同國同郡同村同大字真町四百六十三番
面積二畝二十一步
同國同郡金勝村大字上砥山村字下代七百七十四番
面積九畝五畝七歩
同國同郡下田上村大字枝字土佐ノ谷八百三十五番
面積四畝二十歩

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 中野 佐市 山中 桑宮 山中 桑宮 山中 桑宮 中谷 松太郎 松田 權八 木村 徹右衛門 廣道 彌兵衛 水村 喜平治 仲川 伊三郎 芝原 響流 井門 太喜藏

同國同郡同村同大字赤字品山六百八十三番
面積三段一畝十八歩
同國同郡上田上村大字收村字總ノ山六百二十八番
面積二十八歩
同國同郡沼田村大字下戸山村字野神谷七百六十四番
面積三畝十歩
同國同郡長野村大字田代字流ノ尾七百七十九番
面積一段歩
同國同郡雲井村大字宮町字長谷七十七番
面積二段五畝歩
同國同郡同村同大字黃瀬村字金山三百五十四番ノ一
面積一段六畝十八歩
同國同郡生部東櫻谷村大字原字三峯山一番
面積二百二十一町二段一畝歩ノ内
面積十三町歩
同國同郡岩根村大字岩根字露谷三千九百四十七番
面積五畝十八歩
同國同郡同村同大字同字三千九百四十八番
面積二畝二歩
同國同郡同村同大字同字三千九百五十二番
面積二畝六歩
同國同郡同村同大字同字三千九百五十一番
面積二畝十四歩
同國同郡同村同大字同字三千九百五十五番
面積一畝二十一步

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

相井 喜太郎 山本 榮次郎 川崎 藤 大平 宇市 井上 嘉市 福山 寅宮 東櫻谷村大字 原、川原、杉、 柳中之郷、佐 久良 林 甚吉 林 彌市 谷口 彌八 林 猪之助 林 市與門

同上第六十一番ノ一山林邊面積二段七畝七步
 一實測面積三段一畝三歩
 同上字小戸第六十四番山林邊面積八段一畝十八歩
 一實測面積七段一畝二十六歩
 同上第六十五番山林邊面積一段一畝二十八歩
 一實測面積二段二十歩
 同上第六十六番山林邊面積二段四畝二歩
 一實測面積三段七畝二十四歩
 同上第六十六番ノ一山林邊面積二段四畝二歩
 一實測面積三段二十九歩
 同上第六十七番山林邊面積一段七畝十六歩
 一實測面積二段五畝十三歩
 同上字老第六十八番山林邊面積六段三畝二十二歩
 一實測面積六段三畝十三歩
 同上字小戸第六十九番山林邊面積三段四畝二十歩
 一實測面積三段一畝二十九歩
 同上第七十番山林邊面積四段一畝一歩
 一實測面積六段十歩
 同上第七十一番ノ一山林邊面積三畝四歩
 一實測面積一段六畝二十六歩
 同上第七十一番山林邊面積九段九歩
 一實測面積一町一段四畝二十一歩
 同上第一番山林邊面積一段七畝十九歩
 一實測面積三段四畝二十九歩
 同上第二番山林邊面積一段三畝三歩
 一實測面積二段七畝十三歩

所有者
 富田吉郎兵衛
 岡野 長太郎
 岡野長左衛門
 瀬戸 平太郎
 浦 直吉
 富田 恒祐
 和田 初太郎
 和田 徳松
 植田亦左衛門
 和田 初太郎
 同 上
 百合野 清吉
 新田 由八

同上第三番山林邊面積二段六畝十九歩
 一實測面積一段九畝二十九歩
 同上第四番山林邊面積二段四畝十歩
 一實測面積二段三畝二歩
 同上第五番山林邊面積四段六畝二十八歩
 一實測面積五段十四歩
 同上第五番ノ一山林邊面積四段六畝二十八歩
 一實測面積四段九畝七歩
 同上第六番山林邊面積五段四畝十歩
 一實測面積三段八畝二十八歩
 同上第七番山林邊面積一段二十八歩
 一實測面積一段二畝六歩
 同上第八番山林邊面積一段四畝十歩
 一實測面積九畝九歩
 同上第九番ノ一山林邊面積一段九畝二十三歩
 一實測面積一段二畝十五歩
 同上第九番山林邊面積二段四畝六歩
 一實測面積一段七畝二十一歩
 同上第十番山林邊面積五畝五歩
 一實測面積四畝四歩
 同上第十一番山林邊面積二段九畝九歩
 一實測面積五段二十八歩
 同上第十二番山林邊面積四畝一歩
 一實測面積三畝十七歩
 同上第十三番山林邊面積二段一畝九歩
 一實測面積一段三畝二十三歩

所有者
 富田 恒祐
 岡野 長太郎
 山陽鐵道株式會社
 松尾 寅三
 植田 松次郎
 藤原 幸太郎
 關谷 福太郎
 同 上
 小戸吉右衛門
 同 上
 百合野 清吉
 同 上
 河野彌一兵衛

同上第十五番山林面積二段四畝十七步
 一實測面積一段六畝十步
 長門國赤間關市大字關後地字日和山第七百三十六番山林面積二段二畝二步ノ内
 一實測面積八段一畝九步
 同上字小月山 第七百三十九番山林面積六段六畝十六步
 一實測面積八段七步
 同上第七百四十番山林面積二段四畝一步
 一實測面積二段九畝九步
 同上第七百四十一番山林面積三段二十九步
 一實測面積三段七畝二十步
 同上第七百四十二番山林面積二段三畝九步
 一實測面積三段二步
 同上字藤山第七百五十三番山林面積二段三畝十六步
 一實測面積一町七段二畝九步
 同上字福浦 第七百五十五番山林面積二段六畝十八步
 一實測面積三段四畝九步
 同上字小戸城山第七百五十九番山林面積五町步ノ内
 一實測面積二町七段五步八合
 同上字淺原第七百六十番ノ一山林面積一段四步ノ内
 一實測面積八畝二十八步一合

所有者
 同 上
 三 運 寺
 永 敏 安兵衛
 藤 田 惣兵衛
 松 崎 菊藏
 松 永 幸作
 松 永 幸作
 末 永 頼太郎
 松 永 健次郎
 同 上
 古 澤 滋

以上申請者 山口縣知事

○農商務省告示第十六號
 森林法第十六條ニ依リ左記ノ通保安林ニ編入ス
 明治三十三年二月二十一日

農商務大臣曾禰荒助

振津國有島郡三輪村ノ内香下村字岸崎千九十七番山林
 面積四段四畝四步ノ内
 一實測面積三段四步
 同國同郡同村ノ内同村字同千九十八番山林
 面積五段三畝九步ノ内
 一實測面積五畝五步
 同國同郡同村ノ内同村字同千番番山林
 面積三段四畝四步ノ内
 一實測面積七畝十三步
 同國同郡同村ノ内同村字同千番番山林
 面積三段四畝四步ノ内
 一實測面積一段四畝二步
 同國同郡同村ノ内同村字同千番番山林
 面積四段六畝十八步ノ内
 一實測面積一段一畝十五步
 同國同郡同村ノ内同村字同千番番山林
 面積八段二畝二步ノ内
 一實測面積三畝十五步
 同國同郡同村ノ内同村字同千番番山林
 面積四段四畝四步ノ内
 一實測面積一段九畝二十二步
 同國同郡同村ノ内同村字同千番番山林
 面積四段七畝十八步ノ内
 一實測面積一段五畝六步
 同國同郡同村ノ内同村字同千番番山林
 面積一段二畝二步
 一實測面積二段二十四步

所有者
 石 本 豐藏
 伴 市太郎
 田 和忠左衛門
 小 林 繁吉
 石 本 豐藏
 村 本治左衛門
 宮 口九郎兵衛
 小 西 九兵衛
 所有者
 今西治郎右衛門
 大西 善太郎
 申請者
 三輪村長

同國同郡同村ノ内同村字同千七十三番山林 一實測面積七畝十五步	同國同郡同村ノ内同村字同千七十四番山林 一實測面積七畝十八步	同國同郡同村ノ内同村字同千七十五番山林 一實測面積三畝二十七步	同國同郡同村ノ内同村字同千七十七番山林 一實測面積一畝一畝十步	同國同郡同村ノ内同村字同千七十八番山林 一實測面積七畝十八步	同國同郡同村ノ内同村字同千七十九番山林 一實測面積一畝二畝十步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十番山林 一實測面積一畝六畝十八步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十一番山林 一實測面積三畝十步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十二番山林 一實測面積三畝十八步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十三番山林 一實測面積一畝九畝十四步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十四番山林 一實測面積二畝四步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十六番山林 一實測面積一畝五畝五步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十七番山林 一實測面積一畝六畝六步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十八番山林 一實測面積一畝五畝六步
所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者
今中 作兵衛	同	小西 九兵衛	同	伴 米太郎	同	伴 米太郎	同	伴 米太郎	同	伴 米太郎	同	同	同

同國同郡同村ノ内同村字同千八十一番山林 一實測面積三畝十步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十二番山林 一實測面積三畝十八步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十三番山林 一實測面積一畝九畝十四步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十四番山林 一實測面積二畝四步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十六番山林 一實測面積一畝五畝五步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十七番山林 一實測面積一畝六畝六步	同國同郡同村ノ内同村字同千八十八番山林 一實測面積一畝五畝六步
所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者
同	同	今西治郎右衛門	同	石本 豐藏	同	同

同國同郡同村ノ内高朝田村字瀧山七百九十五番ノ十二山林 一實測面積十二町二畝二十步ノ内	所有者 申請者	寺前村ノ内高朝田村 同
同國同郡同村ノ内字同七百九十五番ノ十三山林 一實測面積四町一段二畝一步	所有者 申請者	同 同
同國同郡同村ノ内同村字同七百九十五番ノ二十山林 一實測面積九段一畝一步	所有者 申請者	同 同
同國同郡同村ノ内新野村字大谷九百七番ノ二山林 一實測面積十八町七畝二十步ノ内	所有者 申請者	寺前村ノ内新野村 同
同國同郡同村ノ内同村字新藏九百九番ノ一山林 一實測面積八町一段二畝二十四步ノ内	所有者 申請者	同 同
同國同郡同村ノ内上岩村字奥山三百四十七番ノ二山林 一實測面積五十九町六段七畝二步ノ内	所有者 申請者	寺前村ノ内上岩村 同
同國同郡同村ノ内出合村字木谷山三百四十八番山林 一實測面積五十八町四段三畝十步	所有者 申請者	多可野村ノ内合山村外六箇村 芳田村長 内橋 榮三郎

同國同郡同村ノ内同村字同番山林ノ内 一實測面積四町二段七畝二十二步	所有者 申請者	同 同
同國同郡同村ノ内同村字同八百三十四番原野 一實測面積四百二十町九段十六步ノ内	所有者 申請者	同 同
但馬國美方郡村岡町ノ内村岡町字深谷三千六百八十六番山林 一實測面積一町六段八步	所有者 申請者	小谷 滋太郎 村岡町長代理助役今井 治兵衛
同國同郡同町ノ内同町字同三千六百八十七番山林 一實測面積九段五畝一步	所有者 申請者	同 同
同國同郡同町ノ内同町字同三千六百八十九番山林 一實測面積四段五畝一步	所有者 申請者	同 同
同國同郡同町ノ内同町字同三千六百九十番ノ七山林 一實測面積三十六町二段七畝九步ノ内	所有者 申請者	同 村岡町ノ内村岡町
同國同郡同町ノ内用野村字田ノ原九百四番山林 一實測面積四段二畝二十步	所有者 申請者	同 織屋 孫七

同國足柄上郡山田村字山形二千九十七番御料林
 一面積二段五畝一步
 同所二千九十八番御料林
 一面積五段六畝十三步
 同所二千九十九番御料林
 一面積三町一段二畝二十八步
 相模國中郡吾妻村大字山西字濱邊三十五番御料林
 一面積二町四段四步
 同國同郡府村大字國府本郷字向原二百九十一番イ號御料林
 一面積二町四段一畝二步
 同所字新藤四百七十八番御料林
 一面積七段二畝二十八步
 同國同郡同村大字國府新宿字向原一番イ號御料林
 一面積一町九段一畝六步
 同所同所字御料林
 一面積一段一畝七步
 同所同所字御料林
 一面積一町五段七畝二十七步

上中村山田村組合
 申請者 村長 小島 玉三郎
 申請者 同 上
 申請者 同 上
 申請者 吾妻村長 西山 保太郎
 申請者 國府村長 山口 兵太郎
 申請者 同 上
 申請者 同 上
 申請者 同 上
 申請者 同 上

○農商務省告示第十九號
 森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
 明治三十三年二月二十八日
 安藝國賀茂郡寺西村大字西條東字諏訪山園有保安林
 一面積一町三段九畝歩

農商務大臣曾禰荒助

○逓信省告示第四十二號

萬國郵便條約施行細則第四十條第一項第十一節中芝罘ノ次ニ「カルガシ」、「クールシャ」、「ウルガ」、北

京、天津、「チニエーグーチャツク」ヲ加フ

明治三十三年二月二日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四十三號

明治三十三年二月二日 逓信省告示第九十一號別表中地地利ノ部左ノ通改定ス

明治三十三年二月二日

逓信大臣子爵芳川顯正

國名	上記諸國宛代金引換留郵 便物ニ對スル代金ノ制限額	上記ノ代金ヲ表示スヘキ貨幣
地 利	一千「シロンス」(同前)	Couronne & Denier

○逓信省告示第四十四號

明治三十一年九月逓信省告示第二百三十六號本邦ト萬國聯合郵便爲替ヲ交換スル獨逸保護國名表中
 南西亞弗利加獨逸領ノ郵便爲替取扱郵便局所在地名ニ「オカハンシア」ヲ追加ス
 右郵便局ハ來ル三月一日以降郵便爲替交換事務ヲ取扱フ

明治三十三年二月五日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四十五號

本月十一日ヨリ相模國三浦郡三崎郵便局ヲ三等郵便電信局トシ三崎郵便電信局ト改稱ス

明治三十三年二月五日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四十六號

本月十一日ヨリ攝津國大阪市網島及攝津國大阪市安治川口ノ兩鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左項
 ニ依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス
 但萬國電信條約ニ據リ取扱フヘキ電報及歐又電報ハ之ヲ取扱ハス

明治三十三年二月五日

逓信大臣子爵芳川顯正

伊 太 利 砂糖類(海産)ハ此種ノイテハ、富強及之ニ關スル印刷物
露 西 亞 單ニ露西亞諸國ヲ以テ若クハ外國語ト露西亞語トヲ以テ他國ニ於テ出版セル印刷物、富強及之ニ關スル印
新南威爾斯 阿片及煙草
香 阿片

○遞信省告示第六十五號

來三月十五日ヨリ肥後國天草郡天草下島ノ南東八幡瀬戸上馬刀島燈臺同國宇土郡戸馳島ノ南端戸馳島燈臺對馬國下縣郡ノ南端神崎燈臺及琉球國那覇港ノ南岬先原崎燈臺ハ各附近ニ於ケル暗礁ヲ示ス爲メ燈光明弧ヲ左記ノ通變更ス
但該方位ハ海上ヨリ燈臺ニ向テ測定ス

明治三十三年二月十六日

遞信大臣子爵芳川顯正

一眞方位南四十六度十七分西ヨリ南五十二度五分西マテ五度四十八分間ハ紅光ヲ以テ大曾根瀬ヲ示ス
上馬刀島燈臺

戸馳島燈臺

一眞方位南六十四度三十分東ヨリ南二十五度五十分東マテ三十八度四十分間ハ紅光ヲ以テ網取瀬ヲ示ス
神崎燈臺

先原崎燈臺

一從前ノ紅光明弧ヲ眞方位北八十五度四十分東ヨリ南六十六度五十四分東マテ二十七度二十六分間ニ改メ豆酸崎ノ暗礁及小松瀬ヲ示ス

一從前ノ綠光明弧ヲ眞方位南十二度十五分東ヨリ南二十六度四十五分西マテ二十九度間ニ改メ唐

船口ノ東北ニナル「モンナン」瀬干ノ瀬ダナカツネガ「瀬」イナンソツネガ「瀬」ヲ示ス

○遞信省告示第六十六號

本月二十一日ヨリ東海道線中關ヶ原長岡間ニ柏原驛ヲ及長岡米原間ニ醒ヶ井驛ヲ新設シ運輸營業ヲ開始ス哩程及賃金等左ノ通

明治三十三年二月十七日

遞信大臣子爵芳川顯正

柏原ヨリ關ヶ原マテ	四哩三十四釐	醒ヶ井ヨリ長岡マテ	二哩七十一釐
柏原ヨリ長岡マテ	二哩五十釐	醒ヶ井ヨリ米原マテ	二哩六十二釐

驛名	新橋品川	大森	川崎	見川	神奈川	横濱	程ヶ谷	戸塚	大船	藤澤	茅ヶ崎	平塚	大磯	國府津	松田	山北	小山	御殿	佐野		
一等	三・一六	三・三二	三・四八	三・六四	三・八〇	三・九六	四・一二	四・二八	四・四四	四・六〇	四・七六	四・九二	五・〇八	五・二四	五・四〇	五・五六	五・七二	五・八八	六・〇四		
二等	二・一六	二・三二	二・四八	二・六四	二・八〇	二・九六	三・一二	三・二八	三・四四	三・六〇	三・七六	三・九二	四・〇八	四・二四	四・四〇	四・五六	四・七二	四・八八	五・〇四		
三等	一・一六	一・三二	一・四八	一・六四	一・八〇	一・九六	二・一二	二・二八	二・四四	二・六〇	二・七六	二・九二	三・〇八	三・二四	三・四〇	三・五六	三・七二	三・八八	四・〇四		
醒ヶ井																					
柏原																					
驛名	三島	沼津	鈴川	岩淵	蒲原	興津	江尻	靜岡	焼津	藤枝	島田	金谷	堀ノ内	掛川	袋井	中泉	川天龍	濱松	舞坂	踏津	
二等	三・一六	三・三二	三・四八	三・六四	三・八〇	三・九六	四・一二	四・二八	四・四四	四・六〇	四・七六	四・九二	五・〇八	五・二四	五・四〇	五・五六	五・七二	五・八八	六・〇四	六・二〇	六・三六
三等	二・一六	二・三二	二・四八	二・六四	二・八〇	二・九六	三・一二	三・二八	三・四四	三・六〇	三・七六	三・九二	四・〇八	四・二四	四・四〇	四・五六	四・七二	四・八八	五・〇四	五・二〇	五・三六
醒ヶ井																					

○逓信省告示第七十一號

來三月一日ヨリ山城國紀伊郡稻荷、山城國相樂郡加茂、筑前國宗像郡福間ノ各鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左項ニ依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス
但萬國電信條約ニ據リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治三十三年二月二十一日

逓信大臣子爵芳川顯正

一 通信取扱時限

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

一 電報直配達區域

稻荷取扱所ハ 九町以内

加茂取扱所ハ 加茂村大字里、兎並、北ノ内字船屋、山之上ノ一圓

福間取扱所ハ 宗像郡下西郷村、上西郷村大字、上西郷神興村大字津丸、同手光宮地村大字宮司

一 電報別使配達

稻荷取扱所ニ於テハ別使配達ヲ取扱フ

福間取扱所ニ於テハ宗像郡ノ内下西郷村、上西郷村、神興村(大字村山)宮地村、津屋崎町、大字津屋崎、粕屋郡ノ内内村、青柳村、小野村、新宮村ニ限リ別使配達ヲ取扱フ

○逓信省告示第七十二號

本月二十六日ヨリ阿波國海部郡淺川郵便局ヲ三等郵便電信局トシ淺川郵便電信局ト改稱ス
明治三十三年二月二十一日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第七十三號

來三月一日ヨリ下總國海上郡飯岡郵便局ヲ三等郵便電信局トシ飯岡郵便電信局ト改稱ス

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第七十四號

來三月一日ヨリ左ノ三等郵便局ヲ設置シ小包郵便、郵便爲替及郵便貯金事務ヲ開始ス
明治三十三年二月二十一日

逓信大臣子爵芳川顯正

位 置

武藏國西多摩郡檢原村

陸前國桃生郡櫻來村大字矢本

羽後國河邊郡川添村大字椿川

檢原郵便局
矢本郵便局
川添郵便局

信濃國上伊那郡南村大字大草
肥後國天草郡登立村
駿河國富士郡櫻岡村大字入山嶽

大草郵便局
登立郵便局
入山嶽郵便局

○逓信省告示第七十五號

來三月六日ヨリ尾張國知多郡小鈴谷村大字小鈴谷ニ三等郵便局ヲ設置、小鈴谷郵便局ト稱シ小包郵便、郵便爲替及郵便貯金事務ヲ開始ス
明治三十三年二月二十一日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第七十六號

來三月十一日ヨリ左ノ三等郵便局ヲ設置シ小包郵便、郵便爲替及郵便貯金事務ヲ開始ス
明治三十三年二月二十一日

逓信大臣子爵芳川顯正

位 置

志摩國志摩郡和具村

○逓信省告示第七十七號

本月末日限リ三河國渥美郡豐橋ニ三等郵便局ヲ廢ス
明治三十三年二月二十二日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第七十八號

明治三十三年二月 告示 逓信省第七十四號 第七十五號 第七十六號 第七十七號 第七十八號

來三月一日ヨリ三河國渥美郡豐橋二等電信局ヲ二等郵便電信局ニ改定シ豐橋郵便電信局ト稱ス
明治三十三年二月二十二日
遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第七十九號
來三月一日ヨリ三河國豐橋郵便電信局ニ於テ郵便爲替郵便貯金及小包郵便事務ヲ開始シ同國渥美郡豐橋郵便局ノ郵便爲替郵便貯金及小包郵便事務ヲ繼續取扱ハシム
明治三十三年二月二十二日
遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第八十號
來三月一日ヨリ德津黒崎犬飼東有家ヲ迎ノ各郵便局ヲ二等郵便電信局トシ左ノ通改稱ス
明治三十三年二月二十二日
遞信大臣子爵芳川顯正

國郡名	舊稱	改稱
德津郡	德津郵便局	德津郵便電信局
犬飼郡	犬飼郵便局	犬飼郵便電信局
豊橋郡	豊橋郵便局	豊橋郵便電信局
大岡郡	大岡郵便局	大岡郵便電信局
肥前國南高來郡	肥前南高來郵便局	肥前南高來郵便電信局
肥前國北松浦郡	肥前北松浦郵便局	肥前北松浦郵便電信局
東有家郵便局	東有家郵便局	東有家郵便電信局
江迎郵便局	江迎郵便局	江迎郵便電信局

○遞信省告示第八十一號
本月二十八日限リ駿河國志太郡德津鐵道停車場電信取扱所ニ於ケル公衆電報ノ直配達及別使配達ノ取扱ヲ廢止ス
明治三十三年二月二十三日
遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第八十二號
明治三十三年二月二十三日
遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第八十三號
明治三十三年二月二十三日
遞信大臣子爵芳川顯正

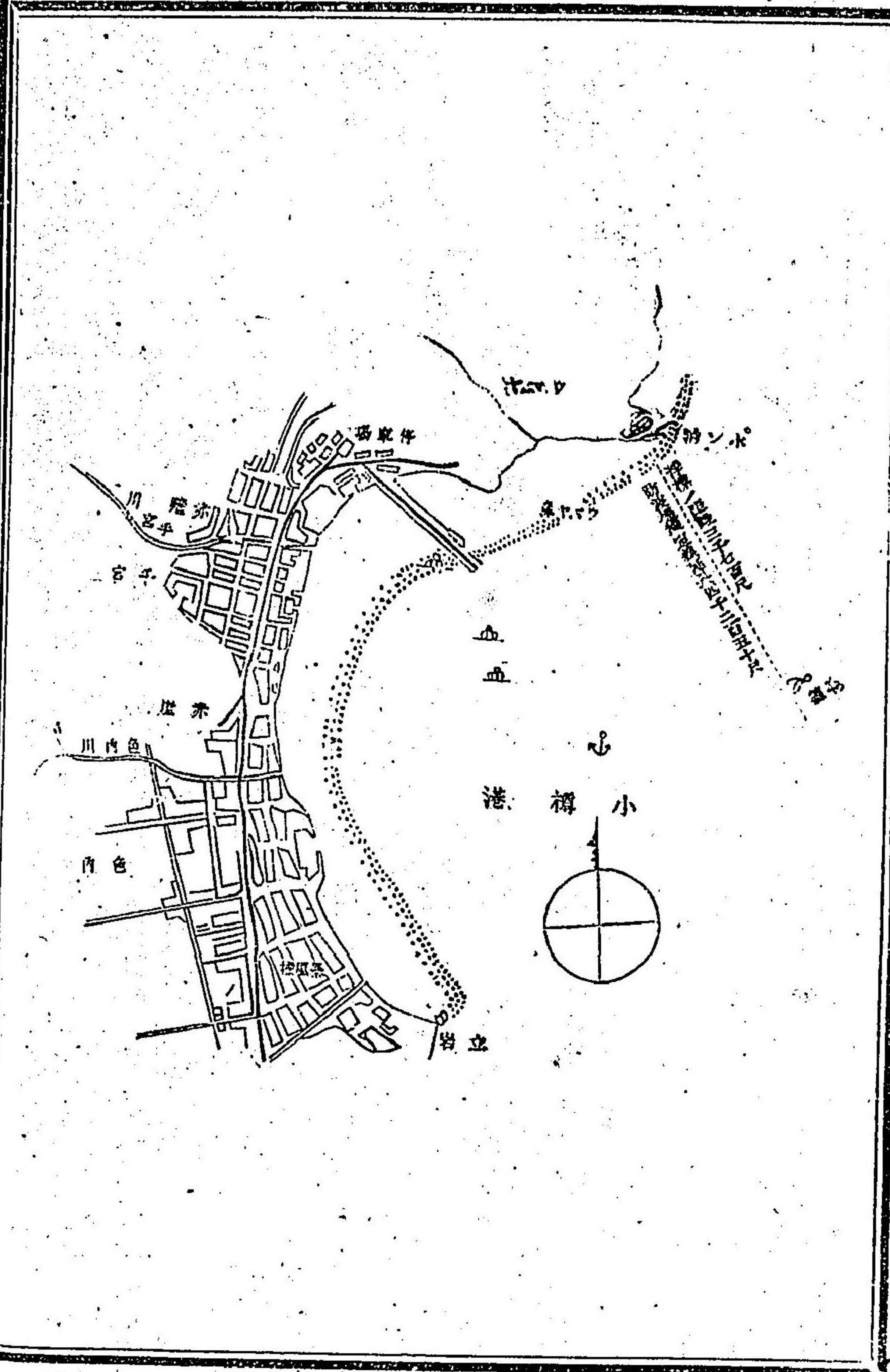
來三月一日ヨリ札幌電話交換局ニ於テ電話交換ノ業務ヲ開始ス
明治三十三年二月二十三日
遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第八十四號
札幌電話交換局内ニ電話所ヲ置キ大通電話所ト稱シ來三月一日ヨリ電話通信ヲ開始ス
明治三十三年二月二十三日
遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第八十五號
本月二十五日ヨリ東海道線沼津鈴川間ニ原驛ヲ新設シ運輸營業ヲ開始ス旅客賃金及哩程左ノ通
明治三十三年二月二十四日
遞信大臣子爵芳川顯正

原驛ヨリ沼津驛マテ	四哩七鎖
原驛ヨリ鈴川驛マテ	五哩三十四鎖

等級	路線名	距離	等級	路線名	距離
一等	新橋品川大森川崎鶴見川奈	一〇九・三	一等	横濱程ヶ戸塚大船藤澤	一〇九・三
二等	三島沼津鈴川岩淵蒲原興津江尻靜岡燒津藤枝島田金谷	一〇九・三	二等	平塚大磯國府	一〇九・三
三等	二川豐橋御油蒲郡岡崎安城刈谷大府大高熱田	一〇九・三	三等	松田山北小山	一〇九・三
四等	清水宮一ノ木曾	一〇九・三	四等	舞城	一〇九・三
五等	岐阜大垣垂井	一〇九・三	五等	舞城	一〇九・三
六等	原關ヶ	一〇九・三	六等	舞城	一〇九・三
七等	相原長岡	一〇九・三	七等	舞城	一〇九・三
八等		一〇九・三	八等	舞城	一〇九・三
九等		一〇九・三	九等	舞城	一〇九・三
十等		一〇九・三	十等	舞城	一〇九・三



○臺灣總督府告示第四號 (官報二月一日)

明治三十三年二月一日ヨリ臺中縣苗栗一堡二叉河ニ苗栗郵便電信局出張所ヲ設置シ苗栗郵便電信局三叉河出張所ト稱シ小包郵便郵便爲替及郵便貯金ノ事務ヲ併セ取扱ハシム

明治三十三年一月十八日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第五號 (官報二月一日)

明治三十三年一月十八日ヨリ臺南縣新營庄郵便電信局ニ於テ非常電信事務ヲ取扱ハシム

明治三十三年一月十八日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第六號 (官報二月八日)

明治三十三年一月二十五日限臺南縣新營庄郵便電信局ニ於ケル非常電信事務取扱ヲ廢止ス

明治三十三年一月二十五日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第七號 (官報二月八日)

臺灣獸疫豫防規則第十一條ニ依リ臺中縣管下塗葛窟ニ於テ清國ヨリ又ハ清國ヲ經テ輸入スル獸類ノ檢疫ヲ施行ス

明治三十三年一月二十八日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第八號 (官報二月八日)

明治三十三年一月二十九日中臺中縣管下梧棲ヲ削ル

明治三十三年一月二十八日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第九號 (官報二月十七日)

臺北縣淡水港口北門洲浮標正位置ヨリ西方約二鏈餘ノ所ニ流轉セリ

明治三十三年二月 告示

臺灣總督府第四號 第五號 第六號 第七號 第八號 第九號

但舊位置ニ碇置ノ上ハ更ニ告示スヘシ

明治三十三年二月二日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第十號(官報 二月十七日)

明治三十三年二月七日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

一祝祭日略義

同金十錢

〔參照〕

明治三十三年二月廿六日 臺灣總督府告示第二十一號ハ臺灣總督府民政部學務課出版圖書拂下定價ナリ

○臺灣總督府告示第十一號(官報 二月十七日)

明治三十三年二月二十一日ヨリ臺中縣塗葛堀郵便電信局ニ於テ電信事務ヲ取扱ハシム

○臺灣總督府告示第十二號(官報 二月十七日)

明治三十三年二月二十一日ヨリ臺中縣牛馬頭三等郵便局ヲ三等郵便電信局トシ牛馬頭郵便電信局

ト改稱シ其事務ヲ取扱ハシム

○臺灣總督府告示第十三號(官報 二月十七日)

明治三十三年五月告示第五十二號ハ自今廢止ス

○臺灣總督府告示第五十三號(官報 二月十七日)

明治三十三年二月十日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

〔參照〕

明治三十三年五月廿二日 臺灣總督府告示第五十二號ハ臺灣食糧專賣規則第四條ニ依ル輸入外國產食糧賠償金額ノ件ナリ

○臺灣總督府告示第十四號(官報 二月二十七日)

明治三十三年二月十三日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

臺灣總督府告示第十四號

臺北總督府各支館承辦人	大稻埕支館 王慶忠	錫口支館 郭瑞記	新庄支館 張永源	枋橋支館 林克成
大板支館 林克成	水返脚支館 李廷琛	景尾支館 劉廷藩	士林支館 施贊浩	
深坑支館 黃祖清	桃仔園支館 謝鵬輝	三角埔支館 陳國治	中壢支館 余亦泉	
大板支館 呂應揚	腰股支館 周心正			
淡水總督府各支館承辦人	八里坌支館 總辦分辦	石門支館 林 泰		
基隆總督府各支館承辦人	金包里支館 陳景南	頂雙溪支館 總辦自辦	塘仔寮支館 蔡水盛	
新竹總督府各支館承辦人	新埔支館 戴珠光	中港支館 陳汝厚	頭份支館 陳汝厚	碧港支館 戴珠光
大湖支館 鄭 輝	後龍總督府各支館承辦人	苗栗支館 陳汝厚		
苗栗支館 陳汝厚	大甲總督府各支館承辦人	苑裡支館 蔡振豐	香寮支館 總辦分辦	
苑裡支館 蔡振豐	臺中總督府各支館承辦人	葫蘆墩支館 劉汝清	南投支館 施學賢	湖日庄支館 黃朝海
葫蘆墩支館 劉汝清	鹿港總督府各支館承辦人	埤仔街支館 劉萬守		社口街支館 陳樂三
埤仔街支館 劉萬守	鹿港支館 張 成	北斗支館 林慶岐	新港支館 楊偉修	
鹿港支館 張 成	埔里社總督府各支館承辦人	龜仔頂支館 施石發	番挖支館 林伯嵩	彰化支館 楊吉臣
埔里社總督府各支館承辦人	雲林總督府各支館承辦人		二林支館 洪 翹	員林支館 李雅敬
雲林總督府各支館承辦人				

○内務省告示第十七號

一源氏節名古屋じん句 全一册 茨城縣水戸市大字上町九番地石田惣十郎發行
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十三年三月二日

内務大臣 侯爵西郷從道

○内務省告示第十八號

庄川筋左岸富山縣東礪波郡東山見村右岸同縣同郡同村以下海ニ至ル迄ヲ公共ノ利害ニ重大ノ關係
アル河川ト認定シ該川ニ就キ明治三十三年四月一日ヨリ明治二十九年法律第七十一號河川法ヲ施
行ス

明治三十三年三月三日

内務大臣 侯爵西郷從道

○内務省告示第十九號

明治三十三年法律第二十八號ヲ以テ岡山縣下ニ新置セラレタル郡ノ稱呼左ノ如シ

眞庭郡 苦田郡 勝田郡 英田郡 久米郡 御津郡 赤磐郡 都窪郡 吉備郡 阿哲郡

内務大臣 侯爵西郷從道

○内務省告示第二十號

一東北此關門 豐城國白河町字金屋町百十六番地卷亮櫻發行
右出版物ハ其ノ第十三號記載ノ事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法
ニ依リ出版スルコトヲ差止ム

明治三十三年三月八日

内務大臣 侯爵西郷從道

○内務省告示第二十一號

明治二十九年法律第七十一號河川法第八條ニ依リ明治三十三年度ヨリ本大臣ニ於テ庄川並九頭龍
川改良工事ヲ施行ス其區域左ノ如シ
庄川 左岸富山縣射水郡二塚村右岸同縣同郡大門町以下海ニ至ル

九頭龍川 左岸福井縣吉田郡松岡村右岸同縣阪井郡磯部村以下海ニ至ル

支川日野川 足羽川落合以下九頭龍川落合ニ至ル

支川足羽川 左岸福井縣足羽郡東郷村右岸同縣同郡酒生村以下日野川落合ニ至ル

明治三十三年三月十三日

内務大臣 侯爵西郷從道

○内務省告示第二十二號

明治二十九年法律第七十一號河川法第八條ニ依リ明治三十三年度ヨリ本大臣ニ於テ利根川改良工
事ヲ施行ス其區域左ノ如シ
利根川 左岸千葉縣香取郡佐原町右岸同縣同郡同町以下海ニ至ル

明治三十三年三月十六日

内務大臣 侯爵西郷從道

○内務省告示第二十三號

明治三十年法律第二十九號砂防法第二條ニ依リ砂防設備ヲ要スル土地左ノ通指定ス
明治三十三年三月十七日

内務大臣 侯爵西郷從道

滋賀縣

栗原郡 名田村

甲賀郡 上田

野洲郡 三上

栗原郡 原

野洲郡 針

栗原郡 小

野洲郡 堤

栗原郡 大

野洲郡 二

栗原郡 ヶ

野洲郡 谷

栗原郡 小

野洲郡 字

栗原郡 奥

野洲郡 山

栗原郡 南

野洲郡 谷

栗原郡 内

野洲郡 小

栗原郡 字

野洲郡 奥

栗原郡 山

野洲郡 南

栗原郡 谷

野洲郡 内

栗原郡 小

野洲郡 字

栗原郡 奥

野洲郡 山

栗原郡 南

野洲郡 谷

○内務省告示第二十四號

郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中左ノ通り改メ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス
明治三十三年三月二十三日

内務大臣 侯爵西郷從道

神奈川縣伊勢佐木町警察署ノ部左ノ通り改メ戸部警察署ノ部ヲ其ノ次ニ加フ

横濱市ノ内

伊勢佐木町警察署

海岸ヨリ港橋通港橋ニ至リ港橋ヨリ蘆葉橋ニ至リ蘆葉橋ヨリ吉田川筋ヲ堀割川ニ至ル以北久良岐郡界以東

大岡川本流以南榎木町一丁目二丁目内田町一丁目二丁目鐵道停車場構内及船渠台社構内

明治三十三年三月 告示 内務省第二十二號 第二十三號 第二十四號

○內務省告示第二十八號

本年勅令第七十五號臨時海港檢疫所官制ニ依リ來四月一日ヨリ左ノ各地ニ臨時海港檢疫所ヲ開設ス

函館臨時海港檢疫所	波島國	宇品臨時海港檢疫所	安藝國
小樽臨時海港檢疫所	後志國	唐津臨時海港檢疫所	肥前國
室蘭臨時海港檢疫所	釧路國	鹿原臨時海港檢疫所	肥後國
清水臨時海港檢疫所	駿河國	三角臨時海港檢疫所	肥前國
武豐臨時海港檢疫所	伊豆國	鹿兒島臨時海港檢疫所	唐津
四日市臨時海港檢疫所	伊勢國	那覇臨時海港檢疫所	宇津品
	四日市	那覇臨時海港檢疫所	鹿兒島
	四日市	那覇臨時海港檢疫所	那覇

○大藏省告示第五號

明治三十三年四月一日ヨリ同年六月三十日マテ稅關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表左ノ通之ヲ定ム

但本表所掲ノ外國貨幣ト日本金貨トノ比較ハ從前ノ通

明治三十三年三月一日

大藏大臣伯爵松方正義

英領印度	外國貨幣	日本金貨
一ルピー		六六一
一ルイプル		一〇五三
上海一兩		三五四〇
天津一兩		三九九〇
一ドル		九九五
馬尼刺	一ドル	九八二
英吉利	弗銀一ドル	九六八

○大藏省告示第六號

明治三十年大藏省告示第七十三號金庫位置及出納區域表中本年四月一日ヨリ左ノ通り中央金庫欄內杉戸支金庫ノ次へ追加シ及那覇本金庫欄ヲ改正ス

明治三十三年三月三日

大藏大臣伯爵松方正義

中央金庫欄內

支金庫名	位	區	支金庫名	位	區
新島		伊豆國新島村	新島		新島
八丈島		伊豆國八丈島大賀郷村	八丈島		八丈島
父島		小笠原島ノ内父島大村	父島		父島

中央金庫及本金庫名	位	區	支金庫名	位	區
那覇		那覇東村	宮古		島尻郡
		神戶	八重山		國頭郡
		繩内縣	宮古		國頭郡
			八重山		宮古郡
			八重山郡大瀨間切		八重山郡

○大藏省告示第七號

罹災救助基金法第五條一項ニ依リ該法施行ノ日ニ於ケル府縣罹災救助基金該法第三條ノ制限額ニ

明治三十三年三月 告示 大藏省第六號 第七號

達セサル府縣ニ對シ交付スヘキ補助額左ノ通り之ヲ告示ス

明治三十三年三月九日

一金拾五萬圓

大藏大臣伯爵松方正義
罹災救助基金法第五條一項交付額

金千七百五拾壹圓拾五錢四厘
 金千四百八拾八圓五拾七錢九厘
 金五千八百八拾五圓拾六錢八厘
 金千六百四拾壹圓八拾參錢八厘
 金千七百貳圓拾五錢貳厘
 金六千四百貳圓參拾壹錢參厘
 金八千貳百參拾貳圓拾六錢也
 金貳萬參百壹圓五拾六錢六厘
 金八千九百九拾五圓六厘
 金千九百九拾圓五拾五錢八厘
 金六千四百拾六圓貳拾壹錢也
 金七千八百六圓貳拾五錢貳厘
 金四千貳拾參圓八拾參錢貳厘
 金五千貳百拾九圓六拾參錢八厘

京都府
 神奈川縣
 長崎縣
 茨城縣
 栃木縣
 奈良縣
 山梨縣
 岐阜縣
 宮城縣
 福島縣
 巖手縣
 青森縣
 山形縣
 秋田縣

金五千七百八拾參圓八拾六錢參厘
 金貳千七百六拾九圓參拾八錢九厘
 金四千五百拾六圓貳拾六錢八厘
 金六千九拾壹圓拾參錢六厘
 金五百拾八圓六拾七錢八厘
 金參千百拾參圓貳拾九錢壹厘
 金壹萬千拾六圓七拾參錢八厘
 金五千五百六拾參圓參拾貳錢貳厘
 金四千七百六拾圓七拾貳錢壹厘
 金四千四百拾圓六拾參錢五厘
 金四千八百六拾貳圓七拾四錢參厘
 金六千八拾九圓五拾壹錢九厘
 金九千九百五拾七圓貳拾七錢壹厘

福井縣
 石川縣
 富山縣
 鳥取縣
 島根縣
 山口縣
 和歌山縣
 德島縣
 高知縣
 大分縣
 熊本縣
 宮崎縣
 鹿兒島縣

一軍事公債假證書額面百圓
但全額拂込濟ノ分

此證書

一枚

一號 一二一六七二番

右東京市日本橋區蠣殼町一丁目四番地今井さん所有ノ處明治二十八年六月三十日紛失セシモ既ニ全額拂込濟ナルヲ以テ本證書交付方請求ニ付之ヲ交付セリ但紛失シタル假證書ハ無効トス

明治三十三年三月十四日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第九號

本年四月一日名古屋本金庫所屬岡崎支金庫ヲ額田郡岡崎町大字籠田ニ移ス

明治三十三年三月十四日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十號

名古屋稅務管理局ヲ本月二十四日名古屋市東古渡字柳畑ニ移ス

明治三十三年三月十五日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十一號

二十三年發行

一整理公債證書百圓券附屬利札

二枚

小號 六四二五番

但明治四十五年十二月及四十九年六月渡ノ二期分

右福井縣足羽郡下文殊村字新開第二十一號第三十一番地前田鍋次所有ノ處鼠喰ノ爲メ消滅セシ趣ヲ以テ代利札請求ニ付整理公債條例第二十條ニ依リ之ヲ交付セリ但シ消滅シタル利札ハ無効トス

明治三十三年三月二十七日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十二號

一軍事公債證書額面六萬圓

但發行價格證書額面百圓ニ付金九拾貳圓八拾四錢

○大藏省告示第十四號

一大日本帝國政府五分利公債證書額面參百六拾四萬九千圓
但發行價格證書額面百圓ニ付金九拾圓

丙

北海道鐵道公債

四拾壹萬九千九百五拾圓
參百貳拾貳萬九千五拾圓

事業公債

右整理公債條例第六條第二項ノ方法ヲ以テ本月三十日之ヲ發行セリ

明治三十三年三月三十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○陸軍省告示

明治二十九年十一月二日兩省告示ノ從軍年加算ノ件ハ明治三十三年三月三十一日限り廢止ス

明治三十三年三月三十一日

陸軍大臣子爵桂 太郎
海軍大臣 山本權兵衛

〔參照〕

陸軍省告示(明治二十九年十一月二日)

明治二十八年十一月十九日以後爲分ノ内陸軍海軍及陸軍官衙ニ在リ服務セシ軍人ハ從軍年一箇年加算シ且其加算ノ方法ハ軍人恩給法第二十三條ヲ准用ス

○陸軍省告示第二號

陸軍召集規則第八十六條ノ期日ハ本年ニ限り各師團長ニ於テ適宜延期スルコトヲ得

明治二十三年三月八日

陸軍大臣子爵桂 太郎

〔參照〕

陸軍省令第三十四號陸軍召集規則(明治三十三年十一月十五日)抄録

第八十六條 陸軍部外ノ志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ二月二十日迄ニ市町村長ニ差出シ市町村長ハ之ヲ調査シ與番附印シテ三月一日迄ニ聯隊區司令官或ハ師團長ニ送付スヘシ但志願者ハ願書ニ親筆ノ兵種ヲ記載シ又同師團内他ノ聯隊區ニ寄留スル者ニシテ寄留地聯隊區ニ於テ檢査ヲ受ケントストキハ其ノ旨モ記載スヘシ

○陸軍省告示第三號

今般陸軍軍樂學校生徒二十六名ヲ召集ス志願者ハ陸軍召集規則第一章及第八章ノ規定ニ依リ願書其他ノ書類ヲ明治三十三年四月二十日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出スヘシ

但シ生徒ヲ入校セシムルハ明治三十三年十二月一日ニシテ志願シ得ヘキ者ノ出生年月ハ明治十四年一月ヨリ同十七年一月迄トス

明治三十三年三月二十四日

陸軍大臣子爵桂 太郎

○陸軍省告示第四號

明治三十二年勅令第四百二十一號陸軍砲兵工科學校條例第二條ニ依リ砲兵工長候補生在左ノ通召集ス志願者ハ明治三十二年陸軍省令第三十四號陸軍召集規則第六章第九十九條及同第百條ニ依リ志願書ヲ差出スヘシ

明治三十三年三月二十八日

陸軍大臣子爵桂 太郎

鞍工科 十名

銃工科 七十名

木工科 十名

鍛工科 十名

○海軍省告示第二號

海軍兵學校生徒二百名召集候ニ付出身志願者ハ左ノ志願者心得ニ依リ本年六月十日限り同校長ニ出願スヘシ

左記ノ場所ニ檢査所ヲ設ケ東京ニ在テハ本年七月七日ヨリ金澤、青森、山口ニ在テハ七月十三日ヨリ其ノ他ノ場所ニ在テハ七月十七日ヨリ開始ス

明治三十三年三月 告示

陸軍省第三號 第四號
海軍省第二號 海軍兵學校生徒志願者心得

東京市 長野市 金澤市 京都市 青森市
仙臺市 山口町(防) 廣島市 鶴岡町(前) 松江市
高知市 熊本市 鹿兒島市

明治三十三年三月十日

海軍大臣山本權兵衛

海軍兵學校生徒志願者心得

- 第一條 海軍兵學校生徒ヲラントシテ志願スル者ハ本年七月ニ於テ年齢滿十六年以上滿二十年以下明治三十三年八月ヨリ同ニシテ身體検査及學術試験ニ合格シタル者ヨリ其ノ成績順序ニ從ヒ所要ノ人員ヲ採用ス但シ試験成績同點數ノ者アルトキハ年少者ヲ採用シ同年齡ナルトキハ抽籤ニ依リ當籤者ヲ採用ス
- 第二條 左ノ諸項ノ一ニ該ル者ハ生徒ニ採用セス
 - 一 有妻ノ者
 - 二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者若ハ賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者
 - 三 復權ヲ得サル家資分散者破産者若ハ身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者若ハ其ノ相續人
- 第三條 生徒ハ入校ノ日ヨリ海軍兵籍ニ編入ス
- 第四條 生徒ハ入校ノ日ヨリ手當金ヲ給シ被服其ノ他修學費用ニ充テシム
- 第五條 生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ス
- 第六條 生徒ハ左ノ諸項ノ一ニ該ルトキハ退校セシム
 - 一 將校タルヘキ器量ニ乏キ者
 - 二 品行不具或ハ怠惰ニシテ訓戒ヲ加フルモ改悛セサル者
 - 三 試験ノ成績不具ニシテ卒業ノ目的ナキ者

四 傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ先途役務ニ堪ヘ難シト認ムル者

- 第七條 志願者ハ父兄親族其ノ他一家ヲ爲ス身元確實ナル者一名ヲ以テ保證人ト爲スヘシ
- 第八條 志願者ハ志願書第一號ニ誕辰證書第二號及履歷書第三號ヲ添ヘ地方長官(寄留者ハ其ノ地ノ地方長官)ノ與書證明ヲ受ケ海軍兵學校長ニ差出スヘシ
- 第九條 志願者官立道廳府縣立中學校若ハ明治三十二年海軍省告示第三號ニ依リ海軍大臣ニ於テ之ト同等以上ノ學科程度ヲ具備スルモノト認定シタル公立學校ヲ卒業シタル者及身體検査ノ際マテニ卒業スヘキ者ナルトキハ當該校長若ハ校長ハ第四號書式ニ從ヒ志願者ノ學力品行證明書ヲ密封トシ試験開始前直ニ海軍兵學校長ニ差出スヘシ
- 第十條 前條ノ志願者又除ク他ノ志願者ニ在テハ志願書ヲ差出スト同時ニ教育ヲ擔任シタル學校ノ校長若ハ校主(家庭教育ヲ受ケタ)ハ第五號書式ニ從ヒ志願者ノ學力品行證明書ヲ密封トシ直ニ海軍兵學校長ニ差出スヘシ
- 第十一條 志願者ハ前以テ地方醫師ノ身體検査ヲ受ケ置キ検査ニ出ルトキ身體検査證書第六號ヲ携帶スヘシ若シ之ヲ携帶セサルトキハ検査ヲ行ハス
- 第十二條 身體検査ニ合格セサル者ニハ學術試験ヲ行ハス
- 第十三條 疾病畸形其ノ他身長體重胸圍等ノ不足ニ依リ身體検査ニ適合セサル者ハ大略左ノ如シ
 - 一 肺癆咯血腺病癲狂梅毒癩病等ノ素質アル者
 - 二 發作性ノ疾病アル者
 - 癲癇胃脛喘息眩暈心悸亢進癱瘓質斯性疼痛偏頭痛等
 - 三 狹窄症(鼻竇食道尿道肛門等)狹小トナリタル症(アル者)

- 四 内痔症(通利ノ際肛内ヨリ出血シ或ハ痔核ノ脱出スル症)アル者
- 五 宿病舊創ニ由リ患フル所アル者
- 六 自己識得ノ疾患アル者
- 七 身長五尺一寸ニ達セサル者
- 八 體重十二貫ニ達セサル者
- 九 胸圍二尺五寸三分ニ達セサル者
- 十 胸廓擴張一寸八分ニ達セサル者
但シ十七年以下ニシテ身長、體重、胸圍等些少ノ不足アルモ無病健全ニシテ發育ノ目的アル者ハ検査ノ上採用スルコトアルヘシ胸圍ハ尺帶ヲ後ハ兩肩胛骨下角ノ下、前ハ左右乳頭ノ直下ニ於テ水平ニ圍繞シ兩上肢ヲ垂レシメ呼吸ノ中間ヲ取り測定ス
- 十一 發育 身長、體重、胸圍等ニ不足ナキモ其ノ他ノ發育不全ニシテ身體薄弱ノ者或ハ年齢不相應ニ身長ノ發育ニ比スレハ體重輕ク頸長ク胸廓扁平癆瘵質ノ徵アル者其ノ他脂肪過多、癯瘦著シキ者
- 十二 皮膚 慢性皮膚病、腋臭、知覺麻痺、知覺過敏内部ノ疾患ニ因テ施ス所ノ著シキ發泡打膿ノ痕跡、頭部面部ニ巨大ノ癩痕醜形ヲ呈スル者其ノ他各部ノ癩痕巨大ナラサルモ骨ニ密著シテ動搖セサル者、癩風、母斑面部ニアリテ著シク醜形ヲ呈スル者
- 十三 眼目 眼瞼ノ畸形、眼瞼下垂、顆粒性結膜炎、睫毛亂生症、淚管瘻、翼狀贅片、斜視、角膜及虹彩諸病視力二十尺(六米突)ノ距離ニ於テスネレン氏視力表二十號(六號)ヲ明視シ得サル者及識色ハ赤綠紫等ノ色ヲ識別スルコト能ハサル者
- 十四 耳 内外聽道ノ疾病殊ニ鼓膜穿孔、耳漏、片耳若ハ兩耳耳聾或ハ低聲ヲ聽取シ難キ者
- 十五 鼻 鼻ノ畸形、鼻骨鼻軟骨ノ疾病、鼻茸、鼻竇狹窄或ハ閉塞アル者

- 十六 口咽 舌唇齒齦、口蓋或ハ扁桃腺ノ著シキ疾病、畸形、齒牙不足若ハ不良ニシテ機能ニ障礙アル者
 - 十七 手足 四肢ノ著シキ不同、内彎、外彎、扁平足或ハ筋力ノ薄弱、指趾ノ缺損或ハ畸形、下肢靜脈ノ著シク怒張スル者
 - 十八 胸腹 胸腹ノ畸形、心悸亢進(著シキモノ)心肺ノ疾患、呼吸短促、慢性咳嗽、聲音嘶啞、肋膜炎、後ノ障害、腹部腫脹、膨滿、脫腸、腹輪ノ薄弱或ハ膨脹、内臟ノ諸疾患アル者
 - 十九 脊梁 頸背、腰椎及骨盤ノ諸疾患アル者
 - 二十 會陰 内痔、外痔、著シキモノノ痔瘻、コンヂロマタ、肛門皸裂、脫肛等アル者
 - 二十一 生殖器 辜丸諸病、著シキ精系靜脈怒張、片辜若ハ兩辜ノ下降セサル者、淋疾、尿道狹窄、下疳、包莖、小便失禁、尿道瘻等アル者
 - 二十二 精神及言語 精神異常、言語障礙或ハ啞吃等アル者
- 第十四條 學術試驗規格ハ左ノ如シ

漢學	日文訓點(史類)
作文	能事、論文、漢片假名、交り文
英學	英文和譯、和英文譯、書取會話、文法
數學	算術、代數、平面幾何、平面三角
地理	日本並外國地理及地文
歷史	日本外國
物理	物質性熱、音光、電氣、磁氣

化學	無機
圖畫	幾何圖、自在畫
備考	一 試驗程度ハ中學校全科卒業ノ學力ニ比準ス 二 英學ノ外受験者ノ望ニ依リ佛、獨、露ノ外國語學ヲ試驗ス但シ願書中本 文ノ次但書ノ前ニ何國語學受験致度旨記載ヲ要ス

官立道廳府縣立中學校ノ卒業證書及當該校長ノ學力善良品行端正ノ證明書ヲ有スル者若ハ明治三十二年海軍省告示第三號ニ依リ海軍大臣ニ於テ官立道廳府縣立中學校ト同等以上ノ學科程度ヲ具備スルモノト認定シタル公私立學校ノ卒業證書及當該校長若ハ校主ノ學力善良品行端正ノ證明書ヲ有スル者ハ第一項記載ノ學術試驗科目ヲ試驗スルコトナク特別學科試驗ノミヲ施行ス其ノ科目ハ左ノ如シ

漢學	白文訓點(史類)
作文	記事、論文、單片假名交り文
英學	英文和譯、和文英譯、書取、會話、文法
數學	算術、代數、平面幾何、平面三角
備考	英學ノ外受験者ノ望ニ依リ佛、獨、露ノ外國語學ヲ試驗ス但シ願書中本文ノ次但書ノ前ニ何國語學受験致度旨記載ヲ要ス

第十五條 學術試驗ニ於テ受験者ノ心得ヘキ箇條ハ左ノ如シ

- 一 試驗當日指定シタル時間マテニ試驗場ニ出頭セサル者ハ試驗ヲ受クルコトヲ得ス
- 二 自己ノ書類ハ一切携帶スルヲ禁ス但シ要用ノ筆、墨、硯、小刀、圖引具ハ之ヲ持參スルモノトス
- 三 問題ハ會話ヲ除ク外總テ筆答トス

四 問題ノ文意等ハ一切質問スルヲ禁ス
五 答紙ニ塗抹多ク字畫等明瞭ナラス又數學ニ於テ運算解式ナク答ノミヲ記スルモノハ總テ無効トス

六 答ハ必ス時限内ニ出スモノトス時限過クルノ後ニ出ストキハ無効トス

七 答紙ヲ出スマテ自席ヲ離ル、コトヲ許サス

八 検査場ニ於テハ一切他人ト言語ヲ交フルヲ禁ス

第十六條 志願者ハ身體検査ノ際新ニ攝影ヲ禁ス其セル紙寫具、其面ニ族籍氏名一葉ヲ携帶シ試驗委員ニ差出スヘシ

第十七條 官立道廳府縣立中學校若ハ海軍大臣ニ於テ之ト同等以上ノ學科程度ヲ具備スルモノト認定シタル公私立學校ヲ卒業シタル志願者ニ在テハ學術試驗ノ際卒業證書ヲ携帶シ試驗委員ニ差出スヘシ

第十八條 志願者ハ洋服又ハ袴ヲ着用スヘシ

第十九條 志願者何等ノ事故アリト雖之カ爲メ時日ヲ延ハシ検査ヲ行フコトナシ

第二十條 志願者検査地ヘノ往復並ニ滞在費等ハ一切自辨タルヘシ

第二十一條 生徒ヲ命スルト否トハ本人願書ニ與書シタル府縣廳ヲ經テ保證人ニ達ス

第二十二條 生徒ヲ命スヘキ者ニハ本人現住地ヨリ兵學校マテノ里程ニ應シ相當ノ旅費ヲ給ス

第一號書式 用紙美濃紙ニ折一通

海軍兵學校生徒願

海軍出身志願ニ付御検査ノ上兵學校生徒ニ御採用被下度御許可入校ノ上ハ御規則嚴重ニ相守可申ハ勿論拙者身上ノ儀ハ何事ニ限ラス身元保證人ニテ引受可申候依テ保證人連署此段奉願候也
但シ東京(長野)(金澤)(京都)(青森)(仙臺)(山口)(廣島)(福岡)(高知)(熊本)(鹿兒島)ニ於テ御検査相成度此段申請候也

「事故アリテ受檢地ノ變換ヲ望ムトキハ六月二十日マテニ其ノ旨兵學校長ニ届出ヘシ」

年月日

戸主(離子弟)

氏 名印
明治何年何月
何年何箇月

保證人

何府(縣)華(士)族平民
何國何郡市(區)何町(村)何番地

氏 名印

保證人

何府(縣)華(士)族平民
何國何郡市(區)何町(村)何番地

氏 名印

地方長官爵

氏 名印

何府(縣)華(士)族平民

氏 名

保證人

氏 名印

前書保證候也
年月日

海軍兵學校長氏名殿

前書相違無之候也
年月日

第二號書式 用紙美濃紙ニ折一通
誕辰證書

誕辰 何府(縣)何國何郡市(區)何町(村)ニ於テ何年何月何日生
右之通相違無之候也
年月日

(本籍地ノ戸
籍吏ニ限ル)

何府(縣)何國何郡市(區)何町(村)
戸籍吏 氏 名印

第二號書式 用紙美濃紙ニ折一通
履歷書

履歷書

何府(縣)華(士)族平民
戸主或ハ何某男又ハ兄弟、伯叔甥、附籍
氏 名

一住所(國郡市區町村番地ヲ詳記シ寄留ノ者ハ寄留地ノ住所ヲモ詳記スヘシ)
但シ履歷書進達ノ後現住地ヲ變更シタルトキハ新市區町村長ノ與書證印ヲ受ケ其ノ旨海軍兵學校長ニ届出ヘシ

一生長ノ地名(同上)

一兄弟姉妹名(父子ハ從實共ニ之ヲ記ス亡ナレハ亡ト記シ父兄位勳アルハ存亡共ニ之ヲ記スヘシ)

一教育ヲ受ケタル學科年月校號氏名等

一職業技藝等

一官廳會社等ノ職務ニ従事シタル事

一賞罰

右之通相違無之候也
年月日

保證人 氏 名印

保證人 氏 名印

何府(縣)華(士)族平民

氏 名

第四號書式 用紙美濃紙ニ折一通
學力品行證明書

右者何年何月入學何年何月卒業シタル者ニシテ在學中學力善其品行端正ニ付左記卒業試驗成績表相添ヘ之ヲ證明ス

卒業試験成績表 (同級生何人中ノ何番)

科目	倫 國 漢		英 語		學 文		地 理		史 學		算 術		代 數		幾 何		法 律		博 物 學		化 學		園 藝		
	得 點	全 點	得 點	全 點	得 點	全 點	得 點	全 點	得 點	全 點	得 點	全 點	得 點	全 點	得 點	全 點	得 點	全 點	得 點	全 點	得 點	全 點	得 點	全 點	
年 月 日																									

第五號書式 海軍兵學校長氏名殿 用紙美濃紙ニツ折一通 學力品行證明書

- 一 在學年月
- 一 教授科目及其ノ程度
- 一 各科試験成績
- 一 修學進歩上ノ意見
- 一 品行
- 一 右證明候也

年 月 日

海軍兵學校長氏名殿

何府(縣)何郡市(區)何町(村)何番地
何立業中學校長(何學校校長若ハ校主) 氏 名 印

何府(縣)華(士)族平民 氏 名

何府(縣)何郡市(區)何町(村)何番地
何學校校長(校主) 氏 名 印

第六號書式 用紙美濃紙ニツ折一通 身體検査証

右詳細検査候處其ノ體格海軍兵學校生徒志願者心得第十三條ニ抵觸セサル者ト思考候也

何府(縣)華(士)族平民 氏 名

何府(縣)何郡市(區)何町(村)何番地
検査醫 氏 名 印

○海軍省告示第三號

海軍機關學校生徒六十名召募候ニ付出身志願ノ者ハ左ノ志願者心得ニ依リ本年十月十日限り同校長ニ出願スヘシ

左記ノ場所ニ検査所ヲ設ケ東京ニ在テハ本年十一月七日ヨリ其ノ他ノ場所ニ在テハ十一月十日ヨリ開始ス

- 東京市 京都市 仙臺市 金澤市 松江市
- 廣島市 高知市 周防國山口町 熊本市 鹿児島市
- 海軍大臣山本權兵衛

明治三十三年三月十五日

海軍機關學校生徒志願者心得

第一條 海軍機關學校生徒タラントヲ志願スル者ハ本年十一月ニ於テ年齢滿十六年以上滿二十一年以下明治十二年十二月ヨリ同ニシテ身體検査及學術試験ニ合格シタル者ヨリ其ノ成績順序ニ從ヒ所要ノ人員ヲ採用ス但シ試験成績同點數ノ者アルトキハ年少者ヲ採用シ同年齡ナルトキハ抽籤ニ依リ當籤者ヲ採用ス

第二條 左ノ諸項ノ一ニ該ル者ハ生徒ニ採用セス

- 一 有妻ノ者
- 二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者若ハ賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者
- 三 復讐ヲ得サル家資分遣者、破産者若ハ身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者若ハ其ノ相續人

第三條 生徒ハ入校ノ日ヨリ海軍兵籍ニ編入ス

第四條 生徒ニハ入校ノ日ヨリ手當金ヲ給シ被服其ノ他修學費用ニ充テシム

第五條 生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ス

第六條 生徒ハ左ノ諸項ノ一ニ該ルトキハ退校セシム

- 一 機關官タルヘキ器量ニ乏キ者
- 二 品行不良或ハ怠惰ニシテ訓戒ヲ加フルモ改悛セサル者
- 三 試験ノ成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者
- 四 傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ前途役務ニ堪ヘ難シト認ムル者
- 第七條 志願者ハ父兄親族其ノ他一家ヲ爲ス身元確實ナル者一名ヲ以テ保證人ト爲スヘシ
- 第八條 志願者ハ志願書^{第一號}ニ^{第一號}誕辰證書^{第二號}及履歷書^{第三號}ヲ添ヘ地方長官^{寄留者ハ其ノ地ノ地方長官}ノ與書證印ヲ受ケ海軍機關學校長ニ差出スヘシ
- 第九條 志願者官立道廳府縣立中學校若ハ明治三十二年海軍省告示第三號ニ依リ海軍大臣ニ於テ之ト同等以上ノ學科程度ヲ具備スルモノト認定シタル公私立學校ヲ卒業シタル者及身體検査ノ際マテニ卒業スルキ者ナルトキハ當該校長若ハ校主ハ第四號書式ニ從ヒ志願者ノ學力品行證明

書ヲ祕封トシ試驗開始前直ニ海軍機關學校長ニ差出スヘシ

第十條 前條ノ志願者ヲ除ク他ノ志願者ニ在テハ志願書ヲ差出スト同時ニ教育ヲ擔任シタル學校ノ校長若ハ校主^{家庭教育ヲ受ケタル者ハ其ノ教師}ハ第五號書式ニ從ヒ志願者ノ學力品行證明書ヲ祕封トシ直ニ海軍機關學校長ニ差出スヘシ

第十一條 志願者ハ前以テ地方醫師ノ身體検査ヲ受ケ置キ検査ニ出ルトキ身體検査證^{第六號}ヲ携帶スヘシ若シ之ヲ携帶セザルトキハ検査ヲ行ハス

第十二條 身體検査ニ合格セサルモノニハ學術試験ヲ行ハス

第十三條 疾病畸形其ノ他身長、體重、胸圍等ノ不足ニ依リ身體検査ニ適合セサル者ハ大略左ノ如シ

- 一 肺癆、咯血、腺病、癲狂、梅毒、癩病等ノ素質アル者
- 二 發作性ノ疾病アル者
 - 發作性ノ疾病トハ總テ時々發歇スル所ノ病ニシテ其ノ類例左ノ如シ
 - 癲癇、胃瘳、喘息、眩暈、心悸、亢進、癱瘓、質斯性疼痛、偏頭痛等
- 三 狹窄病(鼻竇、食道、尿道、肛門等ノ狹小トナリタル症)アル者
- 四 內痔症(通利ノ際肛内ヨリ出血シ或ハ痔核ノ脱出スル症)アル者
- 五 宿痲醫創ニ由リ患フル所アル者
- 六 自己識得ノ疾患アル者
- 七 身長五尺一寸ニ達セサル者
- 八 體重十二貫ニ達セサル者

- 九 胸圍二尺五寸三分ニ達セサル者
胸廓擴張一寸八分ニ達セサル者
但十七年以下ニシテ身長、體重、胸圍等些少ノ不足アルモ無病健全ニシテ發育ノ見込アル者ハ検査ノ上採用スルコトアルヘシ胸圍ハ尺帶ヲ後ハ兩肩胛骨下角ノ下、前ハ左右乳頭ノ直下ニ於テ水平ニ圍繞シ兩上肢ヲ垂レシメ呼吸ノ中間ヲ取り測定ス
- 十一 發育 身長、體重、胸圍等ニ不足ナキモ其ノ他ノ發育不全ニシテ身體薄弱ノ者或ハ年齡不相應ニ身長ノミ發育シ身長ニ比スレハ體重輕ク頸長ク胸廓扁平瘠瘵質ノ徵アル者其ノ他脂肪過多羸瘦著シキ者
- 十二 皮膚 慢性皮膚病、腋臭、知覺麻痺、知覺過敏、内部ノ疾患ニ因テ施ス所ノ著シキ發泡打膿ノ痕跡、頭部面部ニ巨大ノ癬痕醜形ヲ呈スル者其ノ他各部ノ癬痕巨大ナラサルモ骨ニ密著シテ動搖セサル者、癩風、母斑面部ニアリテ著シク醜形ヲ呈スル者
- 十三 眼目 眼瞼ノ畸形、眼瞼下垂、顆粒性結膜炎、睫毛亂生症、淚管瘻、翼狀贅片、斜視、角膜及虹彩諸病、視力二十尺(六米突)ノ距離ニ於テスネレン氏視力表二十號(六號)ヲ明視シ得サル者及識色ハ赤綠紫等ノ色ヲ識別スルコト能ハサル者
- 十四 耳 内外聽道ノ疾病殊ニ鼓膜穿孔、耳漏、片耳若ハ兩耳耳聾或ハ低聲ヲ聽取シ難キ者
- 十五 鼻 鼻ノ畸形、鼻骨軟骨ノ疾病、鼻茸、鼻竇狹窄或ハ閉塞アル者
- 十六 口咽 舌、唇、齒、口蓋或ハ扁桃腺ノ著シキ疾病、畸形、齒牙不足若ハ不良ニシテ機能ニ障礙アル者
- 十七 手足 四肢ノ著シキ不同、内彎、外彎、扁平足或ハ筋力ノ薄弱、指趾ノ缺損或ハ畸形、下肢靜脈ノ著シク怒張スル者

- 十八 胸腹 胸腹ノ畸形、心悸亢進(著シキモノ)心肺ノ疾患、呼吸短促、慢性咳嗽、聲音嘶啞、肋膜炎後ノ障害、腹部腫脹、腸滿、脫腸、腹輪ノ薄弱或ハ膨脹、内臓ノ諸疾患アル者
 - 十九 脊樑 頸背、腰椎及骨盤ノ諸疾患アル者
 - 二十 會陰 内痔、外痔(著シキモノ)痔瘻、コンヂロマト、肛門皸裂、脫肛等アル者
 - 二十一 生殖器 辜丸諸病、著シキ精系靜脈怒張、片辜若ハ兩辜ノ下降セサル者、淋疾、尿道狹窄、下疳、真包莖、小便失禁、尿道瘻等アル者
 - 二十二 精神及言語 精神異常、言語障礙或ハ啞吃等アル者
- 第十四條 學術試驗規格ハ左ノ如シ

漢學	白文訓點(史類)
作文	記事、論文、漢文、英文、片假名
英學	英文和譯、和文英譯、寫取、會話、文法
數學	算術、代數、平面幾何、平面三角
地理	日本、外、國、地理及地文
歷史	日本、外、國
物理	物質性、熱、音、光、電氣、磁氣
化學	無機
圖畫	幾何圖、自在畫
備考	試驗程度ハ中學全科卒業ノ學力ニ比準ス

官立道廳府縣立中學校ノ卒業證書及當該校長ノ學力善良品行端正ノ證明書ヲ有スル者若ハ明治三十二年海軍省告示第三號ニ依リ海軍大臣ニ於テ官立道廳府縣立中學校ト同等以上ノ學科程度ヲ具備スルモノト認定シタル公私立學校ノ卒業證書及當該校長若ハ校主ノ學力善良品行端正ノ證明書ヲ有スル者ハ第一項記載ノ學術試驗科目ヲ試驗スルコトナク特別學科試驗ノミヲ施行ス其ノ科目ハ左ノ如シ

漢學	白文訓點(史類)
作文	記事論文 漢片假名
英學	英文和譯 和文英譯 書取 會話 文法
數學	算術 代數 平面幾何 平面三角

- 第十五條 學術試驗ニ於テ受験者ノ心得ヘキ箇條ハ左ノ如シ
- 一 試驗當日指定シタル時間マテニ試驗場ニ出頭セサル者ハ試驗ヲ受クルコトヲ得ス
 - 二 書類ハ一切携帯スルヲ禁ス但シ要用ノ筆墨硯小刀圖引具ハ之ヲ持參スルモノトス
 - 三 問題ハ會話ヲ除ク外總テ筆答トス
 - 四 問題ノ文意等ハ一切質問スルヲ禁ス
 - 五 答紙ニ塗抹多ク字畫等明瞭ナラス又數學ニ於テ運算解式ナク答ノミヲ記スルモノハ總テ無効トス
 - 六 答紙ハ必ス時限内ニ出スモノトス時限過クルノ後ニ出ストキハ之ヲ無効トス
 - 七 答紙ヲ出スマテ自席ヲ離ルルコトヲ許サス

- 八 検査場ニ於テハ一切他人ト言語ヲ交フルヲ禁ス
- 第十六條 志願者ハ身體検査ノ際新ニ撮影著帽ヲセル紙寫眞 返面ニ族籍 氏名 一葉ヲ携帯シ試驗委員ニ差出スヘシ
- 第十七條 官立道廳府縣立中學校若ハ海軍大臣ニ於テ之ト同等以上ノ學科程度ヲ具備スルモノト認定シタル公私立學校ヲ卒業シタル志願者ニ在テハ學術試驗ノ際卒業證書ヲ携帯シ試驗委員ニ差出スヘシ
- 第十八條 志願者ハ洋服又ハ袴ヲ着用スヘシ
- 第十九條 志願者何等ノ事故アリト雖之カ爲メ時日ヲ延ハシ検査ヲ行フコトナシ
- 第二十條 志願者検査地ヘノ往復並ニ滞在費等ハ一切自辨タルヘシ
- 第二十一條 生徒ヲ命スルト否トハ本人願書ニ與書シタル府縣廳ヲ經テ保證人ニ達ス
- 第二十二條 陸軍第一補充兵ニシテ生徒ニ採用セラルヘキ者ハ直ニ其ノ旨當該市區町村長ニ届出ツヘシ
- 第二十三條 生徒ヲ命スヘキ者ニハ本人現任地ヨリ機關學校マテノ里程ニ應シ相當ノ旅費ヲ給ス
- 第一號書式 用紙美濃紙ニツ折一通
- 海軍機關學校生徒願
- 某 儀
- 海軍出身志願ニ付御検査ノ上機關學校生徒ニ御採用被下度御許可入校ノ上ハ御規則嚴重ニ相守可申ハ勿論拙者身上ノ儀ハ何等ニ限ラス身元保證人ニテ引受可申候依テ保證人連署此段奉願候也
- 但東京(京都)(仙臺)(金澤)(松江)(廣島)(高知)(山口)(熊本)(鹿児島)ニ於テ御検査相成度此段申添候也
- 事故アリテ受檢地ノ變換ヲ望ムトキハ十月十日迄ニ其ノ旨機關學校長ニ届出ヘシ
- 年月日

海軍機關學校校長氏名殿

前番相違無之候也

年月日

第一號書式 用紙美濃紙ニツ折一通

誕生證書

誕生 何府(縣)何國何郡何市(區)何町(村)ニ於テ何年何月何日生

右之通相違無之候也

年月日

前番保證候也

年月日

月生(稚子弟)

氏

名印

明治何年何月何年何箇月

保證人

何府(縣)華(士)族平民

何國何郡何市(區)何町(村)何番地

氏

名印

保證人

何府(縣)華(士)族平民

何國何郡何市(區)何町(村)何番地

氏

名印

地方長官爵

氏

名印

何府(縣)華(士)族平民

氏

名

保證人

保證人

氏

名印

第三號書式 用紙美濃紙ニツ折一通

履歷書

本籍地ノ戸籍吏ニ限ル

何府(縣)何國何郡何市(區)何町(村)

氏

名印

何府(縣)華(士)族平民 戸主或ハ何某男又ハ兄弟伯叔甥附籍

氏

名

- 一住所(國郡市區町村番地ヲ詳記シ寄留ノ者ハ寄留地ノ住所ヲモ詳記スヘシ) 但願區書通過ノ後現在地ヲ變更シタルトキハ新市區町村長ノ與書印ヲ受ケ其ノ旨海軍機關學校長ニ届出ヘシ
- 一生長ノ地名(同上)
- 一兄弟姉妹姓名(養子ハ養實共ニ之ヲ記ス亡ナレハ亡ト記シ父兄位勳アルハ存亡共ニ之ヲ記スヘシ)
- 一教育ヲ受ケタル學科年月校役師名等
- 一職業技藝等
- 一官廳會社等ノ職務ニ従事シタル事
- 一海軍諸學校へ入校ノ有無
- 一賞罰
- 一陸軍第一補充兵役ニ關係ノ有無
- 右之通相違無之候也

年月日

保證人

保證人

氏

名印

何府(縣)華(士)族平民

氏

名

第四號書式 用紙美濃紙ニツ折一通

學力品行證明書

右者何年何月入學何年何月卒業シタル者ニシテ在學中學力善良品行端正ニ付左記卒業試験成績表相添ヘ之ヲ證明ス

卒業試験成績表 (同級生何人中ノ何番)

科目	倫 國 漢		英 語		學 文		地 理		數 學		博 物		化 學		得 點														
	理	語	文	方	解	取	會	文	法	文	理	史	算	代		數	何	幾	何	幾	法	三	物	理	學	化	學	圖	
年																													
月																													
日																													

何府(縣)何都市(區)何町(村)何番地
何立業中學校長(何學校校長若ハ校主) 氏 名印

何府(縣)華(士)族平民 氏 名

- 一 在學年月
- 一 教授科目及其ノ程度
- 一 各科試驗成績
- 一 修學進歩上ノ意見
- 一 品行
- 一 右證明候也

何府(縣)何都市(區)何町(村)何番地
海軍機關學校長氏名殿 氏 名印

第五號書式 海軍機關學校長氏名殿
用紙美濃紙ニツ折一通
學力品行證明書

第六號書式 用紙美濃紙ニツ折一通
身體検査證

右詳細検査候處其ノ體格海軍機關學校生徒志願者心得第十三條ニ抵觸セサル者ト思考候也
年 月 日

何府(縣)何都市(區)何町(村)何番地
検査醫 氏 名印

○海軍省告示第四號

海軍中主計三名少主計十二名採用ス明治三十三年六月ニ於テ年齡滿二十年以上三十二年未滿ニシテ帝國大學法科大學卒業ノ者ハ中主計ニ高等商業學校若ハ高等學校法學部卒業ノ者ハ少主計ニ出身志願ノ者ハ明治三十年九月勅令第三百十四號海軍高等武官補充條例 明治三十二年四月勅令第四百四十六ニ據リ願書ニ履歷書ヲ添ヘ來ル六月十日迄ニ海軍省經理局長ニ出願スヘシ
願書等ノ様式ハ經理局ニ承合スヘシ

海軍大臣山本權兵衛

○海軍省告示第五號

今般大演習施行ノ爲メ左記ノ各區域ニ危險物ヲ沈置スヘキニ付第一項乃至第七項ノ各區域内ニ在テハ三月二十九日ヨリ四月十五日マテ十八日間其ノ他ノ各區域内ニ在テハ三月二十九日ヨリ四月二十六日マテ二十九日間艦船艇ノ通航、碇泊及漁業ヲ爲スヘカラス但シ第七項ノ區域ハ通航ノミハ妨ケナシ

海軍大臣山本權兵衛

明治三十三年三月十九日
明治三十三年三月 告示 海軍省第四號 第五號

危險物沈置區域

第一 東京灣口

一 旗山崎ト第三海堡トヲ接シタル線上旗山崎ヨリ一千二百「ヤード」間ノ海面

第二 横須賀港口

一 夏島ノ北端ヲ北西微西二分ノ一西ニ見ル線

二 夏島ノ北端ヲ北西ニ見ル線

三 放波島ノ北西端ヲ南西ニ見ル線

右三線ニ依リテ圓マレタル海面但シ第三線ト第一及第二線トノ交叉點ニハ赤浮標各一箇ヲ置ク

第三 肥前國大村灣口

一 左記ノ浮標ヲ逐次相接シタル線

内部浮標 向後崎信標杆ヨリ東南東八分ノ三東

中央浮標 金比羅山測量標杆ヨリ北西四分ノ三西

外部浮標 金比羅山測量標杆ヨリ南東二分ノ一東

外部浮標 番所崎ヨリ北西四分ノ三西

内部浮標 番所崎ヨリ北西四分ノ一東ニ見ル

外部浮標 番所崎ヨリ東南東二分ノ一南ニ引キタル線

第四 對馬國淺海灣内單口

一 「ニウラン」鼻ト單崎トヲ接シタル線ノ中央點ヨリ南東四百米突ニ於ケル點

二 「ニウラン」鼻ト單崎トヲ接シタル線ノ中央點ヨリ北西四百米突ニ於ケル點

三 單崎ノ南東四百米突ニ於ケル點

四 單崎ノ北西四百米突ニ於ケル點
右四點ヲ逐次相接シタル線ニ依リテ圓マレタル海面

第五 對馬國淺海灣内黒瀬港口

一 明礬島ト邊田島トノ間ノ水道

第六 長崎港口香焼瀬戸

一 香焼島梅ノ水鼻ト女島トヲ接シタル線

二 女島ト「トソ」立標トヲ接シタル線

三 「トソ」立標ヨリ正北ニ引キタル線

第七 長崎港口香焼瀬戸

一 女島ト深堀村トノ間ノ水道

第八 廣島灣内那沙美瀬戸

一 小黒神島ノ西端ト大那沙美島ノ西端トヲ接シタル線

二 小黒神島ノ東端ト西能美島ノ西端トヲ接シタル線

三 大那沙美島ノ東端ヨリ正南ニ引キタル線

右三線ニ依リテ圓マレタル海面

第九 廣島灣内早瀬瀬戸

一 東能美島ノ南東端ヨリ正南ニ引キタル線

二 東能美島ノ南東端ノ正北一海里八錢ノ地ヲ貫キ東西ニ引キタル線

右二線ニ依リテ圓マレタル海面

○海軍省告示第六號
土佐國室戸崎望樓ニ於テ本月二十六日ヨリ望樓事務開始ス
明治三十三年三月二十四日

海軍大臣山本權兵衛

○司法省告示第十號

松山地方裁判所管内今治區裁判所廳舎新築中ノ處工事落成ニ付本月三十一日伊豫國越智郡日吉村大字藏敷ノ新廳舎ニ移轉ス

明治三十三年三月二十日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第十一號

茨城縣結城郡水海道町役場本年二月十八日火災ニ罹リ出入寄留簿焼失シタルニ付現ニ同町ニ寄留スル者又ハ同町ヨリ他へ出寄留中ノ者ハ本年六月二十日マテニ明治十九年内務省令第十九號中寄留者届出方ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同町長ニ届出ツヘシ

明治三十三年三月二十四日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第十二號

大阪控訴院及大阪地方裁判所廳舎改築中ノ處工事落成ニ付本月三十一日大阪市北區若松町ノ新廳舎ニ移轉ス

明治三十三年三月三十日

司法大臣清浦奎吾

○文部省告示第五十號

明治二十九年九月十日文部省告示第十八號中普通科高等科大學部ノ九字ヲ削除ス
明治三十三年三月一日

文部大臣伯耆樺山資紀

〔參照〕

明治二十九年九月十日文部省告示第十八號ハ東京府私立慶應義塾普通科高等科大學部ヲ徵兵令ニ依リ認定ノ件ナリ

○文部省告示第五十一號

山形縣最上郡新庄町ニ山形縣山形中學校新莊分校ヲ設置シ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年三月二日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第五十二號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治三十三年三月二日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第五十三號

群馬縣中學校ヲ群馬縣前橋中學校ト改稱シ同縣中學校群馬分校ヲ群馬縣高崎中學校ト同縣中學校甘樂分校ヲ群馬縣富岡中學校ト同縣中學校新田分校ヲ群馬縣太田中學校トシ孰レモ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年三月三日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第五十四號

茨城縣高等女學校ヲ同縣水戸市ニ設置シ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年三月六日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第五十五號

宮城縣中學校ヲ本年四月ヨリ宮城縣第一中學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年三月六日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第五十六號

愛知縣渥美郡豐橋町立豐橋中學時習館ヲ本年四月ヨリ縣立ニ變更シ愛知縣第四中學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年三月七日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第五十七號

靜岡縣磐田郡見付町外四十箇町村學校組合立靜岡縣中遠農學校ヲ本年四月ヨリ縣立ニ變更シ靜岡縣農學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年三月七日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第五十八號

大分縣大分中學校枿築分校ヲ大分縣枿築中學校トシ同縣大分中學校白杵分校ヲ大分縣白杵中學校トシ同縣大分中學校竹田分校ヲ大分縣竹田中學校トシ同縣中津中學校宇佐分校ヲ大分縣宇佐中學校トシ孰レモ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年三月七日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第五十九號

群馬縣山田郡桐生町立桐生織物學校、同佐波郡伊勢崎織物同業組合立伊勢崎染織學校及同吾妻郡立吾妻農學校ヲ本年四月ヨリ縣立ニ變更シ群馬縣桐生織物學校、群馬縣伊勢崎染織學校及群馬縣農學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年三月七日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第六十號

巖ニ設置ヲ認可シタル新潟縣高等女學校ハ本年四月ヨリ開校ス

明治三十三年三月八日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第六十一號

茨城縣中學校ヲ本年四月ヨリ茨城縣水戸中學校ト改稱ノ件及茨城縣中學校土浦分校ヲ茨城縣土浦中學校トシ茨城縣中學校下妻分校ヲ茨城縣下妻中學校トシ又茨城縣水戸中學校太田分校ヲ同縣久慈郡太田町ニ茨城縣土浦中學校龍ヶ崎分校ヲ同縣稻敷郡龍ヶ崎町ニ茨城縣下妻中學校水海道分校ヲ同縣結城郡水海道町ニ設置シ孰レモ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年三月八日

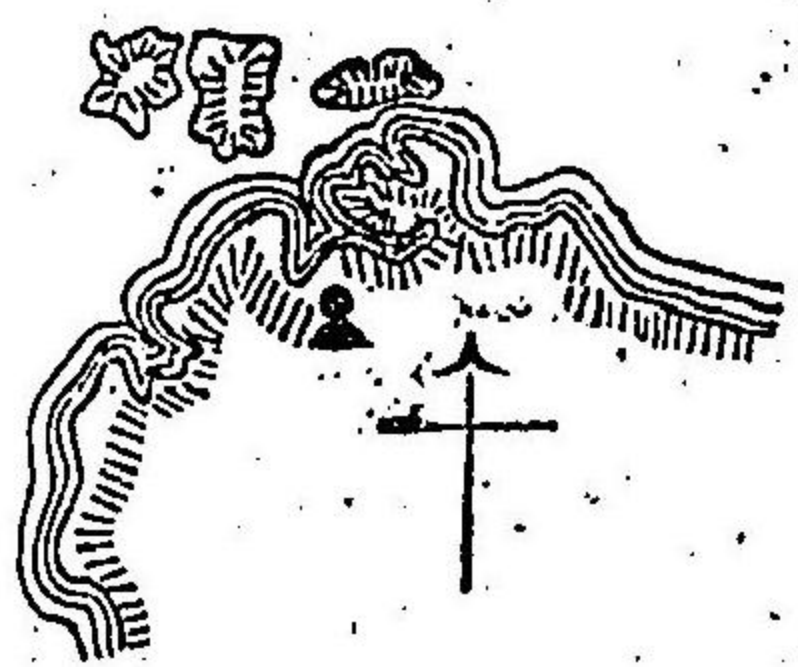
文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第六十二號

長崎縣知事ハ同縣壹岐郡香椎村大字可須西戸觸即東經百二十九度四十一分北緯三十二度警報信號標ヲ設置スルコトヲ許可シ本年一月三十一日ヨリ實施ノ旨報告セリ

明治三十三年三月十日

文部大臣伯耆樺山資紀



○文部省告示第六十三號

宮城縣仙臺市南町通ニ宮城縣第二中學校ヲ設置シ本年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年三月十日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第六十四號

宮城縣中學校志田郡立分校ヲ本年四月ヨリ縣立ニ變更シ宮城縣第三中學校ト改稱ノ件認可セリ
明治三十三年三月十日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第六十五號

大阪府堺市立塚高等女學校ヲ同府堺市ニ設置ノ件認可セリ
明治三十三年三月十日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第六十六號

熊本縣農學校ヲ熊本縣第一農業學校ト改稱ノ件認可セリ
明治三十三年三月十二日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第六十七號

本年四月ヨリ愛知縣知多郡常滑工業補習學校ノ組織ヲ變更シ徒弟學校ト爲シ常滑陶器學校ト改稱ノ件認可セリ
明治三十三年三月十二日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第六十八號

千葉縣高等女學校ヲ假ニ千葉縣千葉郡千葉町ニ設置ノ件認可セリ
明治三十三年三月十二日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第六十九號

埼玉縣高等女學校ヲ同縣北足立郡浦和町ニ設置ノ件認可セリ
明治三十三年三月十三日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十號

新潟縣中頸城郡立中頸城中學校 古志郡立長岡中學校 佐渡郡立佐渡中學校ヲ本年四月一日ヨリ縣

立ニ變更シ中頸城郡立中頸城中學校ヲ新潟縣高田中學校ト改稱ノ件及同縣北蒲原郡町村學校組合

立北蒲原中學校ヲ一旦郡立ニ變更ノ上本年四月一日ヨリ更ニ縣立ニ變更シ新潟縣新發田中學校ト改稱ノ件認可セリ
明治三十三年三月十四日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十一號

香川縣大川郡三本松町ニ香川縣高松中學校大川分校及同縣三豐郡觀音寺町ニ同縣丸龜中學校三豐分校設置ノ件認可セリ
明治三十三年三月十四日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十二號

新潟縣中學校ヲ本年四月ヨリ新潟縣新潟中學校ト改稱ノ件認可セリ
明治三十三年三月十四日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十三號

福井縣福井市江戶上町ニ福井縣樂織學校ヲ本年四月ヨリ設置ノ件認可セリ
明治三十三年三月十四日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十四號

愛媛縣溫泉郡道後村ニ愛媛縣農業學校ヲ本年四月ヨリ設置ノ件認可セリ
明治三十三年三月十四日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十五號

神奈川縣中學校ヲ本年四月ヨリ神奈川縣第一中學校ト改稱ノ件認可セリ
明治三十三年三月十五日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十六號

熊本縣阿蘇郡宮地村ニ熊本縣第二農業學校ヲ設置ノ件認可セリ
明治三十三年三月十七日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十七號

新瀨縣中學校ヲ本年四月ヨリ新瀨縣新瀨中學校ト改稱ノ件認可セリ
明治三十三年三月十七日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十八號

立ニ變更シ中頸城郡立中頸城中學校ヲ新潟縣高田中學校ト改稱ノ件及同縣北蒲原郡町村學校組合

立北蒲原中學校ヲ一旦郡立ニ變更ノ上本年四月一日ヨリ更ニ縣立ニ變更シ新潟縣新發田中學校ト改稱ノ件認可セリ
明治三十三年三月十四日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十九號

香川縣大川郡三本松町ニ香川縣高松中學校大川分校及同縣三豐郡觀音寺町ニ同縣丸龜中學校三豐分校設置ノ件認可セリ
明治三十三年三月十四日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第八十號

新潟縣中學校ヲ本年四月ヨリ新潟縣新潟中學校ト改稱ノ件認可セリ
明治三十三年三月十四日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第八十一號

福井縣福井市江戶上町ニ福井縣樂織學校ヲ本年四月ヨリ設置ノ件認可セリ
明治三十三年三月十四日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第八十二號

愛媛縣溫泉郡道後村ニ愛媛縣農業學校ヲ本年四月ヨリ設置ノ件認可セリ
明治三十三年三月十四日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第八十三號

神奈川縣中學校ヲ本年四月ヨリ神奈川縣第一中學校ト改稱ノ件認可セリ
明治三十三年三月十五日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第八十四號

熊本縣阿蘇郡宮地村ニ熊本縣第二農業學校ヲ設置ノ件認可セリ
明治三十三年三月十七日 文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十七號

宮城縣仙臺市ニ設置セル市立仙臺高等女學校ヲ縣立ニ變更シ宮城縣高等女學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年三月二十日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十八號

右ハ陸軍補充條例第七條第一項第二ニ依リ指定ス

東京府私立早稻田中學校

明治三十三年三月二十二日

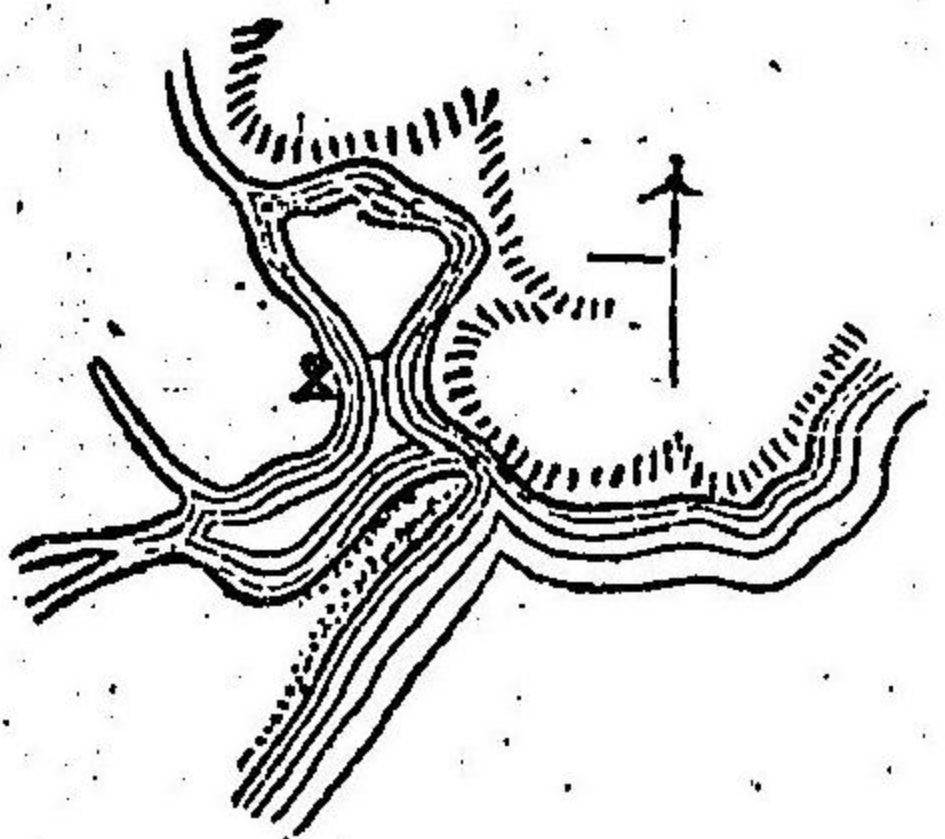
文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十九號

宮崎縣知事ハ同縣東臼杵郡東海村大字大武島即チ東經百二十八度四十二分北緯三十六分左ノ圖中ニ印ノ箇所ニ警報信號標ヲ設置シ本年四月一日ヨリ實施ノ旨報告セリ

明治三十三年三月二十六日

文部大臣伯耆樺山資紀



○文部省告示第八十號

明治三十三年文部省告示第二十一號中但認定ノ效力ハノ下ニ別科生ノ三字ヲ加フ

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十三年三月二十六日

〔参照〕

明治三十三年六月文部省告示第二十一號ハ香川縣立香川縣工業學校ヲ徵兵令ニ依リ認定但其效力速成科生及操科生ニ及ハザル件ナリ

○文部省告示第八十一號

京都府私立同志社中學校ヲ明治三十三年三月限り廢止ノ件認可セリ

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十三年三月二十六日

○文部省告示第八十二號

東京府私立明治學院中學校ヲ本年三月限り廢止ノ件認可セリ

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十三年三月二十七日

○文部省告示第八十三號

島根縣高等女學校ヲ島根縣那賀郡濱田町ニ設置ノ件認可セリ

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十三年三月二十八日

○文部省告示第八十四號

京都府第一中學校分校ヲ明治三十三年四月ヨリ京都府第二中學校ト爲スノ件認可セリ

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十三年三月二十八日

○文部省告示第八十五號

島根縣松江市ニ島根縣商業學校ヲ設置シ明治三十三年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十三年三月二十九日

○文部省告示第八十六號

新瀨縣中頸城郡立中頸城中學校
新瀨縣北浦原郡新發田町外六北浦原中學校
新瀨縣北浦原郡新發田町外六北浦原中學校
右ハ陸軍補充條例第七條第二項第二ニ依リ指定ス

明治三十三年三月二十九日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第八十七號
島根縣八束郡乃木村ニ島根縣農林學校設置ノ件認可セリ

明治三十三年三月二十九日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第八十八號
大分縣高等女學校ヲ大分縣大分郡大分町字荷揚町ニ設置ノ件認可セリ

明治三十三年三月二十九日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第八十九號
彙ニ設置ヲ認可シタル香川縣高松中學校大川分校及丸龜中學校ニ豐分校ハ孰レモ明治三十三年四月ヨリ開校ス

明治三十三年三月三十日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第九十號
新瀨縣刈羽郡柏崎町ニ新瀨縣高田中學校柏崎分校ヲ同縣岩船郡村上本町ニ同縣新發田中學校村上分校ヲ設置シ孰レモ明治三十三年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年三月三十日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第九十一號
島根縣松江郡立松江中學校ヲ明治三十三年四月ヨリ縣立ニ變更シ同郡杵築町ニ移轉ノ件並ニ明治

三十五年三月迄現在校舍ニ於テ授業ノ件認可セリ

明治三十三年三月三十日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第九十二號
京都府京都市上京區新町通ニ京都府第一中學校分校ヲ設置シ明治三十三年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年三月三十一日

文部大臣伯耆樺山資紀

○農商務省告示第二十號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治三十三年三月二日

農商務大臣曾禰荒助

攝津國川邊郡稻野村ノ内尾陽村字中ノ宮國有保安林面積五段四畝十七步一合ノ内
一 實測面積二畝二十七步

申請者 西天神社社掌 西林正晃 外三名

○農商務省告示第二十一號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ通り保安林ニ編入ス

明治三十三年三月二十三日

農商務大臣曾禰荒助

備前國津高郡建部村大字榎字勝原谷
千三百七十一番第一松木山系帳面積一段一畝十二步
一 實測面積七段六畝四步

申請者 谷 豊

同國和氣郡藤野村大字藤野字向山
千八百四十九番松木山系帳面積二段七畝二步
一 實測面積三段二十步

申請者 藤野村長 万波 俊世 万波 瀧次郎

同上千八百四十八番松木山 一實測面積二畝三畝八步	同上字北山千九番ノ第一柴草山 一實測面積十五町三段四畝五步	同上本莊村大字日室字山田奥 一實測面積一町九畝六步	同上大字大中山字足谷口千七百三十三番柴草山 一實測面積十四町五段九畝二十七步	同上字時前千五百七番第一柴草山 一實測面積五段六畝十九步	同上字北奥千九百六十四番松木山 一實測面積九畝十八步	同上千九百六十五番松木山 一實測面積六段四畝二十二步
所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者	所有者 申請者
同	藤野村大字藤野 藤野村長 万波綱次郎	本莊村 藤野村大字大田原、同大字 泉和氣村大字和氣ノ内曾根 本莊村長 大森健次郎	本莊村 藤野村大字大田原、同村大字 泉和氣村大字和氣ノ内曾根 本莊村長 大森健次郎	本莊村 藤野村大字大田原、同村大字 泉和氣村大字和氣ノ内曾根 同	本莊村大字大中山 上	武内権五郎 同 上

○農商務省告示第二十二號
森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
明治三十三年三月二十四日
農商務大臣曾禰亮助

備前岡邑久部牛窓町字龜山園有林 保安林面積七町一段二畝二十六歩ノ内 一面積三畝十二歩	同國見島郡赤崎村大字菰池字高津古五百三十五番 保安林面積三畝歩ノ内 一面積七歩	同上五百三十六番 保安林面積三畝七畝十七歩ノ内
申請者 所有者	申請者 所有者	申請者 所有者
牛窓町長 岡江 秀明	文 珠 院 岡山 縣	

備前岡邑久部牛窓町字龜山園有林
保安林面積七町一段二畝二十六歩ノ内
一面積三畝十二歩

同國見島郡赤崎村大字菰池字高津古五百三十五番
保安林面積三畝歩ノ内
一面積七歩

同上五百三十六番
保安林面積三畝七畝十七歩ノ内

一面積十三步

同上津井町大字下津井字向山千四百八十二番

保安林面積十一町二段四畝二十七步ノ内

一面積三段六畝二十六步

同上千七百十六番第二

保安林面積一町一段二畝歩ノ内

一面積七畝三步

同上宇靈王谷千四百四十九番

保安林面積一段一畝四歩ノ内

一面積二十歩

同上玉野村大字玉字休場千四百四十三番

保安林面積一段歩ノ内

一面積五畝三步

同上宇大池尻千四百四十六番

保安林面積七畝二十六歩ノ内

一面積一畝二十一歩

同上千四百四十八番

保安林面積一段三畝五歩ノ内

一面積二畝十三歩

同上千四百四十八番ノ内第一

所有者 赤崎村大字菰池

申請者 上

所有者 下津井町大字下津井

申請者 上

所有者 同

申請者 上上

所有者 牧野

申請者 上

所有者 近藤

申請者 上

所有者 立石

申請者 上

所有者 藤原

申請者 上

所有者 同

申請者 上上

所有者 同

申請者 上上

所有者 同

申請者 上

所有者 今井村大字今立

申請者 仁科 爲長

所有者 同

申請者 上上

所有者 同

申請者 上上

農商務大臣曾禰克助

所有者 北莊村大字山崎

申請者 北大海村大字北川尻

○農商務省告示第二十三號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ通保安林ニ編入ス

明治三十三年三月二十七日

能登國羽咋郡北莊村地内元上田村外十二箇村入會地一字一番ノ一山林

面積三町三畝十三歩ノ内

一實測面積一町六畝一畝一歩

同上同番ノ一山林面積五町五畝二畝二十九歩ノ内

一實測面積四町七畝一畝一歩

保安林面積一段四畝歩ノ内

一面積四畝九歩

同上千四百四十八番ノ内第二

保安林面積一段三畝十五歩ノ内

一面積五畝歩

備中國淡口郡船越村大字船越字新越園有林保安林

一面積二町九畝十五歩

同上字六十間嶺尾下園有林保安林

一面積一町七畝六畝歩

同上小田郡今井村大字今立字向山千八百八十五番

保安林面積十町二畝六歩ノ内

一面積一段九畝五歩

同上千八百八十八番

保安林面積十町七畝二畝十五歩ノ内

一面積三段八畝十八歩

同上同番ノ三山林藪帳面積七町六段六畝二歩ノ内
 一實測面積七町三段八畝十三歩
 同上同番ノ四山林藪帳面積三町一段六畝二十五歩ノ内
 一實測面積二町七段八畝十九歩
 同上同番ノ五山林藪帳面積二町七段九畝十七歩ノ内
 一實測面積二町四段七畝四歩
 同上同番ノ九山林藪帳面積五町四段一畝一歩ノ内
 一實測面積五町五段六歩
 同上同番ノ十一山林藪帳面積一町二段一畝七歩
 一實測面積一町三段六畝五歩
 同上同番ノ十二山林藪帳面積三町一畝九歩
 一實測面積三町二段五畝一歩
 同上同番ノ十三山林藪帳面積二畝十歩
 一實測面積八畝十六歩
 同上同番ノ十四山林藪帳面積一段九畝六歩
 同上同番ノ十九山林藪帳面積一段三畝二十四歩
 一實測面積二段四畝十三歩
 同上同番ノ四十二山林藪帳面積一段三畝二十四歩
 一實測面積一段一畝十四歩
 同上同番ノ四十二山林藪帳面積一段四畝八歩
 一實測面積四段四畝十八歩
 同上同番ノ四十一山林藪帳面積九畝二十二歩
 一實測面積九畝二十一歩
 同上同番ノ四十三ヨリ四十九ニ至ル山林藪帳面積八段七畝二十一歩
 一實測面積八段二十五歩
 同上同番ノ十七山林藪帳面積三町四段二十歩ノ内
 一實測面積三町二段四畝十一歩

所有者
 北莊村大字河原
 中莊村大字門前
 同 上
 中莊村大字上田
 北莊村大字山崎
 同 上
 越井 吉兵衛
 同 上
 長藤 津太郎
 高島 清松
 高崎清右衛門
 長藤 津太郎
 同 上
 北莊村大字河原

同上同番ノ十九山林藪帳面積二町八畝四歩ノ内
 一實測面積一町九段九歩
 同上同番ノ二十山林藪帳面積一段八畝十三歩
 一實測面積一段九畝十三歩
 同上同番ノ二十一山林藪帳面積二町五段二畝二十七歩
 一實測面積三町一段六畝二十歩
 同上同番ノ二十二山林藪帳面積六段十八歩ノ内
 一實測面積四段九畝十七歩
 同上同番ノ二十三山林藪帳面積二町五段二十歩ノ内
 一實測面積二町六段八畝十二歩
 同上同番ノ二十四山林藪帳面積二町六段七畝二十四歩
 一實測面積三町八段四歩
 同上同番ノ三十一山林藪帳面積二町六段一畝十七歩ノ内
 一實測面積二町二段九畝五歩
 同上同番ノ三十二山林藪帳面積二町三畝二歩ノ内
 一實測面積二町九段一畝二十六歩
 同上同番ノ三十六山林藪帳面積一町六段二歩
 一實測面積一町八段四畝二十八歩
 同上同番ノ二十八山林藪帳面積四町五段九畝二十九歩ノ内
 一實測面積四町五段六畝十八歩
 同上同番ノ三十八山林藪帳面積二町四畝二十五歩ノ内
 一實測面積一町八段二畝十五歩
 同上同番ノ三十七山林藪帳面積四段七畝二十二歩ノ内
 一實測面積四段五畝十五歩
 同上同番ノ二十六山林藪帳面積二町七段六畝七歩
 一實測面積二町五段八畝八歩
 同上同番ノ二十七山林藪帳面積九畝八歩
 一實測面積二段五畝二十五歩

所有者
 北大海村大字北川尻
 同 上
 中莊村大字門前
 中莊村大字上田出
 末森村大字米出
 末森村大字今澄
 中莊村大字上田
 北莊村大字小川
 中莊村大字上田出
 中莊村大字上田
 中莊村大字上田出
 末森村大字今澄
 末森村大字泰生
 同 上

同上同番ノ二十五山林養蠶面積三町二段七畝十五歩ノ内
 一實測面積三町二段一畝十八歩
 同上同番ノ三十五山林養蠶面積九段二畝九歩
 一實測面積一町一段四畝八歩
 同上三字一番ノ二山林養蠶面積八段歩
 一實測面積七段五畝二十二歩
 同上同番ノ一山林養蠶面積八段歩
 一實測面積八段五畝二歩
 同上二番ノ一山林養蠶面積五町七段四畝二十六歩ノ内
 一實測面積五町二段一畝二十五歩
 同上同番ノ二山林養蠶面積二町八段九畝二十八歩ノ内
 一實測面積四町二段二十歩
 同上同番ノ五山林養蠶面積四段八畝十二歩ノ内
 一實測面積二段八畝十六歩
 同上同番ノ六山林養蠶面積七段五畝二十歩ノ内
 一實測面積五段六畝二十七歩
 同上同番ノ七山林養蠶面積三段八畝二十二歩ノ内
 一實測面積三段一畝十五歩
 同上同番ノ八山林養蠶面積四段八畝十二歩ノ内
 一實測面積三段六畝九歩
 同上同番ノ九山林養蠶面積三段四畝三歩ノ内
 一實測面積三段八畝八歩
 同上同番ノ十山林養蠶面積七段五畝二十歩ノ内
 一實測面積五段二畝十五歩
 同上同番ノ十二山林養蠶面積四段二十歩ノ内
 一實測面積三段四畝二十五歩
 同上同番ノ十四山林養蠶面積五段一歩ノ内
 一實測面積三段九畝十一歩

所有者
 北莊村大字寶達
 未森村大字今濱
 同
 中莊村大字上田出
 同
 中莊村大字中野
 所有者
 近岡 九郎平
 同
 安井 安藏
 所有者
 山本 嘉太郎
 同
 同
 同
 谷光 五助
 所有者
 高崎清右衛門

同上同番ノ十一山林養蠶面積四段八畝十二歩ノ内
 一實測面積三段八畝九歩
 同上同番ノ十五山林養蠶面積三段二畝三歩ノ内
 一實測面積三段八畝十歩
 同上同番ノ三山林養蠶面積十町九畝十六歩
 一實測面積十町一畝八歩
 同上三字二番ノ二山林養蠶面積九町七段八畝二十三歩
 一實測面積七町九段二畝一歩
 同上三番山林養蠶面積十二町五段歩ノ内
 一實測面積十一町九段二十七歩
 同上四字二番ノ一山林養蠶面積八畝十五歩
 一實測面積七畝十五歩
 同上三字二番ノ一山林養蠶面積四町八段一畝十二歩
 一實測面積四町九段五畝二十七歩
 同上三字一番ノ二山林養蠶面積一町九段八畝十三歩
 一實測面積一町六段七畝二十四歩
 同上同番ノ一山林養蠶面積一畝十七歩
 一實測面積四畝三歩
 同上三字二番ノ四山林養蠶面積七町一段九畝二十八歩
 一實測面積七町六段二畝二十六歩
 同上四字三番ノ二山林養蠶面積六町八段八畝十三歩ノ内
 一實測面積五町二段十歩
 同上同番ノ五山林養蠶面積六町八段八畝十三歩ノ内
 一實測面積六町八段一畝十二歩
 同上同番ノ十七山林養蠶面積一町十四歩
 一實測面積一町六畝二十八歩
 同上同番ノ四山林養蠶面積六町八段八畝十三歩ノ内
 一實測面積五町三段七畝一歩

所有者
 近岡 九郎平
 谷光 五助
 北莊村大字寶達
 中莊村大字上田
 所有者
 同
 同
 所有者
 北莊村大字山崎
 同
 上
 所有者
 北大海村大字北川尻
 同
 上
 所有者
 北莊村大字小川
 未森村大字米出
 同
 上
 所有者
 未森村大字今濱

同上同番ノ三山林藪帳面積八町九段二畝十八歩ノ内
 一實測面積八町四畝二十五歩
 同上同番ノ八山林藪帳面積六町八段八畝十三歩ノ内
 一實測面積六町七段二十歩
 同上同番ノ十九山林藪帳面積六町八段八畝十三歩ノ内
 一實測面積四町九段四畝二十八歩
 同上同番ノ二十一山林藪帳面積八段五畝十二歩ノ内
 一實測面積九段一畝六歩
 同上同番ノ七山林藪帳面積一町一段五畝三歩ノ内
 一實測面積六段八畝十歩
 同上同番ノ八山林藪帳面積一町一段八畝十六歩ノ内
 一實測面積六段七畝四歩
 同上同番ノ九山林藪帳面積一町一段十四歩ノ内
 一實測面積六段四畝九歩
 同上同番ノ十山林藪帳面積一町一段二畝十一歩ノ内
 一實測面積六段八畝九歩
 同上同番ノ十一山林藪帳面積一町一段七畝十八歩ノ内
 一實測面積六段九畝十四歩
 同上同番ノ十二山林藪帳面積九段四畝三歩ノ内
 一實測面積六段八畝二十七歩
 同上同番ノ十三山林藪帳面積一段二十歩ノ内
 一實測面積一段四畝二十二歩
 同上同番ノ一山林藪帳面積六段八畝十七歩ノ内
 一實測面積四段八畝十九歩
 同上同番ノ二山林藪帳面積四段三畝歩ノ内
 一實測面積二段五畝十三歩
 同上同番ノ三山林藪帳面積三段三歩ノ内
 一實測面積二段四畝歩

所有者
 北莊村大字河原
 末森村大字麥生
 中莊村大字門前
 秋田 喜八
 所有者
 中莊村大字門前
 所有者
 中莊村大字上田
 北莊村大字小川
 所有者
 北莊村大字山崎
 所有者
 北莊村大字寶達
 北大海村大字北川尻
 所有者
 中莊村大字門前
 所有者
 同 上
 所有者
 中莊村大字上田
 北莊村大字小川

同上同番ノ四山林藪帳面積二段六畝二十二歩ノ内
 一實測面積一段四畝十二歩
 同上同番ノ五山林藪帳面積二段五畝二十四歩ノ内
 一實測面積八畝二十三歩
 同上同番ノ六山林藪帳面積三段四畝四歩ノ内
 一實測面積一段六畝二十二歩
 同上同番ノ七山林藪帳面積三段三歩ノ内
 一實測面積一段二畝十五歩
 同上同番ノ八山林藪帳面積二段九畝二十七歩ノ内
 一實測面積一段一畝二十七歩
 同上同番ノ九山林藪帳面積四段六畝一歩ノ内
 一實測面積三段一畝十八歩
 同上同番ノ十山林藪帳面積一町三畝二十八歩ノ内
 一實測面積九段四畝一歩
 同上同番ノ十五山林藪帳面積九段九畝十六歩ノ内
 一實測面積九段八畝五歩
 同上同番ノ十六山林藪帳面積九段一畝三歩
 一實測面積一町二段二畝二十一歩
 同上同番ノ一山林藪帳面積十二町六段一畝二歩ノ内
 一實測面積八町五段七畝二十歩
 同上四字二番ノ二十山林藪帳面積九段七畝四歩
 一實測面積九段一畝二十一歩
 同上五字一番ノ二山林藪帳面積六町六段五畝十六歩ノ内
 一實測面積四町八段三畝二十五歩
 同上同番ノ三山林藪帳面積六段六畝十七歩ノ内
 一實測面積六段六歩
 同上同番ノ四山林藪帳面積五町二段四畝十九歩ノ内
 一實測面積四町三段四畝十歩

所有者
 北莊村大字山崎
 末森村大字麥生
 中莊村大字中野
 北莊村大字河原
 末森村大字米出
 北莊村大字寶達
 所有者
 北大海村大字北川尻
 所有者
 北莊村大字河原
 宋森村大字麥生
 中莊村大字上田
 所有者
 同 上
 所有者
 北莊村大字寶達
 中莊村大字上田出
 同 上

同上同番ノ五山林蓋帳面積五町七段五畝二十九歩ノ内	所有者	末森村大字今波
一實測面積三町九段九畝七歩	所有者	北大海村大字北川尻
同上七字一番ノ一山林蓋帳面積八町四段九畝一歩ノ内	所有者	同
一實測面積六町四段一畝十八歩	所有者	同
同上六字一番ノ十四山林蓋帳面積四町五段五畝十六歩ノ内	所有者	同
一實測面積三町三段五畝十八歩	所有者	同
同上七字一番ノ三山林蓋帳面積七町四段六畝五歩	所有者	同
一實測面積六町八段三畝三歩	所有者	同
同上八字一番ノ一山林蓋帳面積八町七段六畝三歩	所有者	同
一實測面積九町一段二十五歩	所有者	同
同上七字二番ノ二山林蓋帳面積十六町九段一畝十四歩ノ内	所有者	同
一實測面積十六町七段一畝十四歩	所有者	同
同上八字一番ノ二山林蓋帳面積十九町六段三畝十一歩ノ内	所有者	同
一實測面積二十二町九段二畝二十歩	所有者	同
同上二番山林蓋帳面積八町二段二十歩ノ内	所有者	同
一實測面積六町六段五畝十三歩	所有者	同
同國郡中莊村地内元上田村外十一箇村入會地九字二番ノ四山林蓋帳面積十一町五段二畝二歩	所有者	同
一實測面積十二町八歩	所有者	同
同上二番ノ乙山林蓋帳面積三町三畝十歩	所有者	同
一實測面積二町八段九畝四歩	所有者	同
同上二番ノ三山林蓋帳面積十三町四畝十七歩ノ内	所有者	同
一實測面積十四町二段六畝二歩	所有者	同
同上同番ノ五山林蓋帳面積十二町六段八畝九歩	所有者	同
一實測面積十四町三段八畝九歩	所有者	同
同上同番ノ六山林蓋帳面積三段二畝十八歩	所有者	同
一實測面積七段一畝二十七歩	所有者	同
同上同番ノ八山林蓋帳面積二畝四歩	所有者	同
一實測面積一段七畝十四歩	所有者	同

同上同番ノ九山林蓋帳面積十三町二畝十三歩	所有者	同
一實測面積十三町七段二畝八歩	所有者	同
同上同番ノ十ヨリ五十一ニ至ル山林蓋帳面積十二町八段六畝二十八歩	所有者	同
一實測面積十二町三段二畝十二歩	所有者	同
同上十字一番ノ一ヨリ五十七ヨリ七十六ニ至ル山林蓋帳面積五町六段八畝二十六歩	所有者	同
一實測面積五町九段一畝十八歩	所有者	同
同上九字二番ノ一ニ二番ノ五十二ヨリ百十八ニ至ル山林蓋帳面積十五町二段六畝一歩ノ内	所有者	同
一實測面積十四町七段二畝二十一歩	所有者	同
同上十字一番ノ三ヨリ二十四ヨリ五十六ニ至ル山林蓋帳面積十三町五畝一歩ノ内	所有者	同
一實測面積十二町三段十二歩	所有者	同
同上二番ノ五ニ二番ノ八十ヨリ百十三ニ至ル山林蓋帳面積九町四段六畝十七歩ノ内	所有者	同
一實測面積八町二段四畝二歩	所有者	同
同上同番ノ十一山林蓋帳面積六段一畝六歩ノ内	所有者	同
一實測面積七段七畝二十一歩	所有者	同
同上同番ノ十二山林蓋帳面積三段九畝三歩ノ内	所有者	同
一實測面積二段九畝十八歩	所有者	同
同上同番ノ十三山林蓋帳面積三段二畝十七歩ノ内	所有者	同
一實測面積三段三畝二十六歩	所有者	同
同上同番ノ十四山林蓋帳面積三段二畝十六歩	所有者	同
一實測面積三段五畝四歩	所有者	同
同上同番ノ十五山林蓋帳面積三段九畝三歩	所有者	同
一實測面積三段四畝二十歩	所有者	同
同上同番ノ十六山林蓋帳面積二段七畝十五歩	所有者	同
一實測面積二段一畝二十四歩	所有者	同
同上同番ノ十七山林蓋帳面積三段十二歩	所有者	同
一實測面積三段九畝十四歩	所有者	同
同上同番ノ十八山林蓋帳面積三段十二歩	所有者	同
一實測面積三段四畝二十三歩	所有者	同

同上同番ノ十九山林養蠶面積二段六畝六步	所有者	佐藤佐次兵衛
一實測面積二段四畝五步	所有者	長藤 興三吉
同上同番ノ二十山林養蠶面積三段九畝三步	所有者	高崎清右衛門
一實測面積三段六畝二十步	所有者	近岡 九郎平
同上同番ノ二十一山林養蠶面積四段十三步	所有者	同 上
一實測面積四段九畝九步	所有者	末森村大字 齋生
同上同番ノ二十三山林養蠶面積三段一畝九步	所有者	中莊村大字 上田
一實測面積三段八畝四步	所有者	同 上
同上同番ノ九山林養蠶面積九畝四畝九畝五步ノ内	所有者	末森村大字 北川尻
一實測面積六畝九畝二畝二十八步	所有者	同 上
同上同番ノ十山林養蠶面積十一畝八畝二十八步ノ内	所有者	中莊村大字 上田
一實測面積九畝四畝八畝七步	所有者	同 上
同上同番ノ北莊村地内元上田村外十二箇村入會地十一字一番ノ四山林養蠶面積九畝九畝十八步ノ内	所有者	北莊村大字 河原
一實測面積七畝七畝七畝二十九步	所有者	
同上同番ノ五山林養蠶面積七畝一畝九畝十八步ノ内	所有者	
一實測面積五畝五畝六畝二步	所有者	
同上同番ノ十山林養蠶面積七畝五畝十四步ノ内	所有者	
一實測面積七畝七步	所有者	
同上二番ノ一山林養蠶面積七畝二十五步ノ内	所有者	
一實測面積五畝九畝二十九步	所有者	
同上同番ノ八山林養蠶面積一畝五畝三畝二十六步ノ内	所有者	
一實測面積一畝五畝二畝十步	所有者	
同上同番ノ九山林養蠶面積五畝四畝十五步ノ内	所有者	
一實測面積四畝二畝二十四步	所有者	
同上同番ノ十山林養蠶面積一畝九畝九畝十六步ノ内	所有者	
一實測面積一畝六畝二畝二十五步	所有者	

同上同番ノ六山林養蠶面積一畝五畝三畝二十六步ノ内	所有者	末森村大字 米田
一實測面積九畝九畝十九步	所有者	北莊村大字 寶通
同上同番ノ二山林養蠶面積一畝九畝一畝十二步	所有者	北莊村大字 山崎
一實測面積二畝四畝六步	所有者	中莊村大字 門前
同上同番ノ三山林養蠶面積一畝五畝三畝二十六步ノ内	所有者	長藤 津太郎
一實測面積一畝五畝七畝十九步	所有者	高崎清右衛門
同上同番ノ十二山林養蠶面積一畝五畝三畝二十六步ノ内	所有者	北村 徳藏
一實測面積二畝五畝五步	所有者	秋田 喜八
同上同番ノ五山林養蠶面積三段八畝二十七步ノ内	所有者	松本 十五郎
一實測面積三段二畝十四步	所有者	安井 安藏
同上同番ノ十三山林養蠶面積一段七畝三步ノ内	所有者	高島 清松
一實測面積一段二畝二十七步	所有者	高島 宗藏
同上同番ノ十四山林養蠶面積二段二步ノ内	所有者	安井 安藏
一實測面積一段四畝十九步	所有者	高島 宗藏
同上同番ノ十五ヨリ十七ニ至ル山林養蠶面積二段六畝二十步ノ内	所有者	高島 宗藏
一實測面積一段六畝六步	所有者	高島 宗藏
同上同番ノ十八山林養蠶面積一段二畝二十五步ノ内	所有者	高島 宗藏
一實測面積九畝二十六步	所有者	高島 宗藏
同上同番ノ十九山林養蠶面積六畝十二步ノ内	所有者	高島 宗藏
一實測面積五畝十步	所有者	高島 宗藏
同上同番ノ二十山林養蠶面積一段三畝二十五步ノ内	所有者	高島 宗藏
一實測面積一段二步	所有者	高島 宗藏
同上同番ノ二十一山林養蠶面積九畝二步ノ内	所有者	高島 宗藏
一實測面積一段一畝二十二步	所有者	高島 宗藏
同上同番ノ二十三山林養蠶面積一段二畝二十五步	所有者	高島 宗藏
一實測面積一段二畝二十二步	所有者	高島 宗藏
同上同番ノ四山林養蠶面積一畝七畝四畝九步ノ内	所有者	高島 宗藏
一實測面積二畝五畝八畝二十七步	所有者	高島 宗藏

同上ノ部五十七原野蓋帳面積七畝十四歩	一貫測面積二畝六歩	所有者	申請者	同	同上
同上ノ部五十八原野蓋帳面積三畝六歩	一貫測面積一畝五歩	所有者	申請者	同	同上
同上ノ部五十九原野蓋帳面積一段二畝二十歩	一貫測面積二畝一畝二十七歩	所有者	申請者	同	同上
同上ノ部六十原野蓋帳面積三町三段三畝十歩	一貫測面積七町六畝八畝十八歩	所有者	申請者	同	同上
同上イノ部一原野蓋帳面積三町八畝歩	一貫測面積五町二畝三畝二十一歩	所有者	申請者	同	同上
同上大宇中段ノ部一ノ甲原野蓋帳面積九町三段一畝二十歩	一貫測面積九町五段五畝二十八歩	所有者	申請者	同	同上
同國同郡宮來村大字領家町ノ部二ノ土原野蓋帳面積三町一畝十四歩ノ内	一貫測面積四町七段九畝二十九歩	所有者	申請者	同	同上
同上レノ部一ノ一甲原野蓋帳面積三町五段四畝十五歩	一貫測面積七町六畝六畝十八歩	所有者	申請者	同	同上

○逓信省告示第九十二號
 本月十一日ヨリ土佐國長岡郡東豐永村大字大平ニ三等郵便局ヲ設置シ東豐永郵便局ト稱シ小包

郵便郵便爲替及郵便貯金事務ヲ開始ス
 明治三十三年三月一日

○逓信省告示第九十三號
 本月十一日ヨリ越後國中蒲原郡沼垂^{ヌツクリ}鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左項ニ依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス
 但萬國電信條約ニ據リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治三十三年三月一日
 逓信大臣子爵芳川顯正
 一通信取扱時限 四月一日ヨリ九月三十日マテ午前六時ヨリ午後八時マテ十月一日ヨリ翌年三月三十一日マテ午前七時ヨリ午後八時マテ
 一電報直配達區域 取扱所ヨリ十八町以内及沼垂町一圓
 一本取扱所ニ於テハ別使配達電報ノ取扱ヲ爲ス
 ○逓信省告示第九十四號
 本月六日ヨリ別府、多久、久禮ノ各郵便局ヲ三等郵便電信局トシ左ノ通改稱ス

國郡名	舊稱	改稱	國郡名	舊稱	改稱
肥前國小城郡	別府郵便局	別府郵便電信局	土佐國高岡郡	久禮郵便局	久禮郵便電信局
肥前國小城郡	多久郵便局	多久郵便電信局			

○逓信省告示第九十五號
 下ノ關海峽門司洲ノ南北方兩端ノ内側ニアル二箇ノ沈船位置ヲ示ス爲メ今般該所ヘ各一箇ノ浮標ヲ設置ス
 明治三十三年三月二日
 逓信大臣子爵芳川顯正

一該浮標ハ軌ヲ鐵道鐵道圓錐形綠色ニシテ水面上高サ五尺ナリ
一該浮標ヨリ測定セル真方位ハ左ノ如シ

南端内側浮標	北二十八度五十五分西	北端内側浮標	北六十九度五十七分西
赤間關山宮ハ	北六十二度三十五分東	赤間關山宮ハ	北十度四十三分東
門司北東ノ四百十尺山ハ	南三十二度三十五分東	門司崎明神島ハ	北七十八度五十三分東
門司南西ノ著シキ宮ハ		門司北東ノ四百十尺山ハ	

○遞信省告示第九十六號
本月十一日ヨリ河内國北河内郡津田鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左項ニ依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス
但萬國電信條約ニ據リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハズ

明治三十三年三月五日

遞信大臣子爵芳川顯正

一通信取扱時限 三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月一日ヨリ翌年
二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ
一電報直配達區域 津田村ノ内大字津田交野村ノ内大字倉治

○遞信省告示第九十七號

紅參ハ帝國及韓國間ノ條約ニ據リ韓國ヨリ輸出スルニハ韓國政府ノ特許ヲ得ルヲ要スルヲ以テ韓國ニ於テ韓國臣民ニアラサルモノヨリ之ヲ小包郵便物トシテ韓國外ニ差出ストキハ其ノ特許證ノ證書ヲ添付スヘシ若シ其ノ證書ノ添付ナキモノヲ郵便局ニ於テ發見スルトキハ之ヲ其ノ差出人ニ還付スヘシ

明治三十三年三月六日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第九十八號

本月十六日ヨリ明治三十三年三月三十一日迄遞信省告示第七十一號中「在清國本邦郵便局ト内地各局間通常爲替料」トアルヲ「在清國本邦郵便局相互間又ハ在清國本邦郵便局ト其他ノ局所トノ間通常爲替料」ト改正ス

明治三十三年三月六日

遞信大臣子爵芳川顯正

〔參照〕

明治三十三年三月三十一日遞信省告示第七十一號ハ郵便爲替料ヲ定メタル件ナリ

○遞信省告示第九十九號

本月十六日ヨリ左ノ帝國郵便局ニ於テ郵便爲替及郵便貯金事務ヲ開始ス
但外國郵便爲替事務ハ當分ニ之ヲ取扱ハズ

明治三十三年三月六日

遞信大臣子爵芳川顯正

在清國天津郵便局	在清國沙市郵便局	在清國蘇州郵便局	在清國廈門郵便局
在清國芝罘郵便局	在清國杭州郵便局	在清國漢口郵便局	

○遞信省告示第一百號

本日ヨリ東京海軍局ヲ京橋區築地二丁目ニ移轉ス

明治三十三年三月六日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第一百一號

本月十六日ヨリ片貝柿崎岩般高松大門中田後藤寺加久藤風高野馬頭黒羽ノ各郵便局ヲ三等郵便電信局トシ左ノ通改稱ス

明治三十三年三月九日

遞信大臣子爵芳川顯正

國名	舊稱	改稱	國名	舊稱	改稱
後援國三島郡	片貝郵便局	片貝郵便電信局	豐前國田川郡	後藤寺郵便局	後藤寺郵便電信局
後援國中頭城郡	柿崎郵便局	柿崎郵便電信局	日向國西諸縣郡	加久藤郵便局	加久藤郵便電信局
薩摩國若松郡	若松郵便局	若松郵便電信局	和泉國泉北郡	鳳郵便局	鳳郵便電信局
加賀國河北郡	高松郵便局	高松郵便電信局	紀伊國伊都郡	高野郵便局	高野郵便電信局
能登國府水郡	大門郵便局	大門郵便電信局	下野國那須郡	馬頭郵便局	馬頭郵便電信局
能登國東嶺波郡	中田郵便局	中田郵便電信局	下野國那須郡	黒羽郵便局	黒羽郵便電信局

○逓信省告示第百三號
 本月十五日限リ豐前國田川郡後藤寺鐵道停車場電信取扱所ニ於ケル公衆電報ノ直配達及別使配達ノ取扱ヲ廢止ス

明治三十三年三月九日
 ○逓信省告示第百三號
 明治三十三年五月一日ヨリ在外郵便電信局郵便局ニ於テ收入印紙ノ賣下ヲ爲サシム

明治三十三年三月十日
 ○逓信省告示第百四號
 汽船平野丸外九十九艘ハ左ノ信號符字ヲ點附ス

逓信大臣子爵芳川顯正

信號符字	船名	種類	名	船籍港	所有者
J B M H	丸	汽船	Isutan Maru. No. 8.	東京市	内國通運株式會社
J B M X	丸	汽船	Daisha Maru.	大島郡	藤野 牛之助
J B M L	丸	汽船	Kashima Gō.	川崎	川崎第一國土木監
J B M N	丸	汽船	Asago Gō.	川崎	川崎第一國土木監
J B M P	丸	汽船	Yugoo Gō.	下川	川崎第一國土木監
J B R A	丸	汽船	Hozon Maru. No. 2.	新川	高瀬 三郎
J B T G	丸	汽船	Fudo Maru.	小豆	長瀬 龍吉
J B T H	丸	汽船	Hōtoku Maru. No. 2.	伊豆	山本 京助
J B T K	丸	汽船	Kakichi Maru.	伊豆	長瀬 龍吉
J B T L	丸	汽船	Saikai Maru.	伊豆	平瀬 源兵衛
J B T M	丸	汽船	Sansha Maru. No. 1.	伊豆	網葉 密五郎
J B W O	丸	汽船	Miye Maru.	伊豆	網葉 密五郎
J B W R	丸	汽船	Miojin Maru.	伊豆	網葉 密五郎
J C H W	丸	汽船	Kwasō Maru.	伊豆	網葉 密五郎
J C K B	丸	汽船	Katoku Maru.	伊豆	網葉 密五郎
J C K D	丸	汽船	Yoju Maru.	伊豆	網葉 密五郎
J O K F	丸	汽船	Kōshira Maru.	伊豆	網葉 密五郎
J O K G	丸	汽船	Kwanō Maru. Olan No. 3.	伊豆	網葉 密五郎

JCKH	四三七八	4378	帆	運	丸 Uoya Maru.	宮	古	中	菊地長右衛門
JKKL	四三七九	4379	帆	第二善祝丸	Zenshi Maru. No. 2.	宮	古	中	藤田善兵衛
JCKM	四三八〇	4380	帆	喜	丸 Kikoku Maru.	高	田	町	菅野與八
JCKN	四三八一	4381	帆	長	運 丸 Chōun Maru.	石	陵	町	佐伯貞七
JCKP	四三八二	4382	帆	盛	運 丸 Seun Maru.	石	陵	町	北上株式會社
JCKQ	四三八三	4383	帆	開	運 丸 Kaun Maru.	越	前	町	平田倉之助
JCKR	四三八四	4384	帆	檜	現 丸 Gongen Maru.	廣	田	村	米谷源之九
JCKS	四三八五	4385	帆	永	德 丸 Yeioku Maru.	小	陸	村	戸羽善之丞
JCKT	四三八六	4386	帆	幸	德 丸 Kōroku Maru.	氣	仙	沼	村 龜助
JCKV	四三八七	4387	帆	幸	德 丸 Kōroku Maru.	十	五	濱	村 幸治
JCKW	四三八八	4388	帆	永	德 丸 Yeioku Maru.	小	陸	村	佐藤與太郎
JCLB	四三八九	4389	帆	三	社 丸 Saseha Maru.	米	陸	村	菅原虎三郎
JCLQ	四四〇〇	4400	汽	湖	水 丸 Kosui Maru.	大	津	市	福井彌平
JCLR	四四〇一	4401	汽	第貳湖	水丸 Kosui Maru. No. 2.	大	津	市	福井彌平
JCLB	四四〇二	4402	帆	第貳	湖丸 Shikisu Maru. No. 2.	大	阪	市	外十一名
JCLT	四四〇三	4403	汽	第	四丸 Inushima Maru. No. 4.	大	阪	市	乙松
JDFR	四四六六	4466	帆	金	刀比羅丸 Kohira Maru.	上	淡	路	村 平吉
JDFB	四四六八	4468	帆	國	運 丸 Kokuan Maru.	三	浦	村	河田國藏

JDFE	四五九	4589	帆	住	久 丸 Sunhis Maru.	阿	波	村	出見友太郎
JDFL	四六六五	4665	帆	伊	勢 丸 Ise Maru.	佐	波	村	馬來野繁藏
JDFM	四六六六	4666	汽	小	澤 丸 Kohata Maru.	潮	土	村	高知縣
JDFN	四六六八	4668	帆	參	號丸 Hoyei Maru. No. 3.	三	土	村	橋田寅治
JDNQ	四六六九	4669	帆	第	二號丸 Yawata Maru. No. 2.	三	土	村	野町權次
JDNR	四六七〇	4670	帆	住	久 丸 Sunhis Maru.	宇	土	村	覆田權次
JDNS	四六七二	4672	帆	金	比羅丸 Kompia Maru.	三	土	村	西森鹿次
JDNT	四六七三	4673	帆	住	吉 丸 Sumiyoshi Maru.	吉	土	村	池田寅吉
JDRC	四六七四	4716	帆	八	幡 丸 Yawata Maru.	瀨	戶	村	藤岡松太郎
JDRM	四七二五	4725	帆	住	吉 丸 Sumiyoshi Maru.	大	崎	村	大崎商船會社
JDRN	四七二六	4726	帆	吉	寶 丸 Kichihō Maru.	仁	安	村	吉本信次
JDRP	四七二八	4728	帆	八	幡 丸 Yawata Maru.	東	安	村	忍武庄五郎
JDRQ	四七二九	4729	帆	住	德 丸 Sumioku Maru.	東	安	村	田口八重吉
JDRS	四七三二	4732	帆	榮	久 丸 Yeikū Maru.	須	安	村	沖中勤次郎
JDRT	四七三三	4733	帆	住	久 丸 Sunhis Maru.	須	安	村	本田喜代太郎
JDRV	四七三六	4736	帆	大	德 丸 Daikoku Maru.	須	安	村	太田駒吉
JDEB	四七四〇	4740	帆	妙	榮 丸 Mioyoi Maru.	大	崎	村	次太郎
JDEC	四七四二	4742	帆	金	吉 丸 Kanayoshi Maru.	大	崎	村	喜作

J F B D	四七八四	4784	帆	相生丸	Aoi Maru.	伊豆	下田	岡井	門太郎
J F B G	四七八六	4786	帆	神龜丸	Shinku Maru.	北伊豆	條原	町	友廣
J F B H	四七八七	4787	帆	神樂丸	Jinyei Maru.	北伊豆	條原	町	喜作
J F B K	四七八八	4788	帆	廣運丸	Koun Maru.	伊豆	前橋	村	城賀本
J F B L	四七八九	4789	帆	第四廣運丸	Koun Maru. No. 4.	伊豆	前橋	村	城賀本
J F B M	四七九〇	4790	帆	第六廣運丸	Koun Maru. No. 6.	伊豆	前橋	村	城賀本
J F B N	四七九四	4794	帆	第九廣運丸	Koun Maru. No. 9.	伊豆	前橋	村	城賀本
J F B P	四七九七	4797	帆	福力丸	Fukuhiki Maru.	伊豆	前橋	村	村上
J F B Q	四七九八	4798	帆	明榮丸	Meioei Maru.	伊豆	前橋	村	福永
J F B R	四八〇〇	4800	帆	第七廣運丸	Koun Maru. No. 7.	伊豆	前橋	村	藤澤
J F B S	四八〇一	4801	帆	天久丸	Tenhis Maru.	伊豆	前橋	村	石崎
J F B T	四八〇二	4802	帆	第二香西丸	Kosai Maru. No. 2.	伊豆	前橋	村	兵太郎
J F B M	四八三九	4839	帆	第二廣榮丸	Hogyei Maru. No. 2.	伊豆	前橋	村	香西
J F G N	四八四〇	4840	帆	住吉丸	Sunuyoshi Maru.	伊豆	前橋	村	安米
J F G P	四八四三	4843	帆	長福丸	Changku Maru.	伊豆	前橋	村	木田
J F G Q	四八四五	4845	帆	第二新川丸	Shinkawa Maru. No. 2.	伊豆	前橋	村	中安
J F G R	四八四六	4846	帆	清瀨丸	Kiyosaki Maru.	伊豆	前橋	村	周太郎
J F G S	四八四七	4847	帆	船越丸	Kubuju Maru.	伊豆	前橋	村	桑太郎

J F G T	四八四八	4848	帆	若安丸	Wakayasu Maru.	伊豆	前橋	村	東
J F G V	四八五三	4853	帆	周東丸	Shuto Maru.	伊豆	前橋	村	熊彦
J F G W	四八五四	4854	帆	三幸丸	Sanryo Maru.	伊豆	前橋	村	房木
J F M W	四八九八	4898	帆	順天丸	Juntan Maru.	伊豆	前橋	村	篤次郎
J F N B	四八九九	4899	帆	ハナ丸	Hana Maru.	伊豆	前橋	村	重吉
J F N C	四九〇〇	4900	帆	神樂丸	Shinyei Maru.	伊豆	前橋	村	徳七
J F N D	四九〇一	4901	帆	榮福丸	Yeiuku Maru.	伊豆	前橋	村	金作
J F N G	四九〇二	4902	帆	第三廣榮丸	Manyei Maru. No. 3.	伊豆	前橋	村	重四郎
J F N H	四九〇三	4903	帆	柏戸丸	Kashiwado Maru.	伊豆	前橋	村	萬七
J F N K	四九〇四	4904	帆	光徳丸	Kotoku Maru.	伊豆	前橋	村	光徳
J F N L	四九〇五	4905	帆	榮福丸	Yeiuku Maru.	伊豆	前橋	村	幸吉
J F N M	四九〇六	4906	帆	清徳丸	Seitoku Maru.	伊豆	前橋	村	徳七
J F N P	四九〇七	4907	帆	虎面山丸	Kimanzan Maru.	伊豆	前橋	村	徳七
J F N Q	四九〇八	4908	帆	象ヶ島丸	Zogashima Maru.	伊豆	前橋	村	徳七
J F N R	四九〇九	4909	帆	第壹神吉丸	Kanyoshi Maru. No. 1.	伊豆	前橋	村	喜太郎
J F N S	四九一〇	4910	帆	第貳神吉丸	Kanyoshi Maru. No. 2.	伊豆	前橋	村	喜太郎
J F N T	四九一一	4911	帆	加徳丸	Kakoku Maru.	伊豆	前橋	村	喜太郎
J G D C	五〇五〇	5050	帆	明徳丸	Meitoku Maru.	伊豆	前橋	村	久保田